

講義名	人間の尊厳と自立
講義区分	講義
基準単位数	2
必修区分	必修(介護) 選択(児童学、キャリア)
配当年次	3 semester (2年次春学期)
受講者制限	なし

## 担当教員

職種	氏名	所属
非常勤講師	◎ 福嶋 正人	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科

本科目の到達目標	①医療技術など科学の進歩に伴う多様な考え方を理解することができる。 ②人間の尊厳と自立を中心に、現代人として必要な倫理観、自立観を形成することができる。 ③自分自身の倫理観に基づいた考え方を、他者に説明することができる。
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・演習形式の講義を行う。高齢化や家族観の変化に伴う死生観の変容、医療技術の進歩による生命・倫理観の多様化と専門的支援のあり方を学ぶ。</li> <li>・演習形式の授業なので遅刻、授業開始後の入室は認めない。</li> <li>・授業中の携帯電話、スマートフォンの使用は一切認めない。発見した場合、当該日は欠席扱いにする。</li> <li>・演習形式の授業なので、積極的に議論に参加すること。</li> </ul>

## 授業計画表

回	学習内容	【キーワード】	学習課題(予習・復習)
第1回	ガイダンス 講義の進め方や成績の評価方法、この講義の基本的考えを説明する。	【講義形式】【成績評価法】	予習: 「尊厳」「自立」という言葉の意味を調べる(90分) 復習: 自立することの意味を理解する。(90分)
第2回	尊厳、自立とはなにか。	【人間とは】	予習: 人間とはなにかを調べる。(90分) 復習: 社会的存在としての人間を理解する。(90分)
第3回	人間とはなにか 多様な自立観を考える(1)	【自立と自律】	予習: 「自立」と「自律」の違いを調べる。(90分) 復習: 自立することの意味をまとめる。(90分)
第4回	人間とはなにか 多様な自立観を考える(2)	【自立と自律】	予習: 「自立」と「自律」の違いを考える。(90分) 復習: どのような状態を自立と言うのかを考える。(90分)
第5回	なぜ専門家は尊厳を大切にしなければいけないか。	【尊厳】	予習: 「尊厳」という言葉の意味を調べる。(90分) 復習: なぜ尊厳を大切にしなければいけないのかを考える。(90分)
第6回	命の大切さを考える(1) 臓器移植を通して命を考える	【脳死の定義・心臓死】	予習: 臓器移植、脳死について調べる。(90分) 復習: 臓器移植の意味を考える。(90分)
第7回	命の大切さを考える(2) 臓器移植を通して命を考える	【脳死・尊厳死・延命医療】	復習: 臓器移植の是非について、命について考える。(180分)
第8回	支援が必要な人の自立を考える(1) 「こんな夜更けにバナナかよ」(渡辺一史著)を通して	【自立とわがまま】	予習: 障害者の自立について調べる。(90分) 復習: 障害者の自立を考える。(90分)
第9回	支援が必要な人の自立を考える(2) 「こんな夜更けにバナナかよ」(渡辺一史著)を通して	【依存とわがまま】	予習: 自立と依存の関係について調べる。(90分) 復習: 自立と依存は併存可能かを考える。(90分)
第10回	人工中絶・着床前診断を通して尊厳と命を考える(1)	【生命・倫理】	予習: 着床前診断に関する諸情報を調べる。(180分)
第11回	人工中絶・着床前診断を通して尊厳と命を考える(2)	【生命・倫理】	復習: 診断の意味、是非を考える。(180分)
第12回	延命と尊厳死を考える(1)	【延命・尊厳死・QOL】	

			予習：尊厳死という言葉の意味を調べる。(90分) 復習：尊厳死の是非と命について考える。(90分)
第13回	延命と尊厳死を考える(2)	【延命・尊厳死・QOL】	復習：現代社会における、尊厳死の意味や是非について考える。(180分)
第14回	QOLを考える	【支援とQOL】	予習：QOLの意味を調べる。(90分) 復習：なぜQOLが大切なのかを考える。(90分)
第15回	まとめ	【尊厳と自立】	復習：「尊厳」「自立」が人間にとって大切なのかを考える。(180分)

テキスト	適宜、プリント、資料を配布する。
参考書・参考資料等	必要に応じ、参考書籍・文献・資料等を紹介、配布する。
上記到達目標の評価の方法	期末レポート試験…(50%) 平常点(受講態度、出席状況等)…(50%)
履修しておくべきことが望まれる科目	特になし
教材費用・実習費用等の負担費用	特になし
その他特記事項	特になし

UP

✕ ウィンドウを閉じる

講義名	人間関係とコミュニケーションb
講義区分	講義
基準単位数	2
必選区分	必修
配当年次	1セメスター（1年次春学期）
受講者制限	介護福祉コースのみ

担当教員

職種	氏名	所属
講師	◎ 山ノ井 勉	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科

本科目の到達目標	介護福祉士として、専門的な介護関係の構築に必要なコミュニケーションの基本的な考え方が説明できる。 基本的なコミュニケーション技術が実践できる。
授業概要	介護実践の場で必要となるコミュニケーションの基礎について学修する。個別やグループワーク演習などを通して主体的な自己の形成について学び、介護福祉士としての基本的な態度を修得する。したがって、社会福祉・介護福祉の専門的な人間関係の構築や維持のために必要な幅広いコミュニケーション技術の基本的な知識を学ぶ。

授業計画表

回	学習内容	【キーワード】	学習課題（予習・復習）
第1回	オリエンテーション	【オリエンテーション】 【自己紹介】	予習：シラバスを読み授業概要を理解する(50分) 復習：ノートの再読(90分)
第2回	コミュニケーション技術の基本①	【コミュニケーションの技術】 【自己理解、他者理解】	予習：ノートの再読(90分) 復習：語句を覚える(90分)
第3回	コミュニケーション技術の基本②	【利用者との対人関係】 【基本的なコミュニケーションの技術】	予習：ノートの再読(90分) 復習：語句を覚える(90分)
第4回	コミュニケーション技術の基本③	【家族との対人関係】 【ラポール】 【グループワーク】	予習：信頼関係について、考察し、まとめる(90分) 復習：ノートを再読し、課題を調べまとめる(90分)
第5回	コミュニケーション技術の基本④	【介護福祉士のコミュニケーション】 【アセスメント】 【グループワーク】	予習：挨拶など日常的なコミュニケーションを意識し、態度、表情について実践する(90分) 復習：語句を覚え、理解する(90分)
第6回	コミュニケーション技術の応用①	【言語的コミュニケーション】 【非言語的コミュニケーション】	予習：言語・非言語のコミュニケーションについて調べる(90分) 復習：ノートを整理し、まとめる(90分)
第7回	中間まとめ	【中間まとめ】	予習：これまでの学習の復習(90分) 復習：語句を覚える(90分)
第8回	コミュニケーション技術の応用②	【話を聴く態度】 【受容】 【共感】 【傾聴】	予習：受容、共感、傾聴について調べ、まとめる(90分) 復習：技術について理解し、日常生活から受容、共感、傾聴を実践する(90分)
第9回	コミュニケーション技術の応用③	【コミュニケーションと環境】 【状況に応じたコミュニケーション】	予習：カウンセリングについて調べ、まとめる(90分) 復習：人間の生活と環境について調べ、まとめる(90分)
第10回	総合的なコミュニケーション①	【利用者の状況に応じたコミュニケーション】	予習：認知症について調べ、まとめる(90分) 復習：ノートを整理し、課題を調べまとめる(90分)
第11回	総合的なコミュニケーション②	【環境に応じたコミュニケーション】	予習：介護保険施設について調べる(90分) 復習：ノートを整理し、課題をまとめる(90分)
第12回	総合的なコミュニケーション③	【利用者の状況に応じたコミュニケーション】 【環境に応じたコミュニケーション】	予習：障害者支援施設について調べ、まとめる(90分) 復習：ノートを整理し、課題をまとめる(90分)

第13回	総合的なコミュニケーション④	【観察と記録】 【記述によるコミュニケーション】	予習：観察と記録について調べ、まとめる(90分) 復習：レポートを読み、校正する(90分)
第14回	総合的なコミュニケーション⑤	【道具によるコミュニケーション】	予習：コミュニケーションを手伝う福祉機器について調べ、まとめる(90分) 復習：聴覚・言語障害について調べ、まとめる(120分)
第15回	まとめ	【まとめ】	予習：ノートの再読(90分) 復習：振り返り(100分)

テキスト	適宜、プリント、資料を配布する。
参考書・参考資料等	<p>【書名】『対人援助とコミュニケーション』  【著者】 諏訪茂樹  【出版】 中央法規 2001  【ISBN】 978-4-8058-3249-3  【価格】 2,052円（税込）</p>
上記到達目標の評価の方法	<p>まとめ…(40%)  中間まとめ…(30%)  平常点（提出物、レポート等）…(30%)</p>
履修しておくべきことが望まれる科目	特になし
教材費用・実習費用等の負担費用	特になし
その他特記事項	授業終了前にミニツツペーパーを実施します グループワーク

UP

✕ ウィンドウを閉じる

講義名	人間関係とコミュニケーション演習A
講義区分	演習
基準単位数	1
必選区分	選択
配当年次	4年生 (2年次秋学期)
受講者制限	なし

担当教員

職種	氏名	所属
非常勤講師	◎ 原田 直子	びわこ学院大学 教育福祉学部

本科目の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・聴覚障害者の基本的理解と、基本的コミュニケーション技術を習得できる。</li> <li>・聴覚障害者は見えない障害。説明してもわかりにくいので、聴覚障害者の生活の様子が見られるDVDを見て気付いたことをみんなで出し合ってまとめるなどして理解できる。</li> <li>・DVDを使って【聞こえ】を体験して、聞こえのタイプがあると理解し、聴覚障害者コミュニケーション手段(手話、指文字、身振り、指差しなど)を適切に選択して話することができる。</li> <li>・盲ろう者、中途失聴者などのコミュニケーション手段(触手話、プリスタ、筆談など)も含めて 授業が始まってから普段交わされる言葉を換えられるあらゆる伝達手段について学び、さまざまな聴覚障害者に通じる伝達手段をさがして伝えることができる。</li> </ul>
授業概要	<p>社会生活を営む人間の間に行われる、視覚、文字、絵等を媒体として伝える形「ソフト面」と、聴覚障害者が安心して過ごせる設備、備品等の「ハード面」についても学ぶ。必要に応じて資料(コピー)を配布、ビデオやDVDも使う。 聴覚障害者施設現場の福祉、労働、教育に関する業務の理解を目的とする学外授業も実施する。</p>

授業計画表

回	学習内容	【キーワード】	学習課題(予習・復習)
第1回	オリエンテーション 自己紹介	【指文字】	自分の名前の指文字を覚える(20分)
第2回	聴覚障害について	【ビデオ】【耳の構造】【きこえの体験】	「たっちゃんと学ぼう」(10分)
第3回	聴覚障害者のコミュニケーション	【ビデオ】【聴覚障害者の生活】	「たっちゃんと学ぼう」を読む(10分)
第4回	口話で話してみましよう	【口話するときの注意点】	身の回りにあるものや動きを観察する(毎日)
第5回	手話で話してみましよう	【身振り】【表情】【指さし】	歌の発表までの準備し練習する(毎日)
第6回	手話で話してみましよう	【数字】【家族】	「みんなの手話」番組を毎回見る(30分)
第7回	手話で話してみましよう	【仕事】【いつ】	「みんなの手話」番組を毎回見る(30分)
第8回	手話で話してみましよう	【どこ】	「みんなの手話」番組を毎回見る(30分)
第9回	手話で話してみましよう	【時の表し方】【歌】	「みんなの手話」番組を毎回見る(30分)
第10回	絵描きで伝えてみましよう	【ビデオ】【絵描きの注意点】	家にあるものを観察して書く(60分)
第11回	筆談で伝えてみましよう	【筆談方法】	きれいに書く練習をする(30分)
第12回	中途失聴者、盲ろう者のコミュニケーション	【会話方法】 【通訳・介助の方法】について学習後実習する	図書室の手話本をみて覚える(毎日)
第13回	福祉制度などについて歌を歌う	【各種機器】の紹介 【ビデオ撮り】	機器を使ってみる(20分)
第14回	学外授業(その他特記事項参照)	【施設見学】	見学后感想文を書く(30分)
第15回	スピーチ	【ビデオ撮り】【おさらい】	スピーチの内容を書くスピーチの内容を書く(30分)

テキスト

【書名】『たっちゃんと学ぼう』  
【著者】一般財団法人全日本ろうあ連盟  
【出版】日本印刷株式会社

	[ISBN] [価格] 200円+税
参考書・参考資料等	必要に応じ、参考書籍・文献・資料等を紹介、配布する。
上記到達目標の評価の方法	定期試験…(60%) レポート…(10%) 歌・スピーチ…(15%) 平常点…(15%)
履修しておくべきことが望まれる科目	特になし
教材費用・実習費用等の負担費用	特になし
その他特記事項	学外授業・・・場所や日程については後日連絡します。時間割の調整により、他の曜日になる場合があります。

UP↑

✕ ウィンドウを閉じる

講義名	人間関係とコミュニケーション演習B
講義区分	演習
基準単位数	1
必選区分	選択
配当年次	4年生 (2年次秋学期)
受講者制限	なし

**担当教員**

職種	氏名	所属
非常勤講師	◎ 前田 真里	びわこ学院大学 教育福祉学部

<b>本科目の到達目標</b>	本講義では、初めて視覚障がい者への接し方を学ぶ人を対象とし、支援する上で必要とされる全般的な基礎知識と技術を身につけるとともに、「相手に共感する気持ちや、多様性を認めよう」そじを育むことを目標としています。具体的には、 ①初級レベルの点字が読み書きできる。 ②点字に関する道具やパソコン関連機器が操作できる。 ③同行援護・ガイドヘルプができる。 ④文字を音声化する技術を身につけることができる。
<b>授業概要</b>	ワークショップ、実技（学外実技を含む）を通して、触覚や聴覚を中心とした「五感機能」の役割について体験します。

**授業計画表**

回	学習内容	【キーワード】	学習課題（予習・復習）
第1回	見えない・見えにくいとは？	【全盲と弱視】 【眼の病気】	復習：（配布資料の読み返し（45分））
第2回	白杖とリハビリテーション	【杖杖】 【障害の受容】	予習：配布資料の読み返し（30分） 復習：配布資料の読み返し（30分）
第3回	盲導犬ユーザーの生活と接し方	【身体障害者補助犬法】 障害者差別解消法】	予習：配布資料の読み返し（30分） 復習：配布資料の読み返し（30分）
第4回	（公開授業予定）盲導犬の訓練実演とリハビリテーション	【盲導犬育成】	予習：配布資料の読み返し（30分） 復習：配布資料の読み返し（30分）
第5回	ガイドヘルパーの目的と役割	【同行援護制度】	予習：配布資料の読み返し（30分） 復習：配布資料の読み返し（30分）
第6回	ガイドヘルパーの主な業務	【守秘義務】 【代筆・代読業務】	予習：資料の読み返し（30分） 復習：配布資料の読み返し（30分）
第7回	ガイドヘルパーの実線 その1	【移動支援業務】	予習：資料の読み返し（30分） 復習：配布資料の読み返し（30分）
第8回	ガイドヘルパーの実線 その2	【周囲の情報提供業務】	予習：資料の読み返し（30分） 復習：配布資料の読み返し（30分）
第9回	ガイドヘルパーの実線 その3	【応用】	予習：資料の読み返し（30分） 復習：配布資料の読み返し（30分）
第10回	点字の歴史と仕組みについて		予習：資料の読み返し（30分） 復習：点字の練習（30分）
第11回	点字で数字を書こう		予習：資料の読み返し（30分） 復習：点字の練習（30分）

第12回	点字で文章を書こう		予習：資料の読み返し(30分) 復習：点字の練習(30分)
第13回	点字でキャンパスのバリアフリー	【バリアフリー】	予習：資料の読み返し(30分) 復習：点字の練習(30分)
第14回	音声読み上げソフト搭載の日常生活用具の体験	【バリアフリー】【ユニバーサルデザイン】	予習：資料の読み返し(30分) 復習：自己体験(30分)
第15回	バリアフリー映画とブラインドスポーツの体験	【副音声付映画】 【パラリンピック】	課題：感想文 予習：資料の読み返し(45分)

テキスト	<p>【書名】『点字はやわかり(新版)』  【出版】京都ライトハウス 2006年9月発行  【ISBN】なし  【価格】205円(税込)</p>
参考書・参考資料等	<p>【書名】『風になってくださいⅡ』  【著者】松永信也著  【出版】法蔵館  2013年</p> <p>【書名】『まぶしいよ!! パーシャ、ドゥーリーがわたしにくれた日々』  【著者】瀧本捷子著  【出版】ヤマブラ 2014年</p>
上記到達目標の評価の方法	<p>試験…(30%)  課題…(30%)  平常点(受講態度・努力度)…(40%)  ※最後に復習のための試験を実施します。</p>
履修しておくべきことが望まれる科目	特になし
教材費用・実習費用等の負担費用	点字印刷代金等 1,000円(残金が出れば返金します。)
その他特記事項	<p>担当教員が視覚障がいのため、資料配布、移動介助等、学生のみなさんにはアシストいただきますよう宜しくお願いします。  講義中のスマホ・携帯電話の使用や、講義に無関係なおしゃべりをする学生はご遠慮ください。  アクティブラーニング(グループワーク、ロールプレイング、シミュレーション)</p>



講義名	生活と福祉
講義区分	講義
基準単位数	2
必選区分	必修(介護)選択(児童学、キャリア)
配当年次	2年生(1年次秋学期)
受講者制限	なし

## 担当教員

職種	氏名	所属
講師	◎ 山ノ井 勉	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科

本科目の到達目標	①介護福祉士として、生活と福祉との関係について理解し、基本的知識を習得することができる。 ②少子高齢社会など現代社会の課題を理解し、地域に貢献できる社会人としての基本的な姿勢・態度を身につけることができる。
授業概要	人間の生活において、福祉というのは大変重要な部分を占めていると考えられる。そこで、本講義では、これまでの人間の暮らしに関する社会福祉の理論や歴史等について学びつつ、現在までの生活や福祉に関わる社会制度のあり方や役割等について学ぶ。また、介護福祉士の資格試験に向けた対策も行う。そのため、振り返りシートの実施や、授業で取り組む課題について能動的な取り組みが必要となる。

## 授業計画表

回	学習内容	【キーワード】	学習課題(予習・復習)
第1回	オリエンテーション	【授業概要、ルール】	予習：シラバスを読み授業概要を理解する。(50分) 復習：ノートの再読(90分)
第2回	生活と福祉	【福祉ニーズ、社会保障】 【生活】 【家族】 【地域社会】 【組織】	予習：現代社会における福祉の課題を調べ、まとめる(90分) 復習：ノートを整理し、課題をまとめる(90分)
第3回	社会福祉の理論①社会福祉と社会保障	【社会福祉の制度】 【社会保障の考え方】 【社会保障制度の発達】	予習：社会福祉の定義について調べ、まとめる(90分) 復習：ノートを整理し、課題をまとめる(90分)
第4回	社会福祉の理論②社会保障論	【日本の社会保障制度の仕組み】	予習：社会保険制度について調べ、まとめる(90分) 復習：ノートを整理し、課題をまとめる(90分)
第5回	社会福祉の理論③相談支援	【相談援助の理論】 【ケースワーク】	予習：ケースワークについて調べ、まとめる(90分) 復習：ノートを整理し、課題をまとめる(90分)
第6回	社会福祉の理論④相談支援	【権利擁護】 【利用者保護】	予習：人権について考察し、課題をまとめる(90分) 復習：ノートを整理し、課題をまとめる(90分)
第7回	中間まとめ	【中間まとめ】	予習：これまでの学習の復習(90分) 復習：振り返り(90分)
第8回	高齢者に対する支援①	【介護保険制度創設の背景・目的】 【介護保険制度の概要】	予習：高齢者社会について調べ、まとめる(90分) 復習：ノートを整理し、課題をまとめる(90分)
第9回	高齢者に対する支援②	【介護保険制度の動向】 【介護保険制度にかかわる組織・専門職】	予習：介護保険制度について調べ、まとめる(90分) 復習：ノートを整理し、課題をまとめる(90分)
第10回	子どもに対する支援①	【少子化】 【子育て支援】	予習：少子化の特徴について調べ、まとめる(90分) 復習：ノートを整理し、課題をまとめる(90分)
第11回	子どもに対する支援②	【障がいのある子ども】 【ソーシャルインクルージョン】	予習：障がいのある子どもの生活について、新聞等から調べる(90分) 復習：ノートを整理し、課題をまとめる(90分)
第12回	福祉にかかわる諸制度①	【虐待】 【権利擁護】	予習：虐待の状況について、新聞等から調べる(90分) 復習：ノートを整理し、課題をまとめる(90分)
第13回	福祉にかかわる諸制度②		

		【保険・医療】 【健康日本21】	予習：健康について概念を整理し、自分の老後について考察する(90分) 復習：ノートを整理し、課題をまとめる(90分)
第14回	福祉にかかわる諸制度③	【生活保護】	予習：生活保護について新聞等から調べ、まとめる(90分) 復習：ノートを整理し、課題をまとめる(120分)
第15回	まとめ	【振り返り】	予習：これまでの学習の復習(120分) 復習：ノートを整理し、課題をまとめる(90分)

テキスト	適宜、プリント、資料を配布する。 また、介護福祉コースの学生は参考書として明示したものを購入願います。
参考書・参考資料等	【書名】 社会と制度の理解 【著者】 介護福祉士養成講座編集委員会 【出版】 中央法規 【ISBN】 978-4-8058-5435-8 【価格】 2,376円（税込）
上記到達目標の評価の方法	中間まとめ… (30%) まとめ… (40%) 平常点(受講態度等)… (20%) レポート… (10%)
履修しておくべきことが望まれる科目	特になし
教材費用・実習費用等の負担費用	特になし
その他特記事項	授業終了前にミニツッペーパーを実施します。
備考	レポート課題等は適宜連絡します。 授業は知識の定着と理解の深まりを期待することから、進度や内容を変更することもあります（授業内で連絡します）。

UP↑

✕ ウィンドウを閉じる

講義名	社会保障制度総論
講義区分	講義
基準単位数	2
必選区分	必修(介護)
配当年次	1 Semester (1年次春学期)
受講者制限	なし

## 担当教員

職種	氏名	所属
非常勤講師	◎ 福嶋 正人	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科

## 本科目の到達目標

- ① 社会保障制度を体系的に理解ができる。
- ② 社会保険制度を理解し、社会資源の活用力を付ける。
- ③ 社会の変化と社会保障制度の関係について理解できる。

## 授業概要

現代社会におけるセーフティーネットとしての社会保障の目的、機能を講義し、少子高齢社会のわが国の社会保障の課題について考察する。とりわけ、年金、医療、介護、福祉サービスを体系的に理解する力を獲得する。

## 授業計画表

回	学習内容	【キーワード】	学習課題(予習・復習)
第1回	現代社会における社会保障の意義	【税と社会保障の一体改革・新自由主義】	予習：社会保障とはなにかを調べる。(180分)
第2回	日本の社会保障の発達(1) 戦前	【社会保障の目的】	予習：戦前、どのように福祉課題を解決していたのかを調べる。(180分)
第3回	日本の社会保障の発達(2) 戦後	【社会の変化と社会保障】	予習：戦前、戦後の社会の変化について調べておく。(180分)
第4回	社会の変化と家族機能の変化(1)	【大家族・核家族・単身世帯の増加】	予習：家族の変化について予習をする。(180分)
第5回	社会の変化と家族機能の変化(2)	【少子化・高齢化社会】	予習：少子高齢化のメカニズムについて予習をする。(180分)
第6回	社会の変化と家族機能の変化(3)	【家族機能・地域機能】	予習：家族の機能とは何なのかを予習すること。(180分)
第7回	諸外国の社会保障制度(1)	【産業革命・社会保険の登場】	予習：社会保険が必要になってきた背景を調べる。(180分)
第8回	諸外国の社会保障制度(2)	【産業革命・社会保険の登場】	予習：資本主義の台頭と社会保障の関連について調べる。(180分)
第9回	諸外国の社会保障制度(3)	【資本主義と社会保障】	予習：資本主義とは何かを調べる。(180分)
第10回	社会福祉と社会保障(1)	【社会保障と社会福祉】	予習：社会保障の社会的位置づけについて調べる。(180分)
第11回	社会福祉と社会保障(2)	【社会保険・社会の変化】	予習：社会の変化と社会保険の関連について調べる。(180分)
第12回	社会保障の課題(1)	【負担と給付】	予習：国家予算に占める社会保障費について予習する。(180分)
第13回	社会保障の課題(2)	【負担と給付】	予習：社会保障費の推移について予習する。(180分)
第14回	社会保障と負担	【消費税】	予習：少子高齢化と社会保障費の負担、の関係について調べる。(180分)
第15回	まとめ		復習：社会保障制度の必然性について、理解する。(180分)

## テキスト

適宜、プリント、資料を配布する。

## 参考書・参考資料等

必要に応じ、参考書籍・文献・資料等を紹介、配布する。

## 上記到達目標の評価の方法

定期試験…(70%)  
出席状況、受講態度…(30%)

履修しておくべきことが望まれる科目	特になし
教材費用・実習費用等の負担費用	特になし
その他特記事項	特になし

UP

✕ ウィンドウを閉じる

講義名	現代基礎教養（数学）
講義区分	講義
基準単位数	2
必選区分	選択
配当年次	2年生（1年次秋学期）
受講者制限	なし

担当教員

職種	氏名	所属
教授	◎ 長嶺 共全	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科

本科目の到達目標	<p>①日常生活にも卒業後の仕事にも「数学的な考え方」が必要であることを理解することができる。</p> <p>②数学の基本的な概念と技能を用いて合理的な思考ができる。</p>
授業概要	<p>数の計算、代数の基礎、方程式と不等式、図形などの学習を通して、数の本質を学び、関連する演習問題を解くことで、これまで身につけてきた「数学的な考え方」についての理解を深めるとともに、公務員試験や企業の入社試験などで頻繁に出題されている問題なども講義に取り入れ、様々な場面において「数学的な考え方」を主体的に活用することの有用性に気づかせる。</p>

授業計画表

回	学習内容	【キーワード】	学習課題（予習・復習）
第1回	授業オリエンテーション 数について	【授業方針の説明】【自然数】【整数】【分数】【小数】【正の数】【負の数】【有理数】【無理数】【進法】【実数】	復習：学習したところの教科書再読(90分)
第2回	数の計算	【四則】【加法・減法・乗法・除法】【計算の順序】【素数】【最小公倍数】【最大公約数】	復習：学習したところの教科書再読と授業内課題の見直し(90分)
第3回	代数の基礎	【分数と比率】【逆数】【指数の法則】【単位】	復習：学習したところの教科書再読と授業内課題の見直し(90分)
第4回	方程式と不等式	【1次不等式】【数直線】【1次方程式】【解】【グラフの平行移動】【領域】【2次方程式】【因数分解】【2次関数】【単項式と多項式】【素因数】	復習：学習したところの教科書再読と授業内課題の見直し(90分)
第5回	連立方程式	【連立方程式】	復習：学習したところの教科書再読と授業内課題の見直し(90分)
第6回	特殊な計算1	【植木算】【鶴亀算】	復習：学習したところの教科書再読と授業内課題の見直し(90分)
第7回	特殊な計算2	【流水算】【仕事算】	復習：学習したところの教科書再読と授業内課題の見直し(90分)
第8回	図形	【点・直線・曲線】【多角形】【外角・内角】【次元】【線分・半直線】【鋭角・直角・鈍角】【対頂角・錯角・同位角】【面積・体積】	復習：学習したところの教科書再読と授業内課題の見直し(90分)
第9回	集合	【有限集合・無限集合】【要素】【部分集合】【空集合】【和集合・積集合】【ベン図】【補集合】	復習：学習したところの教科書再読と授業内課題の見直し(90分)
第10回	論理と推論	【命題】【逆・裏・対偶】【論理演算】	復習：学習したところの教科書再読と授業内課題の見直し(90分)
第11回	確率	【相対頻度】【独立事象】	復習：学習したところの教科書再読と授業内課題の見直し(90分)
第12回	特殊な計算4	【水槽算】【年齢算】【損益算】	復習：学習したところの教科書再読と授業内課題の見直し(90分)
第13回	特殊な計算5	【旅人算】【濃度】【時計算】	復習：学習したところの教科書再読と授業内課題の見直し(90分) 理解度小試験(筆記)対策のため教科書と配布プリントの再学習(270分)
第14回		【理解度確認小試験(筆記)】	

	まとめ1 (理解度確認小試験)		予習：理解度小試験(筆記)対策のため教科書と配布プリントの再学習(500分) 復習：理解度小試験(筆記)の振り返り(180分)
第15回	まとめ2 (理解度確認小試験)	【理解度確認小試験(筆記)】	予習：理解度小試験(筆記)対策のため教科書と配布プリントの再学習(580分)

テキスト	[書名] 『数学の基本』 [著者] 小林敬子、松原望 [出版] ベレ出版 [ISBN] 978-4-86064-167-2 [価格] 1,500円+税
参考書・参考資料等	必要に応じ、参考書籍・文献・資料等を紹介、配布する。
上記到達目標の評価の方法	授業中の小試験…(80%) 課題…(15%) 平常点(受講態度等)…(5%)
履修しておくべきことが望まれる科目	特になし
教材費用・実習費用等の負担費用	特になし
その他特記事項	本授業では、新たな学習内容に対して、その内容確かめる課題演習や理解度確認小試験を行いながら、授業を進めるアクティブラーニングの手法を取り入れていく。

UP

⊗ ウィンドウを閉じる

講義名	現代基礎教養（社会）A
講義区分	講義
基準単位数	2
必選区分	選択
配当年次	1 Semester（1年次春学期）
受講者制限	なし

**担当教員**

職種	氏名	所属
講師	◎ 後藤 真吾	びわこ学院大学 教育福祉学部 スポーツ教育学科

本科目の到達目標	①社会分野における基礎的な用語・知識を理解し、社会人としての教養を身につけることができる。
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・短期大学において学修を進める際に習得しておくべき事項、とりわけ現代社会人の教養として必要な社会分野に即して講義する。</li> <li>・講義で取り上げたテーマについてグループ討論を行い、他者の考えを知るとともに自らの考えを深める。</li> <li>・原則として、講義(70分)、前時間の復習(10分)、講義振り返りレポートの作成(10分)とする。</li> </ul>

**授業計画表**

回	学習内容	【キーワード】	学習課題（予習・復習）
第1回	ガイダンス（進め方、総論）	【授業方針や授業内容等についての説明】 【新聞・雑誌の記事】 【マスコミ情報】	予習：新聞等で時事のニュースを確認する(30分) 復習：講義内容を整理し今後の計画を立てる(30分)
第2回	私たちの暮らしと法律（ディスカッション）	【日本国憲法】【立憲主義】【法治国家】【三権分立】 【国会の立法権】【裁判制度】【裁判員裁判】【公務員】	予習：新聞等で時事のニュースを確認する(60分) キーワードについて事前に調べる(30分) 復習：講義内容の整理(90分)
第3回	政治①・国の施策と税金（ディスカッション）	【議員】【民主政治】【税の分担】【直接税、間接税】 【国債】	予習：新聞等で時事のニュースを確認する(60分) キーワードについて事前に調べる(30分) 復習：講義内容の整理(90分)
第4回	政治②・選挙と議員報酬（ディスカッション）	【選挙制度】【公職選挙法の改正】【国会の役割】【政治資金】 【議員報酬】	予習：新聞等で時事のニュースを確認する(60分) キーワードについて事前に調べる(30分) 復習：講義内容の整理(90分)
第5回	政治③・国際社会と政治および経済の基礎知識（ディスカッション）	【国際法】【国際連合】【外交政治】【隣国関係】 【貿易】【為替】【海外依存率】	予習：新聞等で時事のニュースを確認する(60分) キーワードについて事前に調べる(30分) 復習：講義内容の整理(90分)
第6回	経済①・暮らしと経済（ディスカッション）	【給料】【家賃】【食費】【光熱水費】【被服費】【交際費】	予習：新聞等で時事のニュースを確認する(60分) キーワードについて事前に調べる(30分) 復習：講義内容の整理とまとめ(120分)
第7回	経済②・アルバイトとローン（ディスカッション）	【最低賃金】【割増賃金】【ローン】【金利】【預金と投資】 【授業の単価】	予習：新聞等で時事のニュースを確認する(60分) キーワードについて事前に調べる(30分) 復習：講義内容の整理(90分)
第8回	経済③・働き方と見える給料・見えない給料（ディスカッション）	【正規雇用(正社員)】【派遣社員】【パート・アルバイト雇用】 【契約労働】	予習：新聞等で時事のニュースを確認する(60分) キーワードについて事前に調べ

		【労働者災害補償保険】【雇用保険】【健康保険】【福利厚生】【ブラック企業】	る(30分) 復習：講義内容の整理(90分)
第9回	社会保障①・働き続けられる職場 (ディスカッション)	【基本給と手当】【労働基準法】【労働安全衛生法】【ハラスメント】【働き甲斐】【保育所問題】	予習：新聞等で時事のニュースを確認する(60分) キーワードについて事前に調べる(30分) 復習：講義内容の整理(90分)
第10回	社会保障②・若者と保険 (年金等) (ディスカッション)	【国民年金と厚生年金】【老齢基礎年金】【障害基礎年金】【遺族基礎年金】	予習：新聞等で時事のニュースを確認する(60分) キーワードについて事前に調べる(30分) 復習：講義内容の整理とまとめ(120分)
第11回	社会問題①・エネルギーと環境問題 (ディスカッション)	【温暖化】【原子力発電】【地域紛争】	予習：新聞等で時事のニュースを確認する(60分) キーワードについて事前に調べる(30分) 復習：講義内容の整理(90分)
第12回	社会問題②・暮らしと子どもを守る／貧困、虐待 (ディスカッション)	【社会保障】【セーフティーネット】【生活保護】 【教育の保障】【虐待】	予習：新聞等で時事のニュースを確認する(60分) キーワードについて事前に調べる(30分) 復習：講義内容の整理とまとめ(120分)
第13回	社会問題③・私らしく生きる／LGBT、民族差別 (ディスカッション)	【LGBT】【身体の性、心の性】【パートナー条例】 【ネット社会】【ハラスメント】	予習：新聞等で時事のニュースを確認する(60分) キーワードについて事前に調べる(30分) 復習：講義内容の整理(90分)
第14回	社会問題④・超高齢社会 (ディスカッション)	【老人の再定義】【年金】【貧困老人】【フリーランス】 【下流志向】	予習：新聞等で時事のニュースを確認する(60分) キーワードについて事前に調べる(30分) 復習：講義内容の整理(90分)
第15回	社会問題⑤・グローバリズムとナショナリズム (ディスカッション)	【宗教】【多国籍企業】【経済圏】【自国主義】【難民問題】 【ヘイトスピーチ】	予習：新聞等で時事のニュースを確認する(60分) キーワードについて事前に調べる(30分) 復習：講義内容の整理とまとめ(120分)

テキスト	適宜、プリント、資料を配布する。
参考書・参考資料等	新聞記事、時事雑誌記事、参考書籍、行政資料等
上記到達目標の評価の方法	期末筆記試験…(55%) 授業の振り返りレポート…(45%)
履修しておくべきことが望まれる科目	特になし
教材費用・実習費用等の負担費用	費用が必要な場合は学生の自己負担とします。
その他特記事項	授業は知識の定着と理解の深まりを期待することから、講義の進め方や内容、計画を変更することもあります。



講義名	協働・組織活動論
講義区分	講義
基準単位数	2
必選区分	選択
配当年次	4年生 (2年次秋学期)
受講者制限	なし

**担当教員**

職種	氏名	所属
講師	◎ 山ノ井 勉	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科

本科目の到達目標	① 少子高齢社会の課題を解決するために、住民の主体的な参加と住民自治による地域福祉活動を評価する視点を理解し、そうした取り組みの意義を自分のことばで語るができる。 ② 地域住民や地域の福祉専門職と連携して仕事をすすめるために、地域の生活実態などのデータを分析し、福祉課題を明確にした上で、共有することができる。
授業概要	2000年の社会福祉法の施行を契機に様々な地域福祉活動が広がってきた。その結果、地域に存在する多様な住民組織は、行政・関連機関と協働して、地域福祉サービスを展開し活動を充実させてきている。本講義では、地域福祉の具体的な姿に学びつつ、住民主体の地域福祉活動の本質を学ぶ。その上で住民主体の地域福祉活動を発展させるために必要な地域の生活課題を共有する方法、および地域福祉における行政機関や福祉施設の専門職が果たす役割について検討する。したがって、課題に対する積極的な取り組みや議論をする主体的能力が必要となる。

**授業計画表**

回	学習内容	【キーワード】	学習課題 (予習・復習)
第1回	オリエンテーション	【協働組織とは、授業の進め方、枠組み】	予習：シラバスの精読 (30分) 復習：講義のまとめ (90分)
第2回	社会保障・社会福祉における地域福祉の位置と役割	【社会保障、社会福祉、地域福祉】 【リーダーシップ】	予習：構造改革と社会保障制度についてまとめる (90分) 復習：講義のまとめ (90分)
第3回	生存権保障としての社会福祉 (地域福祉)	【憲法の体系、生存権、地域福祉の意味】	予習：憲法前文・9条・25条・13条・97条等 (90分) 復習：講義のまとめ・ノートの整理 (90分)
第4回	地域福祉活動の実際1	【地域福祉の概念、住民活動】 【ディベート】 【グループワーク】	予習：地域福祉と地域福祉活動 (90分) 復習：講義のまとめ (90分)
第5回	地域福祉活動の実際2	【高齢者福祉、障害者福祉、子育て支援活動の実際】 【ディベート】 【グループワーク】	予習：地域サロンと地域福祉活動 (90分) 復習：講義のまとめ (90分)
第6回	地域福祉活動の実際3	【町づくり、住民自治】 【ディベート】 【グループワーク】	予習：住民主体とまちづくり (90分) 復習：講義のまとめ (90分)
第7回	地域の中に福祉活動をつくる取り組み	【作業所、グループホーム】	予習：障害者運動と地域福祉活動 (90分) 復習：講義のまとめ (90分)
第8回	中間レポート	【レポート】	予習：これまでの講義のまとめ (90分) 復習：レポートに対する考察 (90分)
第9回	地域福祉の担い手	【住民、社協職員、コーディネーター、民生委員】	予習：地域福祉活動の担い手 (90分) 復習：講義のまとめ (90分)
第10回	地域福祉の機関	【非営利団体、当事者組織、町内会】	予習：事例検討のテーマについてまとめる (90分) 復習：講義のまとめ (90分)
第11回	地域の生活問題の把握	【地域の生活問題とそれを捉える枠組、データの見方・考え方】 【グループワーク】	予習：実態調査と地域福祉活動について調べる (90分) 復習：講義のまとめ・資料作成 (90分)
第12回	地域福祉とまちづくり	【主体的参加・まちづくり】 【グループワーク】	

			予習：福祉のまちづくりについて地域を調べる(90分) 復習：講義のまとめ・資料作成(90分)
第13回	事例検討	【共生ケアの理念、地域連携】 【プレゼンテーション】	予習：プレゼンテーションの準備(90分) 復習：講義のまとめ(90分)
第14回	事例検討	【共生ケアの援助、職場集団】 【プレゼンテーション】	予習：プレゼンテーションの準備(90分) 復習：講義のまとめ(90分)
第15回	住民の主体的な参加と自治にもとづく福祉のまちづくり	【まとめ・レポート】	予習：これまでの講義のまとめ(90分) 復習：講義ポイントの整理(90分)

テキスト	適宜、プリント、資料を配布する。
参考書・参考資料等	必要に応じ、参考書籍・文献・資料等を紹介、配布する。
上記到達目標の評価の方法	事例発表…(50%) レポート…(40%) その他…(10%)
履修しておくべきことが望まれる科目	特になし
教材費用・実習費用等の負担費用	特になし
その他特記事項	ディベート、グループワーク、プレゼンテーション

UP↑

⊗ ウィンドウを閉じる

講義名	レクリエーション論
講義区分	講義
基準単位数	2
必選区分	選択
配当年次	1年生(1年次春学期)
受講者制限	なし

担当教員

職種	氏名	所属
講師	◎ 山ノ井 勉	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科

本科目の到達目標	<p>①社会福祉専門職として、社会福祉サービスにおけるレクリエーションの意義および理念が理解できる。</p> <p>②レクリエーション実践のための基礎的なスキルを習得することができる。</p>
授業概要	<p>社会または地域におけるレクリエーションの意義について、「なぜレクリエーションが必要なのか」を問いかねながら理解を深めていくと同時に、グループワークでの具体的なレクリエーション活動の計画・実践を通して、レクリエーション活動を展開する上での基礎的なスキルを習得する。</p>

授業計画表

回	学習内容	【キーワード】	学習課題(予習・復習)
第1回	オリエンテーション	【授業方針や授業内容および評価についての説明】 【自己紹介】	予習：シラバスの確認(90分) 復習：授業計画の整理・確認(90分)
第2回	レクリエーションの歴史と人間社会	【遊びとは】 【社会福祉におけるレクリエーションの歴史】	予習：日常生活におけるレクリエーションについて調べる(90分) 復習：授業内容のまとめ・課題の整理(90分)
第3回	レクリエーションの活動領域	【行政下のレクリエーション】	予習：社会生活におけるレクリエーションについて調べる(90分) 復習：授業内容のまとめ・課題の整理(90分)
第4回	日常生活とレクリエーション	【レクリエーションの社会化・日常化】 【グループワーク】 【運動の実践】	予習：現代社会におけるレクリエーションとは何か調べる(90分) 復習：授業内容のまとめ・課題の整理(90分)
第5回	レクリエーションの参加者と支援者の役割	【指導と支援】 【共生】 【指導案とは】	予習：社会福祉におけるレクリエーションについて調べる(90分) 復習：授業内容のまとめ・課題の整理(90分)
第6回	個人・集団のレクリエーション	【個人と集団】 【家族】 【嗜好と現実性】 【指導案の作成】	予習：レクリエーション財について調べる(90分) 復習：授業内容のまとめ・課題の整理(90分)
第7回	社会福祉におけるレクリエーション活動	【自立と自律】 【自己実現】 【子どもとレクリエーション】	予習：これまでの授業を復習する(90分) 復習：授業内容のまとめ・課題の整理(90分)
第8回	中間まとめ	【レポート】	予習：前授業の復習をする(90分) 復習：課題を整理し、調べ、まとめる(90分)
第9回	レクリエーションの企画と実際	【指導案の作成】 【グループディスカッション】	予習：これまでの学修の整理・まとめ・振り返り(90分) 復習：課題のまとめ・振り返り(90分)
第10回	近年の動向におけるレクリエーションの位置づけと実践①	【レクリエーション活動の展開・企画】 【グループワーク】	予習：対象者に応じたレク財を調べ、まとめる(90分) 復習：授業内容の整理・まとめ(90分)
第11回	近年の動向におけるレクリエーションの位置づけと実践②	【レクリエーション活動の展開・企画】 【グループワーク】	予習：対象者に応じたレク財を調べ、まとめる(90分) 復習：授業内容の整理・まとめ(90分)
第12回	レクリエーション活動の実際①		予習：レクリエーション活動の企画・準備(90分)

		【レクリエーション活動の展開】 【計画または実践・振り返り】 【プレゼンテーション】	復習：レクリエーション活動の振り返り・レポート(90分)
第13回	レクリエーション活動の実際②	【レクリエーション活動の展開】 【計画または実践・振り返り】 【プレゼンテーション】	予習：レクリエーション活動の企画・準備(90分) 復習：レクリエーション活動の振り返り・レポート(90分)
第14回	レクリエーション活動の実際③	【レクリエーション活動の展開】 【計画または実践・振り返り】 【プレゼンテーション】	予習：レクリエーション活動の企画・準備(90分) 復習：レクリエーション活動の振り返り・レポート(90分)
第15回	授業の振り返り	【振り返りとまとめ】	予習：全授業の復習(90分) 復習：レクリエーション活動における課題の整理(90分)

テキスト	適宜、プリント、資料を配布する。
参考書・参考資料等	必要に応じ、参考書籍・文献・資料等を紹介、配布する。
上記到達目標の評価の方法	まとめ(レポート)…(30%) 中間まとめ(レポート)…(30%) 平常点(レクリエーションの計画または実践)…(40%)
履修しておくべきことが望まれる科目	特になし
教材費用・実習費用等の負担費用	レクリエーションの実践において、物品等の購入が必要となる場合がある
その他特記事項	ディスカッション、グループワーク、プレゼンテーション、ミニッツペーパー

講義名	ライフデザイン基礎
講義区分	演習
基準単位数	2
必選区分	必修
配当年次	1,2セメスター（1年次春～秋学期）
受講者制限	介護福祉コースのみ

**担当教員**

職種	氏名	所属
准教授	◎ 山 和美	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科
講師	吉原 真紀	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科
講師	山ノ井 勉	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科

**本科目の到達目標**

- ①対人援助や人材育成のあり方を理解することができる。  
 ②現代社会の基礎的問題を学び、考える力を養うことができる。また介護実践に必要な社会保障の制度、  
 施策についての基礎的な知識を理解することができる。  
 ③家族・福祉・衣食住・消費生活等に関する基本的な知識と技術を習得できる。

**授業概要**

社会・福祉・衣食住に関する基本的知識を講義を通して理解する。  
 また演習を通して対人援助や衣食住に必要な基本的技術を習得する。  
 学習内容に応じて個人・グループで課題に取り組み、よりよい方法を考える。レポートの作成やグループ発表を行いアクティブラーニングの授業を行う。  
 この授業は3人の教員が受け持つ。

**授業計画表**

回	学習内容	【キーワード】	学習課題（予習・復習）
第1回	オリエンテーション	【自己紹介・年間計画・個人面接】	
第2回	食を考える①	【献立・調理法・予算・買物】	予習：作りたいメニューと作り方を調べてレポート作成(30分) 復習：メニュー表・調理表の作成 (30分)
第3回	調理実習	【献立に応じた調理法】	予習：買物・食材準備(120分)
第4回	調理実習	【献立に応じた調理法】	復習：調理後の考察レポート(60分)
第5回	社会と人間①	【人材育成 対人援助】	予習：話題を考えてくる(30分) 復習：振り返り(30分)
第6回	社会と人間②	【現代社会・社会構造・社会問題】	予習：新聞等から現代社会の問題を考える(30分) 復習：振り返り(30分)
第7回	大規模災害と社会保障	【東日本大震災・社会保障・災害弱者】	予習：東日本大震災について調べる(30分) 復習：振り返りまとめ(30分)
第8回	現代社会と法	【福祉・理想と現実・まとめ】	復習：これまでの授業内容の復習(60分)
第9回	中間まとめ		復習：課題レポート(60分)
第10回	生活とアロマ	【手浴・ハンドトリートメント】	予習：上肢の筋肉・皮膚の確認(30分) 復習：ハンドトリートメントを実施した考察レポート (30分)
第11回	暮らしとアロマ	【芳香】【創香】	予習：アロマセラピーを応用した生活用品はどのようなものがあるか考えてくる(30分) 復習：作品の完成(30分)
第12回	食について考える②	【献立・買い物・予算】	予習：作りたいメニューと作り方を調べてくる(30分) 復習：メニュー表・調理表の作成(30分)
第13回	調理実習	【献立に応じた調理法】	予習：買物・食材準備(120分)
第14回	調理実習	【献立に応じた調理法】	復習：調理後の考察レポート(60分)

第15回	まとめ		復習：まとめのレポート作成(60分)
第16回	オリエンテーション	【秋学期の予定・計画表の確認・個別面談】	
第17回	食について考える③	【献立・調理法・予算・買物】	予習：作りたいメニューと作り方を調べてレポート作成(30分) 復習：メニュー表・調理表の作成 (30分)
第18回	調理実習	【献立に応じた調理法】	予習：買物・食材準備(120分)
第19回	調理実習	【献立に応じた調理法】	復習：調理後の考察レポート(60分)
第20回	衣について①手縫いの基本技術	【並縫い・返し縫い・玉止め】	予習：以前に家庭科で学んだ縫い方を復習してくる(30分) 復習：作りたい作品を調べ、考えてくる(30分)
第21回	衣について②小物の作製	【縫い方の応用】	復習：作品づくり(60分)
第22回	衣について③小物の作製	【縫い方の応用】	復習：作品づくり完成(60分)
第23回	中間まとめ		課題レポート(60分)
第24回	生活と家事① はき掃除	はたき ほうき 掃除機	予習(30分)自宅で行っている方法について調べる。 復習(60分)授業後に自宅で実践しレポート作成
第25回	生活と家事② 拭き掃除	雑巾 畳 窓拭き	予習(30分)自宅で行っている方法について調べる。 復習(60分)授業後に自宅で実践しレポート作成
第26回	生活と家事③ 洗濯・アイロンがけ	洗濯機 手洗い たたみもの 収納	予習(30分)自宅で行っている方法について調べる。 復習(60分)授業後に自宅で実践しレポート作成
第27回	社会保障とライフステージ①	【ライフステージ・生きるとは・リーダーシップ】	復習：まとめのレポート作成(60分)
第28回	社会保障とライフステージ②	【社会保険・年金・医療】	復習：まとめのレポート作成(60分)
第29回	社会保障とライフステージ③	【児童福祉・労働法制・まとめ】	復習：まとめのレポート作成(60分)
第30回	まとめ		予習：目標設定(60分) 復習：振り返り(60分)

テキスト	適宜、プリント、資料を配布する。
参考書・参考資料等	必要に応じ、参考書籍・文献・資料等を紹介、配布する。
上記到達目標の評価の方法	レポート…(40%) 平常点…(60%)
履修しておくべきことが望まれる科目	特になし
教材費用・実習費用等の負担費用	特になし
その他特記事項	特になし
備考	グループワークによる発表があります。

講義名	ライフデザイン研究
講義区分	演習
基準単位数	2
必選区分	必修
配当年次	3, 4セメスター (2年次春～秋学期)
受講者制限	介護福祉コースのみ

## 担当教員

職種	氏名	所属
准教授	◎ 山 和美	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科
講師	吉原 真紀	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科
講師	山ノ井 勉	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科

本科目の到達目標	①対人援助や人材育成のあり方を理解することができる。 ②現代社会の基礎的問題を学び、考える力を養うことができる。また介護実践に必要な社会保障の制度、施策についての基礎的な知識を理解することができる。 ③家族・福祉・衣食住・消費生活等に関する基本的な知識と技術を習得できる。
授業概要	ライフデザイン基礎で学んだことを基に、興味のあるテーマ（対人援助、社会保障制度、社会・福祉、衣・食・住等）を1つ選び、先行研究を調べ、課題に取りくむ。論文を作成し、プレゼンテーションを行う。この授業はアクティブラーニングを用いた授業を行い、3人の教員が受け持つ。

## 授業計画表

回	学習内容	【キーワード】	学習課題（予習・復習）
第1回	オリエンテーション	【年間計画・個人面接】	
第2回	研究の意義・目的・方法	【アイデア・問題意識】	予習・復習90分 配布した資料を読む。アイデアの抽出・検討
第3回	研究の意義・計画書の作成	【先行研究・文献・資料収集】	予習・復習90分 配布した資料を読む。アイデアの抽出・検討
第4回	研究の意義・計画書の作成	【倫理・プライバシーの保護】	予習・復習90分 配布した資料を読む。アイデアの抽出・検討
第5回	先行研究を調べる	【先行研究・文献】	予習・復習90分 先行研究を調べ・資料を作成する
第6回	先行研究を調べる	【先行研究・文献】	予習・復習90分 先行研究を調べ・資料を作成する
第7回	先行研究を調べる	【先行研究・文献】	予習・復習90分 先行研究を調べ・資料を作成する
第8回	中間報告：計画書の提出・発表	【発表・個別指導】	予習・復習90分 研究活動計画書の立案
第9回	中間報告：計画書の提出・発表	【発表・個別指導】	予習・復習90分 研究活動計画書の立案
第10回	フィールドワーク準備	【研究方法・質問】	予習90分 フィールドワーク準備
第11回	フィールドワーク	【データ収集】	予習・復習90分 研究活動の整理・まとめ
第12回	フィールドワーク	【データ収集】	予習・復習90分 研究活動の整理・まとめ
第13回	フィールドワーク	【データ収集】	予習・復習90分 研究活動の整理・まとめ
第14回	フィールドワークの資料作成	【分析・個別指導】	予習・復習90分 研究資料をまとめる
第15回	フィールドワークの資料作成	【分析・個別指導】	



			予習・復習90分 研究資料をまとめる
第16回	ガイダンス フィールドワークの成果の発表	【発表・質疑応答】	予習・45分 発表準備
第17回	フィールドワークの成果の発表	【発表・質疑応答】	予習・45分 発表準備・
第18回	論文作成	【個別指導】	予習・復習90分 個別指導を踏まえて復習：論文の執筆
第19回	論文作成	【個別指導】	予習・復習90分 個別指導を踏まえて復習：論文の執筆
第20回	論文作成	【個別指導】	予習・復習90分 個別指導を踏まえて復習：論文の執筆
第21回	論文作成	【個別指導】	予習・復習90分 個別指導を踏まえて復習：論文の執筆
第22回	論文作成	【個別指導】	予習・復習90分 個別指導を踏まえて復習：論文の執筆
第23回	論文作成	【個別指導】	予習・復習90分 個別指導を踏まえて復習：論文の執筆
第24回	論文作成	【個別指導】	予習・復習90分 個別指導を踏まえて復習：論文の執筆・完成
第25回	研究発表・準備	【プレゼンテーション】	予習90分 発表練習・パワーポイント作成 プレゼンテーション準備
第26回	研究発表	【プレゼンテーション】	予習60分 発表練習・パワーポイント作成 プレゼンテーション準備
第27回	研究発表	【プレゼンテーション】	予習60分 発表練習・パワーポイント作成 プレゼンテーション準備
第28回	研究発表	【プレゼンテーション】	予習60分 発表練習・パワーポイント作成 プレゼンテーション準備
第29回	研究発表	【プレゼンテーション】	予習60分 発表練習・パワーポイント作成 プレゼンテーション準備
第30回	研究発表 まとめ	【プレゼンテーション】	

テキスト	適宜、プリント、資料を配布する。
参考書・参考資料等	必要に応じ、参考書籍・文献・資料等を紹介、配布する。
上記到達目標の評価の方法	卒業論文…(60%) 平常点…(40%)
履修しておくべきことが望まれる科目	特になし
教材費用・実習費用等の負担費用	特になし
その他特記事項	グループワークの発表や評価があります。



講義名	介護の基本 I
講義区分	講義
基準単位数	4
必選区分	必修(介護)
配当年次	1セメスター(1年次春学期)
受講者制限	介護福祉コースのみ

## 担当教員

職種	氏名	所属
講師	◎ 山ノ井 勉	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科

本科目の到達目標	①介護福祉士として介護とは何か考え、生活支援の意味や介護を取り巻く状況について理解できる。 ②幸福に生きるために、その人らしい生活とはどのようなものか考察し理解できる。 ③介護福祉士として基礎的な専門知識を修得し、自分の考えを伝えることができる。
授業概要	テキストに準拠しつつも、常に社会の動きを視野にいれ、その求めに応じるべき使命を自覚しつつ学ぶ。積極的に社会生活・日常生活上の課題について情報を収集し、発信できる積極性が授業には求められる。

## 授業計画表

回	学習内容	【キーワード】	学習課題(予習・復習)
第1回	何を学ぶか、なぜ学ぶか、どのように学ぶか、学びの結果	【オリエンテーション】	予習：シラバスの確認(90分) 復習：学習課題の整理(90分)
第2回	介護福祉の歴史と介護福祉サービスの社会化	【介護の歴史】	予習：学習内容をテキストで読み、疑問点を調べる(90分) 復習：講義内容を振り返り、疑問点を調べ、まとめる(90分)
第3回	高齢社会と介護サービスの社会化	【介護保険制度】	予習：学習内容をテキストで読み、疑問点を調べる(90分) 復習：講義内容を振り返り、疑問点を調べ、まとめる(90分)
第4回	介護福祉士の役割と機能	【社会福祉士及び介護福祉士法・専門職倫理】	予習：学習内容をテキストで読み、疑問点を調べる(90分) 復習：講義内容を振り返り、疑問点を調べ、まとめる(90分)
第5回	介護における自立支援とは(様々な自立の概念)	【自立とは?】 【生活とは・社会とは】	予習：学習内容をテキストで読み、疑問点を調べる(90分) 復習：講義内容を振り返り、疑問点を調べ、まとめる(90分)
第6回	介護における自立支援とは(障害のある人の自立)	【障害の理解】 【ノーマライゼーション】	予習：学習内容をテキストで読み、疑問点を調べる(90分) 復習：講義内容を振り返り、疑問点を調べ、まとめる(90分)
第7回	介護におけるノーマライゼーションの理念	【その人らしさを考える】	予習：学習内容をテキストで読み、疑問点を調べる(90分) 復習：講義内容を振り返り、疑問点を調べ、まとめる(90分)
第8回	介護におけるリハビリテーションの概念(介護予防・潜在能力の活用他)	【介護予防・リハビリテーション】	予習：学習内容をテキストで読み、疑問点を調べる(90分) 復習：講義内容を振り返り、疑問点を調べ、まとめる(90分)
第9回	生活を支える介護 ① 生活の捉え方	【暮らしの継続性】	予習：学習内容をテキストで読み、疑問点を調べる(90分) 復習：講義内容を振り返り、疑問点を調べ、まとめる(90分)
第10回	生活を支える介護 ② 高齢者の特徴と生活	【生活環境の捉え方】	予習：学習内容をテキストで読み、疑問点を調べる(90分)

			復習：講義内容を振り返り、疑問点を調べ、まとめる(90分)
第11回	生活を支える介護 ③ 障害のある人々の生活	【障害をもつということ】	予習：学習内容をテキストで読み、疑問点を調べる(90分) 復習：講義内容を振り返り、疑問点を調べ、まとめる(90分)
第12回	生活を支える介護 ④ 介護福祉士と生活支援	【「くつろぎの場」「安心できる生活の場」について考える】	予習：学習内容をテキストで読み、疑問点を調べる(90分) 復習：講義内容を振り返り、疑問点を調べ、まとめる(90分)
第13回	生活を支える介護 ⑤ 日常生活支援の原則	【生活習慣と生活障害について】	予習：学習内容をテキストで読み、疑問点を調べる(90分) 復習：講義内容を振り返り、疑問点を調べ、まとめる(90分)
第14回	生活を支える介護 ⑥ 日常生活支援の方法	【認知症の人・障害を持つ人の生活を考える】	予習：学習内容をテキストで読み、疑問点を調べる(90分) 復習：講義内容を振り返り、疑問点を調べ、まとめる(90分)
第15回	尊厳を支える介護 ① 自立を支える介護	【自立支援とは】	予習：学習内容をテキストで読み、疑問点を調べる(90分) 復習：講義内容を振り返り、疑問点を調べ、まとめる(90分)
第16回	尊厳を支える介護 ② 個を支える介護	【利用契約制度】	予習：学習内容をテキストで読み、疑問点を調べる(90分) 復習：講義内容を振り返り、疑問点を調べ、まとめる(90分)
第17回	中間まとめ	【レポート】	予習：講義の復習(90分) 復習：テーマに対する振り返りとまとめ(90分)
第18回	介護を支える環境 ① 環境と人間	【生活環境の捉え方】	予習：学習内容をテキストで読み、疑問点を調べる(90分) 復習：講義内容を振り返り、疑問点を調べ、まとめる(90分)
第19回	介護を支える環境 ② プライバシーとコミュニティー	【プライバシー・人権を考える】	予習：学習内容をテキストで読み、疑問点を調べる(90分) 復習：講義内容を振り返り、疑問点を調べ、まとめる(90分)
第20回	介護を支える環境 ③ 住環境整備の在り方	【食寝分離】	予習：学習内容をテキストで読み、疑問点を調べる(90分) 復習：講義内容を振り返り、疑問点を調べ、まとめる(90分)
第21回	介護を支える環境 ④ 地域包括ケアシステム	【地域包括ケアの視点】	予習：学習内容をテキストで読み、疑問点を調べる(90分) 復習：講義内容を振り返り、疑問点を調べ、まとめる(90分)
第22回	高齢者虐待の防止	【グループワーク】	予習：学習内容をテキストで読み、疑問点を調べる(90分) 復習：講義内容を振り返り、疑問点を調べ、まとめる(90分)
第23回	プライバシーの保護	【プライバシーを守るということ】	予習：学習内容をテキストで読み、疑問点を調べる(90分) 復習：講義内容を振り返り、疑問点を調べ、まとめる(90分)
第24回	措置制度から契約へ	【社会全体で介護を考える】	予習：学習内容をテキストで読み、疑問点を調べる(90分) 復習：講義内容を振り返り、疑問点を調べ、まとめる(90分)
第25回	介護従事者の倫理	【事例検討】	予習：学習内容をテキストで読み、疑問点を調べる(90分) 復習：講義内容を振り返り、疑問点を調べ、まとめる(90分)
第26回	尊厳を支える支援とは①(人権尊重とノーマライゼーション)	【尊厳とは何かを考える】	予習：学習内容をテキストで読み、疑問点を調べる(90分) 復習：講義内容を振り返り、疑問点を調べ、まとめる(90分)
第27回	尊厳を支える支援とは②(QOL)演習	【事例検討】	予習：学習内容をテキストで読み、疑問点を調べる(90分) 復習：講義内容を振り返り、疑問点を調べ、まとめる(90分)
第28回	自立に向けた介護①(ICFの考え方とリハビリテーション)	【介護におけるICFの捉え方】	予習：学習内容をテキストで読み、疑問点を調べる(90分) 復習：講義内容を振り返り、疑問点を調べ、まとめる(90分)

第29回	自立に向けた介護②（ICFの考え方とリハビリテーション）	【介護におけるICFの捉え方】	予習：学習内容をテキストで読み、疑問点を調べる(90分) 復習：講義内容を振り返り、疑問点を調べ、まとめる(90分)
第30回	まとめ	【まとめ】	予習：これまでの復習（90分） 復習：回答の確認・復習(90分)

テキスト	[書名] 『介護の基本 I』 [著者] 西村洋子・本名靖・綿祐二・柴田範子編 [出版] 建帛社出版 [ISBN] 978-4-7679-3351-1 [価格] 2,200円+税
参考書・参考資料等	必要に応じ、参考書籍・文献・資料等を紹介、配布する。
上記到達目標の評価の方法	レポート…(20%) まとめ…(40%) 課題…(10%) 平常点（授業態度、提出物など）…(30%)
履修しておくべきことが望まれる科目	特になし
教材費用・実習費用等の負担費用	特になし
その他特記事項	授業終了時にミニツッパーパーを実施します
備考	レポート課題等は適宜連絡します。 授業は知識の定着と理解の深まりを期待することから、進度や内容を変更することがあります。（講義内にて連絡します）。

UP↑

✕ ウィンドウを閉じる

講義名	介護の基本Ⅱ
講義区分	講義
基準単位数	4
必選区分	必修(介護)
配当年次	2セメスター(1年次秋学期)
受講者制限	介護福祉コースのみ

担当教員

職種	氏名	所属
講師	◎ 山ノ井 勉	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科

本科目の到達目標	<p>①介護福祉士として、基本的な介護サービスの内容や特徴を学び、また介護福祉士の役割を理解できる。</p> <p>②介護の質の向上を図るために、多職種連携の意義と目的について理解できる。</p> <p>③介護に携わる人として、人権の意味や職業倫理が理解できる。</p>
授業概要	<p>介護福祉士として、主体的な学修を行うために、振り返りシートへの記入を実施する。また、レポートなど論理的思考を学ぶための学修も行う。そのため、授業内容は、教科書に準拠しつつも、社会の動静を視野に入れ、そこから発生した要請に応えるべき介護福祉士としての使命の自覚を促すものとなる。</p> <p>また、介護福祉士国家試験の対策も実施する。</p>

授業計画表

回	学習内容	【キーワード】	学習課題(予習・復習)
第1回	自らの使命を自覚し、学ぶ意欲を新たなものとする	【オリエンテーション】 【振り返り】	予習：シラバス・教科書を読み、授業の展開を理解する(90分) 復習：前期の復習をし、課題を明確にする(90分)
第2回	介護福祉士をとりまく状況(介護問題の背景と介護福祉士制度)	【生活の理解】 【生活者の理解】	予習：生活や生活習慣について調べ、まとめる(90分) 復習：講義内容を振り返り、課題をまとめ、調べる(90分)
第3回	介護福祉士の役割と機能を支えるしくみ	【介護福祉士の専門性】	予習：学習内容を教科書で確認し、まとめる(90分) 復習：講義内容を振り返り、課題をまとめ、調べる(90分)
第4回	社会福祉士および介護福祉士法について	【資格の法的根拠】	予習：社会福祉士及び介護福祉士法について調べ、まとめる(90分) 復習：講義内容を振り返り、課題をまとめ、調べる(90分)
第5回	介護関連法規	【関連制度】	予習：老人福祉法、高齢者虐待防止法について調べ、まとめる(90分) 復習：講義内容を振り返り、課題をまとめ、調べる(90分)
第6回	高齢者の生活①	【生活習慣】 【生活歴】	予習：学習内容を教科書で確認し、まとめる(90分) 復習：講義内容を振り返り、課題をまとめ、調べる(90分)
第7回	高齢者の生活②	【家族介護】 【社会参加】	予習：学習内容を教科書で確認し、まとめる(90分) 復習：講義内容を振り返り、課題をまとめ、調べる(90分)
第8回	高齢者の生活③	【事例検討】 【グループワーク】	予習：学習内容を教科書で確認し、まとめる(90分) 復習：講義内容を振り返り、課題をまとめ、調べる(90分)
第9回	障害のある人の生活①	【障害のある人の理解】 【障害関連の法律・制度】	予習：学習内容を教科書で確認し、まとめる(90分) 復習：講義内容を振り返り、課題をまとめ、調べる(90分)
第10回	障害のある人の生活②	【障害のある人の生活】 【障害のある人とのかかわり】	予習：学習内容を教科書で確認し、まとめる(90分) 復習：講義内容を振り返り、課題をまとめ、調べる(90分)
第11回	介護保険制度における介護サービスの概要①	【訪問系介護サービス】 【通所系サービス】	予習：介護保険制度のサービスを教科書で確認し、まとめる(90分) 復習：講義内容を振り返り、課題をまとめ、調べる(90分)
第12回	介護保険制度における介護サービスの概要②	【入所系サービス】	予習：介護保険制度のサービスを教科書で確認し、まとめる(90分) 復習：講義内容を振り返り、課題をまとめ、調べる(90分)
第13回	介護保険制度における介護サービスの概要③	【チームアプローチ】	予習：学習内容を教科書で確認し、まとめる(90分) 復習：講義内容を振り返り、課題をまとめ、調べる(90分)
第14回	障害者総合支援法①	【サービスの利用と概要】	

			予習：障害者総合支援法を教科書で確認し、まとめる(90分) 復習：講義内容を振り返り、課題をまとめ、調べる(90分)
第15回	障害者総合支援法②	【地域社会と障害】	予習：学習内容を教科書で確認し、まとめる(90分) 復習：講義内容を振り返り、課題をまとめ、調べる(90分)
第16回	中間まとめ	【振り返りと中間まとめ】	予習：これまでの学習を振り返り、まとめる(90分) 復習：授業内容の振り返り、課題をまとめ、調べる(90分)
第17回	介護実践における連携 多職種との連携①	【チームアプローチ】 【カンファレンス】	予習：学習内容を教科書で確認し、まとめる(90分) 復習：講義内容を振り返り、課題をまとめ、調べる(90分)
第18回	介護実践における連携 多職種との連携②	【協働・連携】 【介護と医療職】	予習：医療の専門職について教科書で確認し、まとめる(90分) 復習：講義内容を振り返り、課題をまとめ、調べる(90分)
第19回	介護実践における連携 地域との連携①	【地域包括支援センター】	予習：地域包括支援センターについて教科書で確認し、まとめる(90分) 復習：講義内容を振り返り、課題をまとめ、調べる(90分)
第20回	介護実践における連携 地域との連携②	【インフォーマルサービスとの連携】 【市町村・都道府県との連携】	予習：フォーマルサービス、インフォーマルサービスについて、教科書で確認し、まとめる(90分) 復習：講義内容を振り返り、課題をまとめ、調べる(90分)
第21回	介護における安全の確保①	【尊厳の確保】 【安全の考え方】 【ヒヤリハット】 【ハインリッヒの法則】	予習：ヒヤリハットについて調べ、まとめる(90分) 復習：講義内容を振り返り、課題をまとめ、調べる(90分)
第22回	介護における安全の確保②	【介護ストレス】 【心の健康管理】	予習：学習内容を教科書で確認し、まとめる(90分) 復習：講義内容を振り返り、課題をまとめ、調べる(90分)
第23回	介護における安全の確保③(連携)	【信頼関係】 【記録】 【プロセスレコード】	予習：プロセスレコードについて調べ、まとめる(90分) 復習：講義内容を振り返り、課題をまとめ、調べる(90分)
第24回	リスクマネジメント①	【リスクマネジメントの視点】 【リスク回避と尊厳の保持】	予習：学習内容を教科書で確認し、まとめる(90分) 復習：講義内容を振り返り、課題をまとめ、調べる(90分)
第25回	リスクマネジメント②	【事故防止】 【安全生活を守る仕組み】	予習：学習内容を教科書で確認し、まとめる(90分) 復習：講義内容を振り返り、課題をまとめ、調べる(90分)
第26回	介護者の健康管理(感染症対策)	【心身の健康管理の意義と目的】 【感染症対策】	予習：感染症について教科書で確認し、まとめる(90分) 復習：講義内容を振り返り、課題をまとめ、調べる(90分)
第27回	介護労働に関する法律	【安心して働ける環境】	予習：労働基準法について教科書で確認し、まとめる(90分) 復習：講義内容を振り返り、課題をまとめ、調べる(90分)
第28回	介護福祉士を目指すということ① (外部講師予定：卒業生)	【専門職倫理・職業倫理】 【介護を取り巻く状況の変化】 【専門職業人としての自覚】 【グループワーク】	予習：実習に臨む心構えについて、まとめる(90分) 復習：講義内容を振り返り、課題をまとめ、調べる(90分)
第29回	介護福祉士を目指すということ② (外部講師予定：卒業生)	【生活】【人生】【過去・現在・未来】 【ディベート】	予習：実習に臨む心構えについて、まとめる(90分) 復習：講義内容を振り返り、課題をまとめ、調べる(90分)
第30回	振り返り	【振り返りとまとめ】	予習：これまでの講義を振り返り、課題をまとめる(90分) 復習：講義内容を振り返り、課題をまとめ、調べる(90分)

テキスト	【書名】『介護の基本Ⅱ』 【著者】西村洋子・本名靖・綿祐二・柴田範子編 【出版】建帛社出版 【ISBN】978-4-7679-3352-8 【価格】2,200円+税
参考書・参考資料等	必要に応じ、参考書籍・文献・資料等を紹介、配布する。
上記到達目標の評価の方法	定期試験…(40%) 中間まとめ…(30%) 平常点(ミニッツペーパー、授業態度など)…(20%) その他(レポート)…(10%)
履修しておくべきことが望まれる科目	特になし
教材費用・実習費用等の負担費用	特になし
その他特記事項	授業終了前にミニッツペーパーを実施します グループワーク、ディベート
備考	レポート課題等は適宜連絡する。 授業は知識の定着と理解の深まりを期待することから、進度や内容を変更することもある(講義内にて連絡する)。



講義名	介護の基本Ⅲ
講義区分	講義
基準単位数	4
必選区分	必修(介護)
配当年次	4e/5e (2年次秋学期)
受講者制限	介護福祉コースのみ

**担当教員**

職種	氏名	所属
講師	◎ 吉原 真紀	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科
准教授	山 和美	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科
講師	山ノ井 勉	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科

本科目の到達目標	①12月にある学力評価試験において70%の正解を取得できる。 ②介護福祉士国家試験に対応する学力を身につけることができる。
授業概要	国家試験出題範囲に関する問題を(ワークブック、模擬問題など)を解き、解説を行う。 学生が各問題に取り組み、テキスト等で調べ、グループワークまたは個人で解説を発表する形式をとる。学習内容によって方法は異なるがアクティブラーニングを用いた授業を行う。

**授業計画表**

回	学習内容	【キーワード】	学習課題(予習・復習)
第1回	オリエンテーション	【講義の概要説明】 【自己紹介など】	予習: シラバスの理解および課題の整理(90分)
第2回	障害の理解	【身体障害】	予習: 参考書および模擬問題を解く(90分) 復習: 課題を明確にし、調べ、まとめる(90分)
第3回	障害の理解	【精神障害】 【知的障害】	予習: 参考書および模擬問題を解く(90分) 復習: 課題を明確にし、調べ、まとめる(90分)
第4回	障害の理解	【知的障害】 【発達障害】	予習: 参考書および模擬問題を解く(90分) 復習: 課題を明確にし、調べ、まとめる(90分)
第5回	こころとからだのしくみ	【こころのしくみの理解】 【マズロー】	予習: 参考書および模擬問題を解く(90分) 復習: 課題を明確にし、調べ、まとめる(90分)
第6回	こころとからだのしくみ	【からだのしくみの理解】	予習: 参考書および模擬問題を解く(90分) 復習: 課題を明確にし、調べ、まとめる(90分)
第7回	こころとからだのしくみ	【からだのしくみの理解】	予習: 参考書および模擬問題を解く(90分) 復習: 課題を明確にし、調べ、まとめる(90分)
第8回	こころとからだのしくみ	【からだのしくみの理解】	予習: 参考書および模擬問題を解く(90分) 復習: 課題を明確にし、調べ、まとめる(90分)
第9回	生活支援とこころとからだのしくみ	【生活支援技術】 【こころとからだのしくみ】	予習: 参考書および模擬問題を解く(90分) 復習: 課題を明確にし、調べ、まとめる(90分)
第10回	生活支援とこころとからだのしくみ	【生活支援技術】 【こころとからだのしくみ】	予習: 参考書および模擬問題を解く(90分) 復習: 課題を明確にし、調べ、まとめる(90分)
第11回	発達と老化の理解	【人間の成長と発達】	予習: 参考書および模擬問題を解く(90分) 復習: 課題を明確にし、調べ、まとめる(90分)
第12回	発達と老化の理解	【老年期の発達と成熟】	予習: 参考書および模擬問題を解く(90分) 復習: 課題を明確にし、調べ、まとめる(90分)
第13回	発達と老化の理解	【老化にともなうこころとからだの変化】	予習: 参考書および模擬問題を解く(90分) 復習: 課題を明確にし、調べ、まとめる(90分)
第14回	まとめ	【振り返り】 【模擬問題】	予習: これまでの授業を振り返り課題に対して模擬問題を解く(90分) 復習: 課題に対して、調べ、まとめる(90分)
第15回	まとめ	【振り返り】 【模擬問題】	

			予習：これまでの授業を振り返り課題に対して模擬問題を解く(90分) 復習：課題に対して、調べ、まとめる(90分)
第16回	認知症の理解	【認知症の基礎】 【認知症を取り巻く状況】 【認知症の症状】	予習：参考書および模擬問題を解く(90分) 復習：課題を明確にし、調べ、まとめる(90分)
第17回	認知症の理解	【認知症にともなうことからの変化】 【連携と協働】	予習：参考書および模擬問題を解く(90分) 復習：課題を明確にし、調べ、まとめる(90分)
第18回	介護の基本	【介護福祉士の役割と機能を支えるしくみ】 【介護従事者の倫理】	予習：参考書および模擬問題を解く(90分) 復習：課題を明確にし、調べ、まとめる(90分)
第19回	介護の基本	【尊厳を支える介護】 【自立に向けた介護】	予習：参考書および模擬問題を解く(90分) 復習：課題を明確にし、調べ、まとめる(90分)
第20回	生活支援技術	【移動・食事・排泄・入浴・居住環境】	予習：参考書および模擬問題を解く(90分) 復習：課題を明確にし、調べ、まとめる(90分)
第21回	生活支援技術	【移動・食事・排泄・入浴・居住環境】	予習：参考書および模擬問題を解く(90分) 復習：課題を明確にし、調べ、まとめる(90分)
第22回	介護保険法	【介護保険制度の基礎的理解】	予習：参考書および模擬問題を解く(90分) 復習：課題を明確にし、調べ、まとめる(90分)
第23回	介護保険法	【介護サービス】	予習：参考書および模擬問題を解く(90分) 復習：課題を明確にし、調べ、まとめる(90分)
第24回	障害者総合支援法	【障害者支援の仕組みの基礎的理解】	予習：参考書および模擬問題を解く(90分) 復習：課題を明確にし、調べ、まとめる(90分)
第25回	障害者総合支援法	【障害福祉サービス】	予習：参考書および模擬問題を解く(90分) 復習：課題を明確にし、調べ、まとめる(90分)
第26回	社会保障の仕組み	【社会保障制度の基礎的理解】 【保険・年金】 【生活保護】	予習：参考書および模擬問題を解く(90分) 復習：課題を明確にし、調べ、まとめる(90分)
第27回	社会保障の仕組み	【社会保障制度の基礎的理解】 【保険・年金】 【生活保護】	予習：参考書および模擬問題を解く(90分) 復習：課題を明確にし、調べ、まとめる(90分)
第28回	総合問題対策	【事例問題】	予習：参考書および模擬問題を解く(90分) 復習：課題を明確にし、調べ、まとめる(90分)
第29回	まとめ	【振り返り】 【模擬問題】	予習：これまでの授業を振り返り課題に対して模擬問題を解く(90分) 復習：課題に対して、調べ、まとめる(90分)復習：振り返りシート作成(90分)
第30回	まとめ	【振り返り】 【模擬問題】	予習：これまでの授業を振り返り課題に対して模擬問題を解く(90分) 復習：課題に対して、調べ、まとめる(90分)復習：振り返りシート作成(90分)

テキスト	<p>[書名] 『新・介護福祉士養成講座2 社会と制度の理解 第3版』 [出版] 中央法規</p> <p>[ISBN] 978-4-8058-3419-0 [価格] 2,200円+税</p> <p>[書名] 『見て覚える！介護福祉士国試ナビ』 [出版] 中央法規</p> <p>[ISBN] 978-4-8058-5673-4 [価格] 2,400円+税</p>
参考書・参考資料等	<p>[書名] 『介護福祉士国家試験模擬問題集』 [出版] 中央法規</p> <p>[書名] 『介護福祉士国家試験受験ワークブック(上)』 [出版] 中央法規</p>
上記到達目標の評価の方法	平常点(授業内ミニテスト 全国統一模擬試験・学力評価試験など)…(100%)
履修しておくべきことが望まれる科目	特になし
教材費用・実習費用等の負担費用	介護福祉士全国統一模擬試験 2回 中央法規 8,000円+税 学力評価試験 日本介護福祉士養成協会 2,000円+税
その他特記事項	授業は知識の定着と理解の深まりを期待することから、進度や内容を変更することもある。
備考	個人・グループで問題を解き、根拠を探し発表する。(理解促進テスト法)

講義名	コミュニケーション技術
講義区分	講義
基準単位数	2
必選区分	必修(介護)
配当年次	1セメスター(1年次春学期)
受講者制限	介護福祉コースのみ

**担当教員**

職種	氏名	所属
准教授	◎ 片山 弘紀	びわこ学院大学 教育福祉学部 子ども学科

本科目の到達目標	介護における基本的なコミュニケーション技術の理論について説明できる。
授業概要	介護における基本的なコミュニケーション技術を学ぶとともに、必要な自己理解、他者理解についての学習を中心に行う。また、ペアワークや振り返りのテストなどを通じて定着をはかる。

**授業計画表**

回	学習内容	【キーワード】	学習課題(予習・復習)
第1回	オリエンテーション	【講義の進め方】	予習: シラバスを熟読(90分) 復習: オリエンテーション内容を覚える(90分)
第2回	介護におけるコミュニケーションの基本	【コミュニケーションとは】	予習: 介護におけるコミュニケーションの基本について文献、インターネット等で調べる(90分) 復習: 介護におけるコミュニケーションの基本についての語句を覚える(90分)
第3回	介護におけるコミュニケーションの意義、役割	【自己理解、他者理解】	予習: 介護におけるコミュニケーションの意義、役割について文献、インターネット等で調べる(90分) 復習: 介護におけるコミュニケーションの意義、役割についての語句を覚える(90分)
第4回	介護を必要とする利用者の理解	【利用者理解】	予習: 介護を必要とする利用者について文献、インターネット等で調べる(90分) 復習: 介護を必要とする利用者についての語句を覚える(90分)
第5回	介護を利用する利用者の家族の理解	【家族理解】	予習: 介護を必要とする利用者の家族について文献、インターネット等で調べる(90分) 復習: 介護を必要とする利用者の家族についての語句を覚える(90分)
第6回	認知症の利用者とのコミュニケーション①	【認知症の利用者との関わりの基本】	予習: 認知症の利用者とのコミュニケーションについて文献、インターネット等で調べる(90分) 復習: 認知症の利用者とのコミュニケーションについての語句を覚える(90分)
第7回	失語症の利用者とのコミュニケーション②	【失語症の利用者との関わりの基本】	予習: 失語症の利用者について文献、インターネット等で調べる(90分) 復習: 失語症の利用者についての語句を覚える(90分)
第8回	家族とのコミュニケーション	【家族との関わりの基本】	予習: 家族とのコミュニケーションの方法について文献、インターネット等で調べる(90分) 復習: 家族とのコミュニケーション方法についての語句を覚える(90分)
第9回	利用者、家族に対する傾聴の基本	【聴き方】	予習: 利用者、家族に対する傾聴の基本について文献、インターネット等で調べる(90分) 復習: 利用者、家族に対する傾聴の基本についての語句を覚える(90分)
第10回	利用者、家族に対する伝え方の基本	【伝え方】	予習: 利用者、家族に対する伝え方について文献、インターネット等で調べる(90分) 復習: 利用者、家族に対する伝え方についての語句を覚える(90分)
第11回	チームのコミュニケーション①(目的、方法)	【目的、方法】	予習: チームのコミュニケーション(目的、方法)について文献、インターネット等で調べる(90分)



			復習：チームのコミュニケーション(目的、方法)についての語句を覚える(90分)
第12回	チームのコミュニケーション ②(報告、連絡、相談)	【連絡、報告、相談】	予習：チームのコミュニケーション(連絡、報告、相談)について文献、インターネット等で調べる(90分) 復習：チームのコミュニケーション(連絡、報告、相談)についての語句を覚える(90分)
第13回	チームのコミュニケーション ③(会議、記録)	【ケアカンファレンス、 記録の意義】	予習：チームのコミュニケーション(会議、記録)について文献、インターネット等で調べる(90分) 復習：チームのコミュニケーション(会議、記録)についての語句を覚える(90分)
第14回	相談援助職のあり方	【相談援助職】	予習：相談援助職のあり方について文献、インターネット等で調べる(90分) 復習：相談援助職のあり方についての語句を覚える(90分)
第15回	まとめ	【振り返り】	予習：半年間のノートの熟読(100分) 復習：半年間のノートで覚えていないところを覚える。(90分)

テキスト	適宜、プリント、資料を配布する。
参考書・参考資料等	必要に応じ、参考書籍・文献・資料等を紹介、配布する。
上記到達目標の評価の方法	小テスト…(50%) レポート…(30%) 平常点(レスポンスペーパーの作成、積極的な授業の参加)…(20%)
履修しておくべきことが望まれる科目	特になし
教材費用・実習費用等の負担費用	特になし
その他特記事項	ロールプレイ、ブレインストーミングなどのアクティブラーニングを実施する。

講義名	コミュニケーション技術演習
講義区分	演習
基準単位数	1
必選区分	必修(介護)
配当年次	2年生(1年次秋学期)
受講者制限	介護福祉コースのみ

担当教員

職種	氏名	所属
講師	◎ 山ノ井 勉	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科

本科目の到達目標	①介護実践のために必要な人間の理解や、他者への情報伝達に必要な基礎的なコミュニケーション技術を活用し実践できる。 ②多職種協働におけるコミュニケーション技術について理解できる。
授業概要	介護現場で必要となるコミュニケーション技術の基礎について体験的に学習を行う。そのため、授業終了時に振り返りシートの記入や演習用プリントの作成などを行うので積極的な姿勢や主体的な学習態度が必要になる。

授業計画表

回	学習内容	【キーワード】	学習課題(予習・復習)
第1回	オリエンテーション	【本授業の説明】	予習:人間関係とコミュニケーションbについて復習する。(45分) 復習:コミュニケーション技術の基本について、まとめる(90分)
第2回	介護福祉士のコミュニケーション技術 ①コミュニケーションの基本	【コミュニケーションの意義・目的】 【ラポール】 【人間関係の形成】	予習:信頼関係とは何か考察し、まとめる(90分) 復習:感情表現や態度など学習したことを実践する(90分)
第3回	介護福祉士のコミュニケーション技術 ②利用者家族との関係	【利用者・家族との関係づくり】 【転移・逆転移】	予習:転移・逆転移について調べ、まとめる(90分) 復習:感情のコントロールについて、考察し実践する(90分)
第4回	対人支援の実際①	【バ이스テック】 【グループワーク】	予習:バ이스テックについて調べ、まとめる(90分) 復習:学びの実践(90分)
第5回	対人支援の実際②	【エコマップ】 【ジェノグラム】	予習:エコマップ、ジェノグラムについて調べ、まとめる(90分) 復習:家族との対話を通し、感想をまとめる(90分)
第6回	対人支援の実際③	【プロセスレコード】	予習:ボランティア場面を記録する(90分) 復習:コミュニケーション場面を言葉や文章で説明する(90分)
第7回	中間まとめ	【中間まとめ】	予習:ノートの再読(90分) 復習:まとめについて復習し、課題を整理する(90分)
第8回	個別に対するコミュニケーション①	【コミュニケーション障害】 【コミュニケーションを阻害する要因】	予習:コミュニケーション障害について調べ、まとめる(90分) 復習:ノートを整理し、課題を調べまとめる(90分)
第9回	個別に対するコミュニケーション②	【意欲】 【受容・共感・傾聴】	予習:意欲低下の場面を振り返り、どのようにして立ち直ったかまとめる(90分) 復習:学びの実践(90分)
第10回	集団に対するコミュニケーション①	【グループワークとは】 【集団の特徴】	予習:グループワークについて調べ、まとめる(90分) 復習:主体性・協調性について意識し、実践する(90分)
第11回	集団に対するコミュニケーション② チームアプローチ	【傾聴】 【主体性】 【連携】 【グループワーク】	予習:リーダーシップについて調べ、まとめる(90分) 復習:学びの実践(90分)
第12回			

	地域に対するコミュニケーション① チームアプローチ	【地域福祉】 【報告・連絡・相談】 【情報の共有】	予習：地域の福祉施設について調べる(90分) 復習：報告・連絡・相談の実践(90分)
第13回	地域に対するコミュニケーション②情報 の共有化	【カンファレンス】 【記録・司会】 【グループワーク】	予習：カンファレンス・会議について調べ、まとめる (90分) 復習：ノートを整理し、課題をまとめる(90分)
第14回	介護福祉士のコミュニケーション技術	【専門性】 【実践家の熟成過程】	予習：プロとアマチュアの違いについて、まとめる (90分) 復習：容量について意識する(90分)
第15回	まとめ	【全体の振り返り】	予習：ノートの再読(90分) 復習：振り返り(90分)

テキスト	適宜、プリント、資料を配布する。
参考書・参考資料等	【書名】『対人援助とコミュニケーション』 【著者】 諏訪茂樹 【出版】 中央法規 2001
上記到達目標の評価の方法	まとめ…(40%) 中間まとめ…(30%) 平常点(提出物、レポートなど)…(30%)
履修しておくべきことが望まれる科目	特になし
教材費用・実習費用等の負担費用	特になし
その他特記事項	ミニツッペーパー、グループワーク
備考	レポート課題等は適宜連絡します。 授業は、知識及び技術の定着と理解に深まりを期待することから、進度や内容を変更することがあります。(講義内で連絡します)

UP

✕ ウィンドウを閉じる

講義名	生活支援技術概論 A
講義区分	講義
基準単位数	2
必選区分	必修(介護)
配当年次	1セメスター (1年次春学期)
受講者制限	介護福祉コースのみ

**担当教員**

職種	氏名	所属
教授	◎ 丸山 俊明	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科
非常勤講師	内丸 もと子	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科

**本科目の到達目標**

- 【住分野】
- ・福祉住環境について概要と基本的用語を把握できる
  - ・簡単な住宅調査ができる
- 【家庭・衣分野】
- ・日常生活を構成する上で基本となる家庭生活の基礎的な事柄について説明できる。
  - ・衣生活について基礎的な知識を習得し、介護の現場で問題点を見つけ改善策を提案できる。

**授業概要**

- 【住分野】
- ・テキストを中心に福祉住環境の基礎と基本的用語を学ぶ
  - ・住宅調査の基礎的方法を学ぶ
  - ・理解度を確かめるためアクティブ・ラーニング(ミニッツ・ペーパー)を取り入れる
- 【家庭・衣分野】
- ・家庭生活の特質や、変動する社会における家族機能や家庭管理のあり方について学習する。
  - ・被服の役割、素材、管理方法を理解し、より快適な衣生活が送れる方法を考察する。

**授業計画表**

回	学習内容	【キーワード】	学習課題(予習・復習)
第1回	【住①】 バリアフリーとユニバーサルデザインの概要と基本的用語を学ぶ	【バリアフリー】 【ユニバーサルデザイン】	予習：テキスト第3章(90分) 復習：テキスト第3章(90分)
第2回	【住②】 安全・安心・快適な住まいの整備の概要と基本技術を学ぶ①	【段差解消】 【手すり】	予習：テキスト第4章1節前半(90分) 復習：テキスト第4章1節前半(90分)
第3回	【住③】 安全・安心・快適な住まいの整備の概要と基本技術を学ぶ②	【家具】 【収納】 【冷暖房】	予習：テキスト第4章2節前半(90分) 復習：テキスト第4章2節前半(90分)
第4回	【住④】 生活行為にそった安全な住まいの概要と基本技術を学ぶ	【屋外移動】 【屋内移動】 【入浴】 【排泄】	予習：テキスト第4章2節後半(90分) 復習：テキスト第4章2節後半(90分)
第5回	【住⑤】 ライフスタイルの多様化と住まいの概要と基本技術を学ぶ	【高齢化】 【少子化】	予習：テキスト第5章1節(90分) 復習：テキスト第5章1節(90分)
第6回	【住⑥】 まちづくりと住まいの概要と基本技術を学ぶ①	【まちづくり】 【関係法令】	予習：テキスト第5章2節(90分) 復習：テキスト第5章2節(90分)
第7回	【住⑦】 まちづくりと住まいの概要と基本技術を学ぶ②	【まちづくり】 【関係法令】	予習：テキスト第5章3節(90分) 復習：テキスト第5章3節(90分)
第8回	【家①】 家庭生活の特性や、変動する社会・家庭生活における家族機能としての高齢者への対応などの現状や問題について考える。	【家庭】 【家族】 【高齢者】	予習：テキストp194~197を読み要点をまとめる。まとめた要点は提出する(9~15回とも同様)(90分) 資料も調べること 復習：ワークシート作成(90分)
第9回	【家②】 高齢社会の現状と課題 家族・健康、経済生活、生きがいなどを考える。	【少子化】 【高齢化】 【超高齢社会】	予習：テキストp198~201を読み要点をまとめる(90分) 資料も調べること 復習：ワークシート作成(90分)
第10回			

	【家③】家庭経済 高齢者・障害者の経済生活について知る。 現代社会における消費者と消費者問題について考える。	【家計】【消費生活】【消費者問題】	予習：テキストp201～204を読み要点まとめ(90分) 新聞などから関連する記事を読み貼付(60分) 復習：ワークシート作成(90分)
第11回	【衣①】被服の役割と機能 多様な被服の役割を考える。	【保健衛生的機能】【社会的機能】 【自己表現】【皮膚障害】	予習：テキストp246～248、269～271を読み要点まとめ(90分) 復習：ワークシート作成(90分)
第12回	【衣②】被服の素材 衣服材料の種類や特徴を知る。	【繊維】【糸】【織物】【編物】 【性能改善】【加工法】【繊維リサイクル】 【サステナビリティ】	予習：テキストp251、253～256、249を読み要点まとめ(90分) 復習：ワークシート作成(90分)
第13回	【衣③】被服計画 被服選択・購入時において種々の表示を活用する。 被服の管理 洗濯、洗剤の種類と正しい使い方について理解する。	【サイズ表示】【素材表示】【取扱い表示】 【洗剤】【洗濯】	予習：テキストp250～252、256～263を読み要点まとめ(90分) 市場調査(60分) 復習：ワークシート作成(90分)
第14回	【衣④】高齢者・障害者の被服 高齢者・障害者の身体的・心理的な特徴をふまえて、着心地の良い被服を考察する。	【ユニバーサルファッション】 【健康】【安全】【快適】	予習：テキストp271～276を読み要点まとめ(90分) 復習：ワークシート作成(90分)
第15回	【衣⑤】プレゼンテーション 高齢者・障害者のための衣服	【高齢者・障害者のための衣服】	予習：プレゼンテーションの準備(120分)

テキスト	<p>【書名】『福祉住環境コーディネーター3級公式テキスト』（改訂5版）</p> <p>【出版】東京商工会議所</p> <p>【ISBN】978-4-92454-762-9</p> <p>【価格】2,700円+税</p> <p>【住分野】</p> <p>【書名】『最新 新介護福祉士養成講座6 生活支援技術Ⅰ』</p> <p>【出版】中央法規出版</p> <p>【ISBN】978-4-8058-5766-3</p> <p>【価格】2,376円（税込）</p> <p>【家庭・衣分野】</p> <p>教材プリント</p>
参考書・参考資料等	必要に応じ、参考書籍・文献・資料等を紹介、配布する。
上記到達目標の評価の方法	<p>【住分野】</p> <p>各講義時のミニッツ・ペーパー…(60%)</p> <p>※割合が大きいのに注意</p> <p>期末試験…(40%)</p> <p>【家庭・衣分野】</p> <p>期末プレゼンテーション…(30%)</p> <p>課題・平常点…(70%)</p>
履修しておくべきことが望まれる科目	特になし
教材費用・実習費用等の負担費用	特になし
その他特記事項	各分野ごとの成績が100点中60点以上を合格とする。 【住分野】…丸山 俊明(全7回) 【家庭・衣分野】…内丸 もと子(全8回) ※分野により、授業日程が異なる(授業日程は別途案内する)。
備考	座席指定、受講条件のある学生は申し出ること 第1回～第7回の質問先は、丸山研究室

講義名	生活支援技術概論B
講義区分	講義
基準単位数	2
必選区分	必修(介護)
配当年次	2年生(1年次秋学期)
受講者制限	介護福祉コースのみ

**担当教員**

職種	氏名	所属
非常勤講師	◎ 赤田 みゆき	びわこ学院大学 教育福祉学部 子ども学科

<b>本科目の到達目標</b>	①食物を栄養素の視点で理解することができる。 ②病気予防につながる生活上の注意を理解することができる。 ③「生活支援」に関わる情報を自発的に探索・説明することができる。
<b>授業概要</b>	食生活を支援するために必要な栄養学の基礎的知識や、食物摂取と関わる病気の予防について解説する。その結果の1つとして、食生活支援に関わる情報に興味・関心を持つ態度を育てる。

**授業計画表**

回	学習内容	【キーワード】	学習課題(予習・復習)
第1回	生活における食事の役割	【栄養, 消化, 吸収】	
第2回	食事と栄養(1): 糖質	【代謝, 糖質】	予習: 配布プリントを読む(90分) 復習: ノートの見直し(90分)
第3回	食事と栄養(2): 蛋白質	【代謝, 蛋白質】	予習: 配布プリントを読む(90分) 復習: ノートの見直し(90分)
第4回	食事と栄養(3): 脂質	【代謝, 脂質】	予習: 配布プリントを読む(90分) 復習: ノートの見直し(90分)
第5回	食事と栄養(4): ビタミン, ミネラル	【酵素, ビタミン, ミネラル】	予習: 配布プリントを読む(90分) 復習: ノートの見直し(90分)
第6回	調理の科学(1): 「切る」, 「刻む」, 「つぶす」, 「すりおろす」, 「和える」, ...	【消化, 酸化】	予習: 配布プリントを読む(90分) 復習: ノートの見直し(90分)
第7回	調理の科学(2): 「煮る」, 「蒸す」, 「揚げる」, 「炒める」, 「焼く」, ...	【熱変性, 熱分解, 抽出】	予習: 配布プリントを読む(90分) 復習: ノートの見直し(90分)
第8回	病気と予防(1): 感染症	【細菌, ウィルス】	予習: 配布プリントを読む(90分) 復習: ノートの見直し(90分)
第9回	病気と予防(2): 食中毒	【腐敗, 発酵】	予習: 配布プリントを読む(90分) 復習: ノートの見直し(90分)
第10回	病気と予防(3): 循環器疾患	【動脈硬化, 梗塞】	予習: 配布プリントを読む(90分) 復習: ノートの見直し(90分)
第11回	病気と予防(4): 生活習慣病	【カロリー, アルコール】	予習: 配布プリントを読む(90分) 復習: ノートの見直し(90分)
第12回	病気と予防(5): アレルギー疾患	【抗原, 免疫】	予習: 配布プリントを読む(90分) 復習: ノートの見直し(90分)
第13回	食品と安全	【安全, 基準】	

			予習：配布プリントを読む(90分) 復習：ノートの見直し(90分)
第14回	事例調査(1)		復習：レポート作成(90分)
第15回	事例調査(2)		復習：レポート作成(90分)

テキスト	[書名] 『新介護福祉士養成講座6 生活支援技術Ⅰ』 [出版] 中央法規出版 [ISBN] 978-4-8058-3940-9 [価格] 2,200円+税
参考書・参考資料等	必要に応じ、参考書籍・文献・資料等を紹介、配布する。
上記到達目標の評価の方法	授業中レポート…(70%) 平常点(受講態度等)…(30%)
履修しておくべきことが望まれる科目	特になし
教材費用・実習費用等の負担費用	特になし
その他特記事項	特になし

UP↑

✕ ウィンドウを閉じる

講義名	生活支援技術演習 A
講義区分	演習
基準単位数	2
必選区分	必修(介護)
配当年次	1セメスター (1年次春学期)
受講者制限	介護福祉コースのみ

## 担当教員

職種	氏名	所属
准教授	◎ 山 和美	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科
非常勤講師	北川 享子	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科

## 本科目の到達目標

- ①生活支援に資する介護を、他の職種と連携し適切に実施できる
- ②介護技術を用いて、安全に安楽に援助できる技術や知識を習得する
- ③利用者が主体的に生活できるような、個別ケアが理解できる

## 授業概要

どのような状態であっても、その人の自立・自律を尊重し、潜在能力を引き出したり、見守ることも含めた適切な介護技術を用いて、安全に援助できる技術や知識について学習する。

## 授業計画表

回	学習内容	【キーワード】	学習課題(予習・復習)
第1回	オリエンテーション、生活理解	【生活支援とは】	予習：テキストP2～12を読み理解する(90分)
第2回	ICFの考え方とアセスメントの意味	【自立支援に立った身体介護】	予習：高齢者の身体的特徴を調べる(90分)
第3回	ICFの考え方とアセスメントの意味	【ICFの意味】	復習：テキストP14～42を読み理解する(90分)
第4回	ボディメカニクス・移動・移乗の意義と目的	【ボディメカニクスの理解】	4～7 予習：テキストP1～22まで(90分)
第5回	体位変換の方法 ① 起居動作	【ボディメカニクス】	演習課題1～4レポート提出(90分)
第6回	体位変換の方法 ② 起居動作	【ボディメカニクス】	復習：起居動作の練習(90分)
第7回	体位変換の方法 ③ 安楽な体位	【ボディメカニクス】	復習：安楽な体位の練習(90分)
第8回	身支度の支援 ① 生活環境とアセスメント	【生活環境とアセスメント】	復習：介護過程のアセスメントを理解する(90分)
第9回	身支度の支援 ② ベッドメイキングの方法 洗面・整容	【自立した身支度の方法】	予習：テキストP22～27読む(30分)
第10回	身支度の支援 ③ 衣服の着脱方法	【身支度の意義と目的】	予習：テキストP22～27読む(60分)
第11回	身支度の支援 ④ 衣服の着脱方法	【自立生活を支える】	復習：身支度における演習の振り返り(30分)
第12回	身支度の支援 ⑤ 衣服の着脱方法	【自立生活を支える身支度の介護】	復習：身支度における演習の振り返り(30分)
第13回	移動・移乗の介助 ①	【移動・移乗におけるアセスメント】	復習：移動・移乗の介助方法の練習(30分)
第14回	移動・移乗の介助 ②	【移動・移乗の介助】	予習：移動・移乗の介助方法の練習(30分)
第15回	移動・移乗の介助 ③	【移動・移乗の介助】	予習：移動・移乗の介助方法の練習(90分)
第16回	移動・移乗の介助 ④	【移動・移乗の介助】	予習：移動・移乗の介助 方法の練習(90分)
第17回	歩行介助の方法	【杖歩行・白杖】	予習：P159～164(90分)
第18回	ベッドメイキングの方法 ①	【ベッドメイキングの方法】	復習：ベッドメイキングの練習(30分)
第19回	ベッドメイキングの方法 ②	【ベッドメイキングの方法】	復習：ベッドメイキングの練習(30分)
第20回	ベッドメイキングの方法 ③	【ベッドメイキングの方法】	復習：生活環境における演習の振り返り(30分)



第21回	衣服の着脱とシーツ交換の方法 ①	【衣服の着脱とシーツ交換】	復習：衣服の着脱とシーツ交換の練習(30分)
第22回	衣服の着脱とシーツ交換の方法 ②	【衣服の着脱とシーツ交換】	復習：衣服の着脱とシーツ交換の練習(30分)
第23回	衣服の着脱とシーツ交換の方法 ③	【衣服の着脱とシーツ交換】	予習：衣服の着脱とシーツ交換の練習(90分)
第24回	感染症の予防方法	【感染症】	予習：感染症についてのレポート作成(120分)
第25回	入浴介助の意義と目的	【入浴介助】	予習：テキストP222～247まで読む(30分)
第26回	入浴介助の方法 ①	【入浴介助】	予習：テキストP176～184まで読む(30分)
第27回	入浴介助の方法 ②	【入浴介助】	予習：テキストP222～255まで読む(90分)
第28回	入浴介助の方法 ③	【入浴介助】	復習：入浴における演習の振り返り(30分)
第29回	自立に向けた入浴・清潔保持の介護 入浴介助演習 男子	【部分浴の介助】	復習：入浴における演習の振り返り(30分)
第30回	自立に向けた入浴・清潔保持の介護 入浴介助演習 女子	【清潔保持の介助とまとめ】	復習：入浴における演習の振り返り(30分)

テキスト	<p>【書名】最新 介護福祉士養成講座6『生活支援技術Ⅰ』  【出版】中央法規出版  【ISBN】978-4-8058-5766-3  【価格】2,200円+税  【書名】最新 介護福祉士養成講座7『生活支援技術Ⅱ』  【出版】中央法規出版  【ISBN】978-4-8058-5767-0  【価格】2,200円+税</p>
参考書・参考資料等	必要に応じ、参考書籍・文献・資料等を紹介、配布する。
上記到達目標の評価の方法	<p>期末筆記試験…(50%)  課題レポート…(10%)  平常点…(40%)</p>
履修しておくべきことが望まれる科目	特になし
教材費用・実習費用等の負担費用	特になし
その他特記事項	特になし

講義名	生活支援技術演習B
講義区分	演習
基準単位数	2
必選区分	必修(介護)
配当年次	2セメスター(1年次秋学期)
受講者制限	介護福祉コースのみ

## 担当教員

職種	氏名	所属
准教授	◎ 山 和美	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科
非常勤講師	北川 享子	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科

## 本科目の到達目標

- ①生活支援に資する介護を、他の職種と連携し適切に実施できる
- ②介護技術を用いて、安全に安楽に援助できる技術や知識を習得する
- ③利用者が主体的に生活できるような、個別ケアが理解できる

## 授業概要

どのような状態であっても、その人の自立・自律を尊重し、潜在能力を引き出したり、見守ることも含めた適切な介護技術を用いて、安全に援助できる技術や知識について習得する学習とする。

## 授業計画表

回	学習内容	【キーワード】	学習課題(予習・復習)
第1回	福祉用具の活用	【福祉用具】	予習：介護保険・福祉用具についてレポート(120分)
第2回	福祉用具を使った移動・移乗の介助方法 ①	【福祉用具】	復習：福祉用具の使用方法を学ぶ(90分)
第3回	福祉用具を使った移動・移乗の介助方法 ②	【自立した移動・移乗】	復習：移動・移乗の介助方法の練習(90分)
第4回	福祉用具を使った移動・移乗の介助方法 ③	【移動・移乗のまとめ】	復習：移動・移乗の介助の振り返り(90分)
第5回	自立に向けた排泄の介護① 講義	【排泄の意義と目的】	予習：テキストP270～326読む(90分)
第6回	自立に向けた排泄の介護② 演習	【自立を支える排泄介助】	復習：排泄介助の振り返り(90分)
第7回	自立に向けた排泄の介護③ 演習	【排泄におけるアセスメント】	復習：排泄介助の振り返り(90分)
第8回	自立に向けた排泄の介護④ 演習	【排泄介助】	復習：排泄介助の振り返り(90分)
第9回	自立に向けた排泄の介護⑤ 演習	【尿器・差し込み便器を使った介助】	復習：排泄介助の振り返り(90分)
第10回	自立に向けた排泄の介護⑥ 演習	【頻尿・尿失禁・便秘・下痢・便失禁への対応】復習：	排泄介助の振り返り(60分)
第11回	自立に向けた排泄の介護⑦ 演習	【その他の排泄に関する様々な介助】	復習：排泄介助の振り返り(90分)
第12回	自立に向けた排泄の介護⑧ 演習	【排泄介助のまとめ】	復習：排泄介助の振り返り(90分)
第13回	自立に向けた排泄の介護⑨ 演習	【排泄介助のまとめ】	復習：排泄介助の振り返り(90分)
第14回	家事介護の基本 ①	【家事介護の基本的視点】	予習：テキストP182～203を読む(90分)
第15回	家事介護の基本 ②	【家事介護の基本的視点】	予習：テキストP274～333を読む(90分)
第16回	調理実習 ①	【調理実習】	予習：献立を考える(120分)
第17回	調理実習 ②	【調理実習】	復習：調理実習のレポート作成(120分)

第18回	食事介助の方法 ①	【食事介助】	予習：テキストP188～213まで読む(120分)
第19回	食事介助の方法 ②	【食事介助】	予習：食事介助チェックリスト作成(60分)
第20回	食事介助の方法 ③	【復習とまとめ】	復習：食事介助のチェックリスト作成(120分)
第21回	医療との連携方法	【多職種連携】	予習：テキストP346～352を読む(60分)
第22回	終末期のケア	【ターミナルケア】	復習：テキスト366～399まで読む(60分)
第23回	バイタルチェックの方法 ①	【バイタルチェック】	復習：血圧測定の練習(120分)
第24回	バイタルチェックの方法 ②	【バイタルチェック】	復習：血圧測定の練習(90分)
第25回	バイタルチェックの方法 ③	【バイタルチェック】	復習：血圧測定の練習(90分)
第26回	バイタルチェックの方法 ④	【バイタルチェック】	復習：血圧測定の練習(120分)
第27回	睡眠の意義と目的	【睡眠の介護】	予習：テキストP334～359を読む(120分)
第28回	後期のまとめ	【まとめ】	復習：苦手な生活支援技術を練習(60分)
第29回	福祉用具センター見学 演習	【学外授業】	復習：見学後レポート作成(90分)
第30回	福祉用具センター見学 演習	【学外授業】	

テキスト	生活支援技術演習Aと同じテキストを使用
参考書・参考資料等	必要に応じ、参考書籍・文献・資料等を紹介、配布する。
上記到達目標の評価の方法	期末筆記試験…(40%) 課題レポート…(30%) 平常点…(30%)
履修しておくべきことが望まれる科目	「生活支援技術演習A」
教材費用・実習費用等の負担費用	特になし
その他特記事項	テキストは、「生活支援技術演習A」で使用したテキストと同じものです。

UP↑

✕ ウィンドウを閉じる

講義名	生活支援技術演習 C
講義区分	演習
基準単位数	2
必選区分	必修(介護)
配当年次	4ヶ月(2年次秋学期)
受講者制限	介護福祉コースのみ

**担当教員**

職種	氏名	所属
准教授	◎ 山 和美	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科

<b>本科目の到達目標</b>	介護を必要とする様々な利用者の特性を理解し、介護の視点や支援の在り方について具体的に理解できる
<b>授業概要</b>	介護を必要とする利用者は、様々な状態・状況で圧という事を学ぶ また、介護の原則は個別ケアであり、生き方や価値観、生活の仕方もそれぞれに違う 利用者の疾病や障害によって起こる生活の不自由さをどのように支援することが出来るのかを学ぶ また、利用者の課題解決をするためにアクティブラーニングを取り入れた授業を行う

**授業計画表**

回	学習内容	【キーワード】	学習課題(予習・復習)
第1回	オリエンテーション 障害を持つ人への支援	【障害の種類】	予習: テキストを読むp2~6 (90分)
第2回	障害に応じた生活支援技術 ① 視覚障害	【視覚障害】 【白杖】	予習: 演習課題2-1・2-2・2-3 (90分)
第3回	障害に応じた生活支援技術 ② 聴覚障害・言語障害	【視覚障害】 【コミュニケーション】	復習: 演習課題2-4・2-5(90分)
第4回	障害に応じた生活支援技術 ③ 重複障害 盲ろう	【盲ろう】	予習: テキスト p. 48~59を読み理解する(90分)
第5回	障害に応じた生活支援技術 ④ 知的障害	【知的障害】 【生活の理解】	予習: 知的障害について調べる(90分)
第6回	障害に応じた生活支援技術 ⑤ 精神障害	【総合失調症】 【気分障害】	予習: 演習課題3-3・3-4 (90分)
第7回	障害に応じた生活支援技術 ⑥ 高次脳機能障害	【高次脳機能】 【失語症】	予習: 高次脳機能障害について調べる(90分)
第8回	障害に応じた生活支援技術 ⑦ 発達障害	【アスペルガー症候群】 【ADHD】 【LD】	予習: 発達障害について調べる(90分)
第9回	障害に応じた生活支援技術 ⑧ 発達障害	【パニック症候群】	復習: 演習課題3-7・3-8 (90分)
第10回	障害に応じた生活支援技術 ⑨ 重症心身障害	【重症心身障害】	予習: テキストを読んでくるp. 214~221(90分)
第11回	障害に応じた生活支援技術 ⑩ 認知症	【特別養護老人ホーム】 【小規模多機能施設】 【グループホーム】	復習: 演習課題4-3・4-4 (90分)
第12回	障害別レクリエーション ① 知的障害を持つ人へのレクリエーションの企画	【知的障害】 【レクリエーション】	復習: レクリエーションの企画を立てる(90分)
第13回	4. 障害に応じた生活支援技術 ① 知的障害に応じたレクリエーション	【知的障害】	予習: レクリエーションの企画を立てる(90分)
第14回	障害に応じた生活支援技術 ② レクリエーションの企画	【コミュニケーション】	予習: レクリエーションの企画を立て、練習(90分)
第15回	障害に応じた生活支援技術 ③ レクリエーションの発表	【知的障害】 【レクリエーション】	予習: レクリエーションの発表(90分)

第16回	5. 障害に応じた生活支援技術 ① 精神障害	【精神障害】	予習：テキストp161～172を読み理解する (90分)
第17回	障害に応じた生活支援技術 ② 生活の理解	【統合失調症】	予習：疾患の内容を調べる (90分)
第18回	障害に応じた生活支援技術 ③ 生活支援と環境整備	【特性】 【社会参加】	予習：演習3-3・3-4 (90分) 復習： (90分)
第19回	6. 障害に応じた生活支援技術 ① 高次脳機能障害	【高次脳機能障害】 【失語】	予習：テキストp176～190読み理解する (90分)
第20回	障害に応じた生活支援技術 ② 生活の理解	【失語】 【失認】 【失行】	予習：p182の事例を読む (90分)
第21回	障害に応じた生活支援技術 ③ 生活支援と環境整備	【生活環境】 【生活リズム】	予習：演習3-5・3-6 (90分)
第22回	7. 障害に応じた生活支援技術 ① 発達障害	【アスペルガー症候群】 【ADHD】 【LD】	予習：テキストp194～208読み理解する (90分)
第23回	障害に応じた生活支援技術 ② 生活の理解	【発達障害の特性】	予習：広汎性発達障害について調べる (90分)
第24回	障害に応じた生活支援技術 ③ 生活支援と環境整備	【生活支援】 【自閉症スペクトラム】	予習：演習3-7・3-8(90分)
第25回	8. 障害に応じた生活支援技術 ① 重症心身障害	【重症心身障害】	予習：重症心身障害について調べる (90分)
第26回	障害に応じた生活支援技術 ② 生活の理解	【強度行動障害】 【自閉症】	予習：重症心身障害について調べる (90分)
第27回	障害に応じた生活支援技術 ③ 生活支援技術と環境整備	【生活環境】	予習：演習3-9・3-10 (90分) 復習： (90分)
第28回	9. 障害に応じた生活支援技術 ① 認知症	【認知症】	予習：認知症について調べる (90分)
第29回	障害に応じた生活支援技術 ② 生活の理解	【特別養護老人ホーム】 【老人保健施設】 【グループホーム】	予習：生活の場について調べる (90分)
第30回	障害に応じた生活支援技術 ③ 生活支援技術と環境整備	【小規模多機能型】 【訪問介護】 【在宅・施設】	予習：演習4-1・4-2 (90分)

テキスト	【書名】 『生活支援技術Ⅲ』 【出版】 中央法規出版 【ISBN】 978-8058-3942-3 【価格】 2,200円+税
参考書・参考資料等	必要に応じ、参考書籍・文献・資料等を紹介、配布する。
上記到達目標の評価の方法	試験…(50%) レポート…(30%) 平常点…(20%)
履修しておくべきことが望まれる科目	「認知症の理解Ⅰ」 「障害の理解Ⅰ」
教材費用・実習費用等の負担費用	特になし
その他特記事項	特になし

UP↑

⊗ ウィンドウを閉じる

講義名	生活支援技術演習D
講義区分	演習
基準単位数	2
必選区分	必修(介護)
配当年次	3年生(2年次春学期)
受講者制限	介護福祉コースのみ

担当教員

職種	氏名	所属
教授	◎ 丸山 俊明	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科
非常勤講師	赤田 みゆき	びわこ学院大学 教育福祉学部 子ども学科
非常勤講師	内丸 もと子	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科

本科目の到達目標	<p>【衣】 家事支援の個性・多様性を理解し、高齢者・障害者の衣生活についての知識・技術が現場で応用実践できる。</p> <p>【食】 栄養の基礎知識を理解し高齢者、障害者に適した食事管理が実践できる。</p> <p>【住】 高齢者や障がいのある人にとって、より好ましい住まいのあり方について総合的に判断できる。</p>
授業概要	<p>【衣】 高齢者や障害者の家庭生活と課題を考える。健康・安全・快適性の観点から衣生活に必要な知識・技術を実習をとおして学ぶ。</p> <p>【食】 「食べること」の意義を十分理解し、高齢者や障害者の身体機能の変化に即した栄養・食生活のあり方や衛生管理等について講義・実習・演習を行う。</p> <p>【住】 住まいに求められるさまざまな要件を整理し、高齢者や障害のある人の特性を踏まえた住まいとは何かについて学ぶ。</p>

授業計画表

回	学習内容	【キーワード】	学習課題(予習・復習)
第1回	(家) 家庭生活の経営 高齢者のくらしを家族・経済などの観点から考える。	【高齢社会と経済】	復習: レポート作成(60分)
第2回	(衣) 手縫いの基礎	【手縫いの基礎】	復習: 花ふきんの刺し子の図案を完成する。(60分) 持参: 筆記用具、定規
第3回	(衣) 衣服の役割を理解する。また、バリアフリーの衣生活を考察する。	【バリアフリーの衣生活】	復習: レポート作成(60分)
第4回	(衣) 手縫いの基礎: 近江麻を使った花ふきんの製作	【近江麻】 【手縫いの基礎】	復習: 花ふきんの製作。(120分) 持参: 裁縫用具(はさみ、糸、まち針、縫い針、縫い糸、刺繍糸)、¥300位(花布巾用麻布代)
第5回	(衣) 被服の管理: 洗濯・保管	【被服の洗濯】 【被服の保管】	復習: レポート作成(60分)
第6回	(衣) 手縫いの基礎: 花ふきんの製作及び製作した花ふきんのパッケージング。	【手縫いの基礎】 【パッケージング】	復習: パッケージングを完成させる。(60分)
第7回	(衣) 小物の製作: リハビリに役立つ物作り: 手織	【手織】	予習: 必要なものの準備 復習: 作品を完成させる。(60分) 持参: ダンボール(A5サイズくらい)、極太毛糸、毛糸、ファンシーヤーン、筆記用具、はさみ、定規等
第8回	(衣) 小物の製作: リハビリに役立つ物作り ゆび編み	【ゆび編み】	復習: 作品を完成させる。(60分) 持参: 極太毛糸(またはロープ)やファンシーヤーン、はさみ等
第9回	(衣) 小物の製作とパッケージング&ディスプレイ 物作りを通して、高齢者・障害者の生きがいのある暮らし方について、また、グループ(施設等)でのもの作りについて考察する。	【生きがいのある暮らし】	持参: 製作した小物等



第10回	(衣) プレゼンテーション グループ毎にプレゼン発表を行う。	【社会との繋がり】	持参：製作した小物等
第11回	(食) 栄養の基礎知識とバランス食とは何かを認識し、 高齢者・障害者の食生活の現状と問題点を知り、正しい栄養・ 食事の在り方、留意点について考察する。	【栄養の基礎知識】	復習：レポート作成(60分)
第12回	(食) 「日本人の食事摂取基準」・ 「メタボリックシンドローム」に ついて理解し、食生活の評価法を習得 する。「BMI指数」の算定と その判定区分法を行い、自らの食生活 を課題に評価する。	【栄養状態の評価法】	復習：レポート作成(60分)
第13回	(食) 「食事バランスガイド」に基づ くバランス食の実際 (高齢者のための日常食について)	【食事バランスガイドの概要】	復習：レポート作成(60分)
第14回	(食) 高齢者・障害者の低栄養予防対 策について一低栄養予防、 改善のための栄養・食事ケアと栄養確 保のための具体策を考察する。一	【低栄養の意味と改善策】	復習：レポート作成(60分)
第15回	(食) 生活習慣病予防・改善のための 食事の実際 (食塩制限のための調理上の工夫につ いて)	【生活習慣病予防の食事】	復習：レポート作成(60分)
第16回	(食) 衛生管理(施設・食品等)につ いて・・・ 食器類の汚染度測定の実際を通し て、食中毒予防等衛生 管理の重要性を認識する。	【食に関する衛生管理の実 際】	復習：レポート作成(60分)
第17回	(食) 嚥下・そしゃく等口腔障害のある 場合の調理形態に ついての実際(調理上の工夫やその種 類について)	【口腔障害に対応する調理 形態】	復習：レポート作成(60分)
第18回	(食) 糖尿病食事療法のための「食品 交換表」の正しい見方、 使い方を習得する。食品交換表を用 い、実際の献立について 食品分類・単位計算等を行い、食内容 の問題点を検索する。	【食品交換表の概要】	復習：レポート作成(60分)
第19回	(食) 食事体験を通して食べ方、食べ させ方、調理上の工夫、 食器類の選び方など検索する。(糖 尿病予防・治療のためのバランス食に ついて)	【糖尿病に対応する食事】	復習：レポート作成(60分)
第20回	(食) 給食と食事援助、栄養食事指導 等について各分野での 役割について学習する。	【栄養に関連する仕事と役 割】	復習：レポート作成(60分)
第21回	(住) 住まいを規定する寸法や空間を まなぶ。	【ヒューマンスケール】 【寸法基準】	復習：配布資料とともに授業内容の振り返り(45分)
第22回	(住) 快適な住環境のための、温度・ 湿度をまなぶ。	【有効温度】 【冷房・暖房】 【通風】	復習：配布資料とともに授業内容の振り返り(45分)
第23回	(住) 断熱と結露の関係をまなぶ。	【断熱】 【結露】	復習：配布資料とともに授業内容の振り返り(45分)
第24回	(住) 住環境に必要な光の内容をまな ぶ。	【明るさ】 【照明】 【照 度】	復習：配布資料とともに授業内容の振り返り(45分)
第25回	(住) 車椅子での移動と建物の関係を まなぶ。	【車椅子】 【移動方法】	復習：配布資料とともに授業内容の振り返り(45分)
第26回	(住) バリアフリー・ユニバーサルデ ザインをまなぶ	【バリアフリー】 【ユニバーサル デザイン】	復習：配布資料とともに授業内容の振り返り(45分)
第27回	(住) 住宅建築材料にふくまれる化学 物質の影響をまなぶ	【住宅建材】 【化学物質】	復習：配布資料とともに授業内容の振り返り(45分)
第28回	(住) ハウスダスト、ダニ、カビをま なぶ	【ハウスダスト】 【ダニ】 【カビ】	課題：授業時間中に提示する内容で ミニレポート作成(180分)
第29回	(住) 高齢者のための住まいについ て、条件にあったプランを作成する①	【生活様式①】 【ライフスタイル ①】 【条件の整理①】	予習：エスキースの手法を整理しておく(105分)
第30回	(住) 高齢者のための住まいについ て、条件にあったプランを作成する②	【生活様式②】 【ライフスタイル ②】 【条件の整理②】	予習：エスキースのブラッシュアップ(105分)



	[ISBN] 978-4-8058-5437-2 [価格] 2,200円+税
参考書・参考資料等	必要に応じ、参考書籍・文献・資料等を紹介、配布する。
上記到達目標の評価の方法	<衣> プレゼンテーション…(10%) 課題…(13%) 平常点…(10%)  <食> レポート…(17%) 平常点…(17%)  <住> 各講義のミニッツ・ペーパー…(25%) 平常点…(8%)
履修しておくべきことが望まれる科目	特になし
教材費用・実習費用等の負担費用	【衣】 裁縫道具を各自で準備すること。 材料代500円程度  【食】 実習費用（食材費）（約2,000円）
その他特記事項	三分野の総合評価…【衣】【食】【住】各分野合計で60%以上の特典が単位修得条件 ※分野により授業日程が異なることに注意（各10回、授業日程は別途案内）
備考	座席指定、受講条件がある学生は申し出ること

UP↑

✕ ウィンドウを閉じる

講義名	介護過程 I
講義区分	演習
基準単位数	1
必選区分	必修(介護)
配当年次	1セメスター(1年次春学期)
受講者制限	介護福祉コースのみ

## 担当教員

職種	氏名	所属
准教授	◎ 山 和美	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科

本科目の到達目標	① 介護過程の意義と目的が理解できる ② ICFの基本理念が理解できる ③ ニーズの把握と情報収集・アセスメントが理解できる
授業概要	他の科目で学習した知識や技術を統合し、介護過程を展開できる能力を養う 介護過程 I では、「介護過程の意義と目的」「介護における目標・ICFの基本理念」「ニーズの把握と上表収集・アセスメント」等を学習し、介護者としての判断力を養い、自立に向けた介護過程の展開を学習する また、課題解決に向けてアクティブラーニングを取り入れた授業を行う

## 授業計画表

回	学習内容	【キーワード】	学習課題(予習・復習)
第1回	オリエンテーション・介護過程とは	【介護過程】	予習：自分の生活を考え、p5のワークシートに記入する。(90分)
第2回	生活支援の考え方と介護過程の必要性 ① お互いの生活について話し合い、発表する	【個別ケア】【生活支援】	予習：個々の暮らしについて考える(90分)
第3回	生活支援の考え方と介護過程の必要性 ②	【個別ケア】【生活支援】【介護過程での気づき】	予習：テキストp5から7を読んでくる(90分)
第4回	介護過程の意義と目的	【利用者の実像に近づく】	予習：P8~9ワークシート記入(90分)
第5回	対象者の理解 ① 認知症	【認知症】	復習：認知症の理解のテキストを読んでくる(90分)
第6回	対象者の理解 ② 障害者	【障害の理解】	予習：障害の理解のテキストを読む(90分)
第7回	対象者の理解 ③ 高齢者	【高齢者】	予習：高齢者の生活を調べる(90分)
第8回	中間まとめ	【まとめ】	復習：テキストP20を読みp23を記入(90分)
第9回	介護過程の理解・全体像	【ICF】【介護過程の展開方法】	予習：p36のシートを記入し、p39を読む(90分)
第10回	アセスメントについて	【アセスメント】	予習：テキストP40~51を読む(90分)
第11回	情報の収集	【何を情報収集するのか】	予習：課題レポートの作成(90分)
第12回	情報の解釈・関連付け・統合	【情報の分析】【情報の解釈】【情報の統合】	予習：課題レポートの作成(90分) 復習：事例を使ったレポート作成
第13回	課題の明確化	【課題の抽出】	復習：事例を使いレポート作成(90分)
第14回	春学期のまとめ	【アセスメント】【事例の展開】	復習：事例を使いレポート作成(90分)
第15回	春学期のまとめ	【振り返り】	復習：アセスメントについてのレポート作成(90分)

## テキスト

[書名] 『介護福祉教育研究会「楽しく学ぶ介護過程」改訂第3版』  
 [出版] 久美出版  
 [ISBN] 978-4-86189-262-2  
 [価格] 1,800円+税

	[書名] 『介護過程』 [出版] 中央法規出版
参考書・参考資料等	必要に応じ、参考書籍・文献・資料等を紹介、配布する。
上記到達目標の評価の方法	試験…(50%) レポート…(30%) 平常点…(20%)
履修しておくべきことが望まれる科目	特になし
教材費用・実習費用等の負担費用	特になし
その他特記事項	特になし

UP

✕ ウィンドウを閉じる

講義名	介護過程Ⅱ
講義区分	演習
基準単位数	2
必選区分	必修(介護)
配当年次	2年生(1年次秋学期)
受講者制限	介護福祉コースのみ

**担当教員**

職種	氏名	所属
准教授	◎ 山 和美	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科

本科目の到達目標	① 介護過程の意義と目的が理解できる ② ICFの基本概念が理解できる ③ 利用者のニーズの把握と情報収集・アセスメントが理解できる ④ 利用者のニーズに合った個別介護計画の立案・実施・修正・評価ができる
授業概要	他の科目で学習した知識や技術を統合し、介護過程を展開し、適切なサービスの提供が出来る能力を養う。 介護の基本的知識の理解と基本低技術の習得に努め利用者の立場、自己支援の視点に立って介護過程の展開を学ぶ。 介護過程Ⅱでは、介護過程の実践的展開を学び、「生活支援の課題・目標の捉え方」「自立に向けた介護過程の展開の実際」「利用者の状況・状態に応じた介護過程の展開の実際」を学び、個別介護計画の立案・介護サービスの実施・個別介護計画の修正・評価を、事例を交え学習する。 また、利用者の課題解決の為にアクティブラーニングを取り入れた授業を行う

**授業計画表**

回	学習内容	【キーワード】	学習課題(予習・復習)
第1回	情報収集の意義と方法	【情報収集の方法】	復習: アセスメント方法について振り返る(90分)
第2回	情報の分析・課題の明確化	【情報分析の方法】	予習: テキストP2~9読んでくる(90分)
第3回	介護計画の立案 介護計画とは	【介護計画の立案方法】	予習: テキストp13の演習課題の記入(90分)
第4回	目標の設定	【長期目標】 【短期目標】	予習: テキストP48~54を読んでくる(90分)
第5回	支援の内容・支援方法の決定	【具体的な介護内容】	予習: テキストp55表2-11・p56表2-12の理解(90分)
第6回	介護計画実施のための準備	【アセスメント】 【介護内容】	予習: テキストp58~60の個別介護計画書を理解する(90分)
第7回	個別介護計画実施時の留意点	【利用者の望む生活】	予習: テキストp65~66の留意点を理解する(90分)
第8回	個別介護計画実施状況の把握	【介護の方向性】	復習: アセスメントから計画の立案の理解(90分)
第9回	記録の意義	【事実と考察】	復習: 事例からレポート作成(90分)
第10回	記録について	【記録の書き方】	復習: 事例からレポート作成(90分)
第11回	評価の目的	【評価の必要性】	予習: テキスト73~81を読む(90分)
第12回	評価の内容と方法	【評価のポイント】	予習: P82~83の個別介護計画書を評価する(90分)
第13回	個別介護計画の修正	【計画の見直し】	予習: P82~83の個別介護計画を評価する(90分)
第14回	再アセスメントと計画の修正	【目標が達成されなかった原因や理由】	予習: P82~83の個別介護計画を評価する(90分)
第15回	カンファレンスの意義と目的	【カンファレンス】	
第16回	中間まとめ	【中間まとめ】	
第17回		【事例の展開】	

	事例の展開とケアカンファレンス		予習：介護過程をどう理解したか、事例の展開とレポート作成(90分)
第18回	利用者の特性に応じた介護過程の実践的展開	【利用者の特性】	予習：介護過程をどう理解したか、事例の展開とレポート作成
第19回	アセスメントの実際【事例1】	【在宅生活を望むTさんの事例】	NO19～28まで(事例1～10まで) 予習：事例を読みレポート作成
第20回	アセスメントの実際【事例2】	【Yさんの事例】	
第21回	アセスメントの実際【事例3】	【Eさんの事例】	
第22回	アセスメントの実際【事例4】	【Hさんの事例】	
第23回	アセスメントの実際【事例5】	【Mさんの事例】	
第24回	アセスメントの実際【事例6】	【Oさんの事例】	
第25回	アセスメントの実際【事例7】	【Sさんの事例】	
第26回	アセスメントの実際【事例8】	【Fさんの事例】	
第27回	アセスメントの実際【事例9】	【Kさんの事例】	
第28回	アセスメントの実際【事例10】	【精神障害のある人の在宅生活を支える支援】	
第29回	まとめ	【事例展開】	復習：「事例を展開してみよう」のレポート課題(90分)
第30回	小テスト 振り返り・Ⅱ期実習に向けての留意点	【Ⅱ期実習】 【小テスト】	復習：Ⅱ期実習に向けての振り返り(90分)

テキスト	<p>【書名】最新介護福祉士養成講座『介護過程』  【出版】中央法規出版  【ISBN】978-4-8058-5769-4  【価格】2,200円+税</p> <p>適宜、プリント、資料を配布</p>
参考書・参考資料等	必要に応じ、参考書籍・文献・資料等を紹介、配布する。
上記到達目標の評価の方法	試験…50%) レポート…30%) 平常点…20%)
履修しておくべきことが望まれる科目	特になし
教材費用・実習費用等の負担費用	特になし
その他特記事項	特になし

講義名	介護過程Ⅲ
講義区分	演習
基準単位数	1
必選区分	必修(介護)
配当年次	3セメスター(2年次春学期)
受講者制限	介護福祉コースのみ

## 担当教員

職種	氏名	所属
講師	◎ 山ノ井 勉	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科

## 本科目の到達目標

①介護実習Ⅱの体験を踏まえ、介護福祉士として利用者の特性に応じた介護過程の実践的展開ができる。  
②介護実習Ⅳのために、チームアプローチにおける介護福祉士の役割が理解できる。

## 授業概要

介護実習Ⅱを振り返り、自分自身の課題を明確化する。授業内で振り返りシート等の作成を行い、話し合いなどから多様な思考過程について学び、また、課題に取り組みながら、介護実習Ⅳにおける介護過程の展開に向けて、介護過程の実践的展開について学修する。

## 授業計画表

回	学習内容	【キーワード】	学習課題(予習・復習)
第1回	オリエンテーション	【介護実習Ⅱの振り返り】 【ストーリーを描く】	
第2回	アセスメントとケアプラン	【介護過程の全体像】 【情報の収集・分析・統合】	予習：前回授業のまとめ(30分) 復習：実際に展開したアセスメントと授業内容を振り返り、まとめる(60分)
第3回	ICFを基盤にした高齢者ケア	【ICF】 【アセスメントの理解】	予習：ICFの復習をし、理解を深める(60分)
第4回	高齢者の特性に応じたアセスメント	【高齢者と障害】 【障害受容】	予習：受容・共感について復習し、理解を深める(60分)
第5回	認知症ケアと介護過程	【中核症状】 【BPSD】	予習：認知症の症状など復習し、理解を深める(60分) 復習：コミュニケーション技術について復習する(60分)
第6回	介護過程の実践的展開 事例検討①	【アセスメント：情報の分析・統合】 【グループワーク】	予習：情報の収集・分析・統合について復習し、理解を深める(30分)
第7回	介護過程の実践的展開 事例検討②	【アセスメント：情報の分析・統合】 【グループワーク】	予習：情報の収集・分析・統合について復習し、理解を深める(30分)
第8回	介護過程の実践的展開 事例検討③	【情報の分析と計画の立案】 【グループワーク】	予習：目標の設定、計画の立案について復習し、理解を深める(30分)
第9回	介護過程の実践的展開 事例検討④	【情報の分析と計画の立案】 【グループワーク】	予習：目標の設定、計画の立案について復習し、理解を深める(30分)
第10回	中間まとめ	【中間まとめ】	予習：これまでの学習内容を復習し、まとめる(60分)
第11回	ICFに基づく具体的な認知症ケア	【認知症高齢者の生活支援】	復習：授業内容を振り返り、課題をまとめる(30分)
第12回	自立支援のケアマネジメント①	【介護過程とケアマネジメント】	予習：ケアマネジメントについて教科書を読み、まとめる(30分)
第13回	自立支援のケアマネジメント②	【個別介護計画とケアプラン】 【グループワーク】	復習：授業内容を振り返り、課題をまとめる(30分)
第14回	自立支援のケアマネジメント③	【専門職としての視点】	復習：授業内容を振り返り、課題をまとめる(30分)
第15回	振り返り	【振り返り・まとめ】	予習：これまでの学習内容を振り返り、まとめる(90分)

テキスト	<p>【書名】『介護過程』  【著者】介護福祉士養成講座編集委員会  【出版】中央法規出版  【ISBN】978-4-8058-5769-4  【価格】2,200円+税</p>
参考書・参考資料等	必要に応じ、参考書籍・文献・資料等を紹介、配布する。
上記到達目標の評価の方法	<p>最終まとめ…(40%)  中間まとめ…(40%)  平常点…(20%)</p>
履修しておくべきことが望まれる科目	特になし
教材費用・実習費用等の負担費用	特になし
その他特記事項	<p>事例検討等グループワークをします  授業終了15分前にミニツペーパーを実施します</p>
備考	<p>レポート課題等は適宜連絡する。  授業は知識の定着と理解の深まりを期待することから、進度や内容を変更することもある。また、国家試験の模擬試験を実施する場合があります。（講義内にて連絡します）</p>

UP

✕ ウィンドウを閉じる



講義名	介護過程Ⅳ
講義区分	演習
基準単位数	1
必選区分	必修(介護)
配当年次	4年生(2年次秋学期)
受講者制限	介護福祉コースのみ

**担当教員**

職種	氏名	所属
講師	◎ 山ノ井 勉	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科

本科目の到達目標	①介護福祉士として利用者が望む「よりよい生活」、「よりよい人生」を実現するために専門的知識を活用できるよう、介護過程の展開の基本的視点が理解できる。 ②介護福祉士として介護過程の展開に必要な知識・技術・倫理について理解できる。
授業概要	利用者の生活課題の解決と自己実現を目指し、介護過程の知識・技術を小テストなどを通して振り返る。自分自身の課題に取り組みながら、専門職として利用者にかかわる関係職種との連携や協働などのチームアプローチを学ぶ。 また、本科目と関連する介護福祉士国家試験の対策を実施する。

**授業計画表**

回	学習内容	【キーワード】	学習課題(予習・復習)
第1回	介護実習の振り返り	【ケアプラン】【ICF】 【コミュニケーション技術】	予習：介護実習Ⅳの介護過程の展開における課題の整理(90分)
第2回	利用者の立場に立つために	【利用者との関わり】 【自己覚知】	復習：自分の人間観・人生観について整理する(90分)
第3回	医学モデルと社会モデル	【医学モデルと社会モデルの検討】	予習：医学モデルおよび社会モデルについて調べる(60分)
第4回	介護過程とケアマネジメント①	【介護保険】【ストレングス視点】	復習：授業内容のまとめ・課題の整理(60分)
第5回	介護過程とケアマネジメント②	【エコロジカル視点】	復習：授業内容のまとめ・課題の整理(60分)
第6回	介護過程とチームアプローチ①	【多職種連携】	予習：教科書を読み、理解する(30分) 復習：授業内容のまとめ・課題の整理(30分)
第7回	介護過程とチームアプローチ②	【グループワーク】 【支援者としての枠組】	復習：授業内容のまとめ・課題の整理(30分)
第8回	中間まとめ	【レポートまたは筆記】	予習：これまでの授業内容をまとめる(90分) 復習：課題の整理・まとめ(30分)
第9回	事例検討①	【グループワーク】	復習：授業内容の整理・まとめ(30分)
第10回	事例検討②	【グループワーク】	復習：授業内容の整理・まとめ(30分)
第11回	事例検討③	【グループワーク】	復習：授業内容の整理・まとめ(30分)
第12回	介護福祉士とは	【介護福祉士の仕事】 【介護福祉士の専門性】	
第13回	職業倫理	【介護福祉士の現在と未来】	
第14回	介護福祉士としての第一歩	【介護福祉士としての私の課題】	
第15回	振り返りとまとめ	【介護過程の展開】 【専門知識・技術】	予習：これまでの授業の振り返り・まとめ(60分)

**テキスト**

[書名] 『介護過程』  
 [著者] 介護福祉士養成講座編集委員会  
 [出版] 中央法規出版  
 [ISBN] 978-4-8058-5769-4  
 [価格] 2,200円+税

参考書・参考資料等	必要に応じ、参考書籍・文献・資料等を紹介、配布する。
上記到達目標の評価の方法	最終まとめ…(50%) 中間まとめ…(レポートまたは筆記)…(30%) 平常点(ミニツレポート、提出物など)…(20%)
履修しておくべきことが望まれる科目	特になし
教材費用・実習費用等の負担費用	特になし
その他特記事項	ミニツレポート、グループワーク
備考	レポート課題等は適宜連絡します。 授業は知識の定着と理解の深まりを期待することから、進度や内容を変更することがあります。また、国家試験対策として模擬試験等を実施する場合があります。(講義内にて連絡します)。

UP

✕ ウィンドウを閉じる

講義名	介護総合演習 I
講義区分	演習
基準単位数	1
必選区分	必修(介護)
配当年次	1セメスター (1年次春学期)
受講者制限	介護福祉コースのみ

## 担当教員

職種	氏名	所属
講師	◎ 吉原 真紀	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科
准教授	山 和美	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科
講師	山ノ井 勉	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科

## 本科目の到達目標

介護実習Ⅲに必要とされる理論・知識・技術等を身につけることができる。

## 授業概要

この介護総合演習 I は介護福祉士として必要な専門知識と技術を実習によって習得できるように学習する。グループワークを取り入れ、学生が主体的に社会福祉協議会の職員に実習の注意事項や内容を聞き取り、実習Ⅲの準備をする。アクティブラーニングを用いた授業とする。

## 授業計画表

回	学習内容	【キーワード】	学習課題 (予習・復習)
第1回	オリエンテーション	介護実習	テキストを読み、これから実習にどのように取り組む必要があるのかを考えてくる。 復習60分
第2回	介護福祉士の仕事 Ⅱ期実習報告会の説明	介護福祉士倫理綱領	予習: 60分 復習60分 テキスト読み、介護福祉士の仕事について調べる。授業終了後、自分の考える介護福祉像についてレポートする。
第3回	Ⅱ期実習報告会参加	実習	復習: 報告会を聞き、 ①全体的な感想 ②介護とはどのようなものと認識したか ③特に興味をもった報告と発表者 ④疑問に思ったこと ⑤今後の介護実習の授業に対する自らの取り組みについての決意をA41枚以上レポートを作成し、報告会担当教員に提出する。(120分)
第4回	Ⅱ期実習報告会参加	実習	復習: 報告会を聞き、 ①全体的な感想 ②介護とはどのようなものと認識したか ③特に興味をもった報告と発表者 ④疑問に思ったこと ⑤今後の介護実習の授業に対する自らの取り組みについての決意をA41枚以上レポートを作成し、報告会担当教員に提出する。(120分)
第5回	社会保障制度 生活保護法 障害者総合支援法	生活保護法・障害者総合支援法	予習: 生活保護法や障害者総合支援法について調べ、レポート作成する。(90分)
第6回	社会保障 介護保険	介護保険・施設サービス・ 居宅サービス	予習: 介護保険制度、居宅サービスや施設サービスなどについて調べて、レポート作成する。(90分) 復習: 自分の市町村における介護サービスについて調べレポート提出。(90分)
第7回	訪問介護とは	学生によるグループ活動	予習: 訪問介護について調べ、レポートしてくる(90分) 復習: 講義やDVD、訪問介護に対してレポート作成(90分)
第8回	訪問介護とは	学生によるグループ活動	予習: 訪問介護について調べ、レポートしてくる(90分) 復習: 講義やDVD、訪問介護に対してレポート作成(90分)
第9回	調理実習	調理	予習: 献立作成し、予算内で買物する(90分)
第10回	家事援助とは	掃除・洗濯	

			予習：各自で自分の家の掃除方法や洗濯方法を調べてレポート作成する。(90分)
第11回	社会福祉協議会とは	社会福祉協議会	予習：社会福祉協議会の目的・理念などを調べてレポート作成する。(60分)
第12回	社会福祉協議会の職員によるオリエンテーション	訪問介護	予習：訪問介護について学んだことから、疑問点や分からないことをレポートにまとめてくる。(90分) 復習：学んだことや疑問点、自分の感想をレポートする。(90分)
第13回	介護記録とは	記録	予習：介護記録の必要性や注意点について考えてくる(60分)
第14回	実習前オリエンテーション	実習施設の発表 個人票作成 目標の作成	復習：実習10日分の目標を考える。個人票を完成させる。実習施設について調べる。(90分)
第15回	まとめ		Ⅲ期実習に向けての準備や決意や目標を考えレポートを作成する。(60分)

テキスト	<p>[書名] 『ワークで学ぶ 介護実習・介護総合演習』 [著者] 吉田節子 川嶋玲子 後藤真澄 [出版] みらい出版 [ISBN] 978-4-86015-207-9 [価格] 2100円+税</p> <p>[書名] 『介護実習で困らないために』 [著者] 青木宏心 [出版] 中央法規 [ISBN] 978-4-8058-5093-0 [価格] 1,800円+税</p> <p>[書名] 『福祉小六法』 [著者] 福祉小六法編集委員会 [出版] みらい出版 [ISBN] 978-4-86015-440-0 [価格] 1,700円+税</p>
参考書・参考資料等	必要に応じ、参考書籍・文献・資料等を紹介、配布する。
上記到達目標の評価の方法	レポート…(50%) 平常点…(50%)
履修しておくべきことが望まれる科目	特になし
その他特記事項	特になし
備考	社会福祉協議会の職員より仕事内容や注意事項などを自主的に聞き取りレポートを作成します。その前後にグループワークがあります。

UP↑

⊗ ウィンドウを閉じる

講義名	介護総合演習Ⅱ
講義区分	演習
基準単位数	1
必選区分	必修(介護)
配当年次	2年生(1年次秋学期)
受講者制限	介護福祉コースのみ

**担当教員**

職種	氏名	所属
准教授	◎ 山 和美	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科
講師	吉原 真紀	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科
講師	山ノ井 勉	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科

本科目の到達目標	①介護現場に必要な知識と技術を習得し、利用者に必要な介護サービスが提供できる ②介護実習で学んだ事を報告会で発表できる
授業概要	介護老人福祉施設で提供されている介護サービス内容を理解し、「自立に向けたサービスの提供」「個人の尊厳を支えるケア」の実践が出来るよう学習する 将来、介護福祉士として必要な専門的知識と技術を実習現場で習得できるよう介護過程の展開を理解し、個別介護計画の立案・実施・評価・修正が出来るよう学習する

**授業計画表**

回	学習内容	【キーワード】	学習課題(予習・復習)
第1回	I期実習の事前授業・実習Iの目的と主な介護内容および実習施設の理解	【I期実習の意義・目的】【実習施設】	予習：テキストp62～65を読んでくる(90分)
第2回	障害者支援施設の理解・障害者支援施設の説明会	【実習施設の概要】	予習：テキストP93～122を読んでくる(90分)
第3回	I期実習の配属先発表・個人票の作成	【目標・個人票】	予習：実習の目標を考える(90分) 復習：個人票の完成(90分)
第4回	I期実習に向けて記録の書き方を学ぶ ①	【記録・事実と考察】	予習：テキストp41～47を読んでくる(90分) 復習：演習課題から記録を作成する(90分)
第5回	I期実習に向けて記録の書き方を学ぶ ②	【記録・事実と考察】	予習：テキストp41～47を読んでくる(90分) 復習：演習課題から記録を作成する(90分)
第6回	2年生実習報告会の実施・参加	【報告会】	
第7回	2年生実習報告会の実施・参加	【報告会】	
第8回	実習帰校日	【カンファレンス資料】	予習：カンファレンス資料の作成(90分)
第9回	I期実習の振り返り・全体の評価・報告書の作成ポイント	【報告会・振り返り】	復習：自分の記録を振り返る(90分)
第10回	I期実習の報告書の作成	【報告会準備】	予習：実習報告書の下書き完成(90分)
第11回	I期実習の報告書の作成	【報告会準備】	予習：実習報告書の下書き完成(90分)
第12回	I期実習報告会	【報告会】	予習：自分の報告原稿を下読みする(90分)
第13回	I期実習報告会	【報告会】	予習：自分の報告会原稿を下読みする(90分)
第14回	II期実習の意義と目的・実習施設の配属発表	【個人票作成】	予習：II期実習の目標を考える(90分) 復習：個人票の作成(90分)

第15回	介護過程の展開方法・Ⅱ期実習オリエンテーション	【事前オリエンテーション】	予習：介護過程の展開方法を理解する (90分)
テキスト	<p>【書名】『七訂 介護福祉用語辞典』  【出版】中央法規出版  【ISBN】978-4-8058-5094-7  【価格】2,800円（税込）</p> <p>【書名】『改訂 介護職・福祉職のための医学用語辞典』  【出版】中央法規出版  【ISBN】978-4-8058-3928-7  【価格】2,808円 税込</p> <p>【書名】『介護実習で困らないためのQ &amp; A』  【出版】中央法規出版  【ISBN】978-4-8058-5093-0  【価格】1,944円 税込</p> <p>【書名】『きちんと感染管理』  【出版】全国社会福祉協議会 出版部  【ISBN】978-4-7935-0816-5  【価格】700円+税</p> <p>【書名】『介護福祉士を目指す方のマナーブック』  【出版】中央法規出版  【ISBN】4-8058-2572-X  【価格】1,400円+税</p> <p>適宜、プリント、資料を配布</p>		
参考書・参考資料等	必要に応じ、参考書籍・文献・資料等を紹介、配布する。		
上記到達目標の評価の方法	受講態度…50% レポート…30% 出席…20%)		
履修しておくべきことが望まれる科目	特になし		
教材費用・実習費用等の負担費用	特になし		

講義名	介護総合演習Ⅲ
講義区分	演習
基準単位数	1
必選区分	必修(介護)
配当年次	3セメスター(2年次春学期)
受講者制限	介護福祉コースのみ

担当教員

職種	氏名	所属
講師	◎ 山ノ井 勉	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科
准教授	山 和美	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科
講師	吉原 真紀	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科

本科目の到達目標	①介護福祉士として、訪問介護における基本的な知識・技術を理解できる。 ②介護実習ⅢおよびⅣにおいて質の高い実習を展開するために、介護実習Ⅱを振り返り、介護実習Ⅳの目標設定と課題に対する取り組みができる。
授業概要	総合演習は、質の高い介護実習を展開するために、学生の主体的参加が求められる授業である。介護実習Ⅱの振り返りと介護実習Ⅳに向けての専門知識・技術・介護倫理の確認を行う。訪問介護の基本的知識を学び、実習体験の共有化を相互に図ることで学びを深める。

授業計画表

回	学習内容	【キーワード】	学習課題(予習・復習)
第1回	オリエンテーション(介護実習Ⅲ)	【在宅福祉サービス】 【訪問介護】 【介護実習Ⅲの意義と目的】	予習: 訪問介護の理解(60分)
第2回	訪問介護実習の内容を理解する	【訪問介護】 【視覚教材による理解】 【個人表】	復習: 訪問介護サービスの理解および介護実習Ⅲの目標設定(90分)
第3回	社会福祉協議会の職員によるオリエンテーション	【社会福祉協議会】 【実習の心得】	復習: 授業内容の振り返りと課題のまとめ(90分)
第4回	実習報告会(介護実習Ⅱ)	【介護実習Ⅱ】 【情報の共有化】	予習: 報告会資料の整理と発表準備(90分) 復習: 報告会の振り返りとまとめ(90分)
第5回	実習報告会(介護実習Ⅱ)	【介護実習Ⅱ】 【情報の共有化】	予習: 報告会資料の整理と発表準備(90分) 復習: 報告会の振り返りとまとめ(90分)
第6回	実習報告会(介護実習Ⅲ)	【介護実習Ⅲの振り返り】 【情報の共有化】 【レポート】	予習: 実習報告書の作成と準備(90分) 復習: 授業内容の振り返りとまとめ(60分)
第7回	オリエンテーション(介護実習Ⅳ)	【介護実習Ⅱの振り返り】 【介護実習Ⅳの意義と目的】	予習: 介護実習Ⅱの記録の整理と介護過程のまとめ(90分) 復習: 授業内容の振り返りと課題の整理(60分)
第8回	介護実習Ⅱの振り返り	【記録と介護過程】 【生活支援技術】 【情報の共有化と実習課題】	予習: 介護実習Ⅱの記録の整理と介護過程のまとめ(90分) 復習: 授業内容の振り返りと課題の整理(60分)
第9回	事例検討	【介護倫理】 【相手の立場に立って考える】	復習: 授業内容の振り返りとまとめ(60分)
第10回	介護実習Ⅳの意義と目的	【個人表】 【介護実習Ⅳの目標】	復習: 実習施設の理解と介護実習Ⅳの目標設定(90分)
第11回	実習個人表の作成	【個人表】 【実習目標】	予習: 個人表の作成と提出準備(90分)
第12回	記録と介護過程	【介護実習Ⅳにおける介護過程の展開】	予習: 介護過程の基本的な理解(90分) 復習: 授業内容の振り返りと課題のまとめ(60分)
第13回	介護実習計画	【介護実習Ⅳの実習計画】 【情報の共有化】	予習: 実習報告書の作成と準備(90分) 復習: 授業内容の振り返りとまとめ(60分)



第14回	介護実習Ⅳのオリエンテーション	【介護実習Ⅳ事前準備】	予習：実習計画の理解(90分) 復習：授業内容の振り返りと課題のまとめ(90分)
第15回	帰校日	【記録】 【介護過程】 【カンファレンス】	予習：介護過程・カンファレンスのまとめ(60分) 復習：介護過程・カンファレンスの資料作成(60分)
テキスト	[書名] 『ワークで学ぶ介護実習・介護総合演習』 [著者] 吉田節子, 川嶋玲子, 後藤真澄 編 [出版] (株)みらい [ISBN] 9784860152079 [価格] 2,100円+税		
参考書・参考資料等	必要に応じ、参考書籍・文献・資料等を紹介、配布する。		
上記到達目標の評価の方法	平常点(報告会・課題などの取り組み、実習の目標設定など)…(100%)		
履修しておくべきことが望まれる科目	「介護総合演習Ⅰ」 「介護総合演習Ⅱ」 「介護実習Ⅰ」 「介護実習Ⅱ」		
教材費用・実習費用等の負担費用	特になし		
その他特記事項	ディベート、グループワーク、プレゼンテーション(報告会)		
備考	授業の進度によっては、国家試験対策として模擬試験等を実施します。(授業内にて連絡します)		

UP

✕ ウィンドウを閉じる

講義名	介護総合演習Ⅳ
講義区分	演習
基準単位数	1
必選区分	必修(介護)
配当年次	4年生(2年次秋学期)
受講者制限	介護福祉コースのみ

**担当教員**

職種	氏名	所属
講師	◎ 山ノ井 勉	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科
准教授	山 和美	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科
講師	吉原 真紀	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科

**本科目の到達目標**

- ①実習報告書の作成、発表ができる。
- ②介護の現場に必要な基本的な知識と技術が理解できる

**授業概要**

介護実習Ⅳの報告会など学生が主体的に学修する授業である。資料の作成や発表の準備、担当教員とのかかわりなどなど積極性が必要となる。Ⅳ期実習の振り返りと共有化を図る。卒業後すぐに実践できるさまざまな視点からの技術や知識を学習する。  
 また、介護福祉士国家試験の対策を実施する。

**授業計画表**

回	学習内容	【キーワード】	学習課題(予習・復習)
第1回	Ⅳ期実習の振り返り	【報告書作成】	予習: 実習の振り返り(90分) 復習: 報告書作成(90分)
第2回	報告会のためのレジュメの作成	【報告書作成】	予習: 報告書作成(90分) 復習: 報告書作成(90分)
第3回	報告会のためのレジュメの作成	【報告書作成】	予習: 報告書作成(90分) 復習: 報告書作成(90分)
第4回	報告会のためのレジュメの作成	【報告書作成】	予習: 報告書作成(90分) 復習: 報告書作成(90分)
第5回	Ⅳ期実習報告会	【報告会、質疑応答】	予習: 発表の準備(90分) 復習: 発表の振り返り(90分)
第6回	Ⅳ期実習報告会	【報告会、質疑応答】	予習: 発表の準備(90分) 復習: 発表の振り返り(90分)
第7回	実習報告集作成	【報告集資料作成】	予習: 資料作成の準備(90分) 復習: 資料作成(90分)
第8回	実践講座①	【面談方法】	復習: 学びの実践(90分)
第9回	実践講座②	【理論編 テスト対策】 【模擬試験】	予習: 事前学習(90分) 復習: 学びの実践(90分)
第10回	実践講座③	【実践編 テスト対策】 【模擬試験】	予習: 企画準備、事前学習(90分) 復習: 振り返り(90分)
第11回	実践講座④	【実践編 テスト対策】	予習: 企画準備、事前学習(90分) 復習: 振り返り(90分)
第12回	実践講座⑤	【実践編 テスト対策】	予習: 企画準備、事前学習(90分) 復習: 振り返り(90分)
第13回	実践講座⑥	【実践編 テスト対策】	予習: 企画準備、事前学習(90分) 復習: 振り返り(90分)
第14回	実践講座⑦	【実践編 テスト対策】	予習: 企画準備、事前学習(90分) 復習: 振り返り(90分)
第15回	実践講座⑧	【まとめ】	復習: 振り返り(90分)

テキスト	適宜、プリント、資料を配布する。
参考書・参考資料等	必要に応じ、参考書籍・文献・資料等を紹介、配布する。
上記到達目標の評価の方法	平常点(実習報告会など)…(50%) その他(課題など)…(50%)
履修しておくべきことが望まれる科目	特になし
教材費用・実習費用等の負担費用	特になし
その他特記事項	グループワーク、プレゼンテーション、ディベート 実習報告会を行います
備考	国家試験対策として模擬試験等を実施します。(授業内で連絡します)

UP

⊗ ウィンドウを閉じる

講義名	介護実習 I
講義区分	実習
基準単位数	2
必選区分	必修(介護)
配当年次	2年生(1年次秋学期)
受講者制限	介護福祉コースのみ

## 担当教員

職種	氏名	所属
講師	◎ 吉原 真紀	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科
准教授	山 和美	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科
講師	山ノ井 勉	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科

本科目の到達目標	①実習施設及び利用者の理解ができる。 ②実習で基本的な介護技術を行うことができる。
授業概要	介護実習は、地域の社会福祉施設において学修内容の統合と課題の発見を学生が主体的に行う授業である。実習では実際の福祉施設に行き、そこで働いている実習指導者や他職種の人達から、多くの介護に関する知識や技術等を指導を受ける。今まで大学で学んだ基礎的な介護知識や技術を実際の現場の中で確認し向上させる。介護現場の中でしか学べない施設内での介護福祉士の在り方や毎日の介護記録の書き方、施設利用者とのコミュニケーション技術を学ぶ。

## 授業計画表

回	学習内容	学習課題(予習・復習)
第1回	実習1の1段階 実習期間は2週間(10日間) 1施設につき1週間(5日間)で2施設において実習する。 実習期間中は現場の実習指導者より指導を受ける。 実習巡回には大学の教員が担当する。	毎日の実習目標  毎日の実習記録 (翌朝、実習指導者に提出)

テキスト	[書名] 『ワークで学ぶ 介護実習・介護総合演習』 [著者] 吉田節子 川嶋玲子 後藤真澄 [出版] (株)みらい [ISBN] 978-4-86015-207-9 [価格] 2,100円+税
参考書・参考資料等	実習ハンドブックを配布 実習記録用紙一式を持参
上記到達目標の評価の方法	平常点…(70%) その他…(30%)
履修しておくべきことが望まれる科目	「介護総合演習Ⅱ」
教材費用・実習費用等の負担費用	実習先までの交通費ならびに宿泊についての食費等は自己負担となります。
その他特記事項	この科目は、介護実習事前指導→実習指導→介護実習事後指導で成り立ちます。
備考	介護実習

講義名	介護実習Ⅱ
講義区分	実習
基準単位数	5
必選区分	必修(介護)
配当年次	2年生(1年次秋学期)
受講者制限	介護福祉コースのみ

担当教員

職種	氏名	所属
准教授	◎ 山 和美	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科
講師	吉原 真紀	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科
講師	山ノ井 勉	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科

本科目の到達目標

①在宅介護の基本知識、技術の理解ができる。

授業概要

介護実習Ⅲでは、介護実習Ⅰの内容を踏まえて、介護現場における専門知識や生活支援技術の更なる向上と修得を目指し、在宅サービスの利用者とのかかわりを通して、地域における多職種連携を学ぶ。また、在宅サービス利用者の暮らしの場の理解や、在宅サービスの種類・利用方法等を学ぶ。

授業計画表

回	学習内容	【キーワード】
第1回	介護実習Ⅲ(訪問介護実習)第3段階 実習期間は5日間	【訪問介護】 【カンファレンス】 【サービス担当者会議】
第2回	実習期間中は、実習施設の実習指導担当職員の指導を受ける 担当教員が実習施設を巡回し、実習指導を行う	
第3回	介護実習Ⅲは介護総合演習Ⅲとリンクする この科目は、介護実習事前指導→介護実習→介護実習事後指導で成り立つ	

テキスト

【書名】『ワークで学ぶ 介護実習・介護総合演習』  
【著者】吉田節子 川嶋玲子 後藤真澄  
【出版】(株)みらい  
【ISBN】978-4-86015-207-9  
【価格】2,100円+税

参考書・参考資料等

必要に応じ、参考書籍・文献・資料等を紹介、配布する。

上記到達目標の評価の方法

平常点(実習状況、記録など)…(100%)

履修しておくべきことが望まれる科目

特になし

教材費用・実習費用等の負担費用

特になし

その他特記事項

特になし

講義名	介護実習Ⅲ
講義区分	実習
基準単位数	1
必選区分	必修(介護)
配当年次	3 semester (2年次春学期)
受講者制限	介護福祉コースのみ

担当教員

職種	氏名	所属
講師	◎ 山ノ井 勉	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科
准教授	山 和美	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科
講師	吉原 真紀	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科

本科目の到達目標	①在宅介護の基本知識、技術の理解ができる。		
授業概要	介護実習は、地域の社会福祉施設において学修内容の統合と課題の発見を学生が主体的に行う授業である。 介護実習Ⅲでは、介護実習Ⅰの内容を踏まえて、介護現場における専門知識や生活支援技術の更なる向上と修得を行う。そして、在宅サービスを利用者とのかわりを通して、暮らしの場の理解や介護サービスの種類・利用方法等を学ぶ。また、在宅サービスにおける多職種連携について学ぶ。		
授業計画表			
	回	学習内容	【キーワード】
	第1回	介護実習Ⅲ(訪問介護実習) 実習期間は5日間	【訪問介護】 【カンファレンス】
	第2回	実習期間中は、実習施設の実習指導担当教員の指導を受ける 担当教員が実習施設を巡回し、実習指導を行う	
	第3回	介護実習Ⅲは介護総合演習Ⅲとリンクする この科目は、介護実習事前指導→介護実習→介護実習事後指導で成り立つ	
テキスト	[書名] 『ワークで学ぶ 介護実習・介護総合演習』 [著者] 吉田節子 川嶋玲子 後藤真澄 [出版] (株)みらい [ISBN] 978-4-86015-207-9 [価格] 2,100円+税		
参考書・参考資料等	必要に応じ、参考書籍・文献・資料等を紹介、配布する。		
上記到達目標の評価の方法	平常点(実習状況、記録など)…(100%)		
履修しておくべきことが望まれる科目	「介護総合演習Ⅰ」 「介護総合演習Ⅱ」 「介護実習Ⅰ」 「介護実習Ⅱ」		
教材費用・実習費用等の負担費用	実習施設により交通費等が必要となる		
その他特記事項	介護実習		

講義名	介護実習Ⅳ
講義区分	実習
基準単位数	4
必選区分	必修(介護)
配当年次	3 Semester (2年次春学期)
受講者制限	介護福祉コースのみ

担当教員

職種	氏名	所属
講師	◎ 山ノ井 勉	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科
准教授	山 和美	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科
講師	吉原 真紀	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科

本科目の到達目標	①介護現場において知識や技術が活用できる。 ②ケアプランが適切に作成、実施できる。		
授業概要	介護実習は、地域の社会福祉施設において学修内容の統合と課題の発見を学生が主体的に行う授業である。 介護実習Ⅳでは、介護実習Ⅰ～Ⅲの内容を踏まえて、介護現場における介護知識や介護技術の更なる向上と習得を行いながら、担当した施設利用者にはどのような介護の仕方がいいのかを考えるケアプランの作成と実施に取り組みます。学校ではケアプランの作成のための授業を行っているの で、その成果を活かしつつ、実際の現場におけるケアプラン作成の方法や難しさを経験しながら、 実習指導者や巡回教員の指導のもとにケアプラン実施のため、やり方など学ぶ。		
授業計画表			
	回	学習内容	【キーワード】
	第1回	介護実習Ⅳ・第4段階、実習期間は18日間、実習期間中は、実習施設の実習指導担職員の指導を受ける。担当教員が実習施設を巡回し、実習指導を行う。介護実習は学内の介護実習指導とリンクする。この科目は、介護実習事前指導→介護実習→介護実習事後指導で成り立つ。また、実習期間内に帰校日を設定し、実習指導を実施する。	【施設理解、利用者理解、ケアプラン、介護技術、多職種連携】
テキスト	[書名] 『ワークで学ぶ 介護実習・介護総合演習』 [著者] 吉田節子 川嶋玲子 後藤真澄 [出版] (株)みらい [ISBN] 978-4-86015-207-9 [価格] 2,100円+税		
参考書・参考資料等	必要に応じ、参考書籍・文献・資料等を紹介、配布する。		
上記到達目標の評価の方法	平常点(実習状況、記録)…(70%) その他・課題など…(30%)		
履修しておくべきことが望まれる科目	「介護総合演習Ⅰ」 「介護総合演習Ⅱ」 「介護総合演習Ⅲ」 「介護実習Ⅰ」 「介護実習Ⅱ」 「介護実習Ⅲ」		
教材費用・実習費用等の負担費用	特になし		
その他特記事項	介護実習		



講義名	発達と老化の理解 I
講義区分	講義
基準単位数	2
必選区分	必修(介護)
配当年次	2年生(1年次秋学期)
受講者制限	介護福祉コースのみ

担当教員

職種	氏名	所属
非常勤講師	◎ 溝口 孝子	びわこ学院大学

本科目の到達目標	<p>①人間の成長と発達の過程を学び、満足のいく老化を迎える生き方について述べるができる</p> <p>②生涯発達の各段階の課題について学び、基礎的な理論から老年期の課題について説明できる</p> <p>③老化に伴う心身の変化と日常生活への影響を学び、高齢者の生活の質の多様性について述べるができる</p>
授業概要	<p>①人間が成長・発達する過程、生涯発達の各段階の課題についての基礎知識を習得する</p> <p>②老年期の発達と成熟、老化の概念を習得する</p> <p>③老化に伴う心身の変化、日常生活に及ぼす影響についての基礎知識を習得する</p> <p>④老年期の人間関係、高齢者の支援についての基礎知識を習得する</p>

授業計画表

回	学習内容	【キーワード】	学習課題(予習・復習)
第1回	科目ガイダンス 人間の成長と発達 (1) (成長・発達の考え方、成長・発達の原則)	【到達目標】【学習計画】【成長】【発達】 【成長発達の原則】【スキュモン発育型】 【成長発達への影響因子】【個人差】	予習：テキスト全体に目を通し、教科を概観する。テキストP1-13を読み、気になるところにチェックを入れる。(90分) 復習：配布資料を振り返り、授業内容のポイントをまとめる。(90分)
第2回	人間の成長と発達 (2) (形態的成長、身体・精神機能の発達、心理社会的発達)	【スティグリッツの生体諸機能の変化】【身体バランス】【ホルモン】【免疫】【視覚・聴覚】【言語】【情緒】【社会性】	予習：テキストP13-26を読み、気になるところにチェックを入れる。(90分) 復習：配布資料を振り返り、授業内容のポイントをまとめる。(90分)
第3回	人間の成長と発達 (3) (発達段階別にみた成長と発達、発達の評価)	【乳児・幼児・学童・青年・成人各期のところから】【カウプ指数】【ローレル指数】【BMI】	予習：テキストP27-31を読み、気になるところにチェックを入れる。(90分) 復習：配布資料を振り返り、授業内容のポイントをまとめる。(45分) テキストP32演習課題、P33.章末確認テストを実施する。(45分)
第4回	人間の成長と発達 (4) (生涯発達「ライフサイクル」の各段階の課題、発達理論)	【ライフサイクルステージ】【ライフタスク】【フロイト】【エリクソン】【ピアジェ】【ハヴィガースト】	予習：テキストP62-68を読み、気になるところにチェックを入れる。(90分) 復習：配布資料を振り返り、授業内容のポイントをまとめる。(90分)
第5回	老年期の発達と成熟 (1) (老化の定義、老化の学説)	【老年期】【老化】【加齢】 【加齢性変化】	予習：テキストP34-39を読み、気になるところにチェックを入れる。(90分) 復習：配布資料を振り返り、授業内容のポイントをまとめる。(90分)
第6回	老年期の発達と成熟 (2) (老年期のセクシュアリティ)	【性格】【人格】 【セクシュアリティ】	予習：テキストP68-73を読み、気になるところにチェックを入れる。(90分) 復習：配布資料を振り返り、授業内容のポイントをまとめる。(90分)
第7回	老年期の発達と成熟 (3) (老年期の生活、家族、人間関係)	【生活基盤】【家族形態】 【人間関係】	予習：テキストP73-82を読み、気になるところにチェックを入れる。(90分) 復習：配布資料を振り返り、授業内容のポイントをまとめる。(90分)
第8回			

	老年期の発達と成熟 (4) (老年期の喪失体験、老年者の死)	【生老病死】【喪失体験】【悲嘆】 【死へのプロセス】【リビングウィル】【尊厳死】	予習：テキストP82-91を読み、気になるところ、理解困難なところにチェックを入れる。(90分) 復習：配布資料を振り返り、授業内容のポイントをまとめる。(45分) テキストP96. 演習課題、P97. 章末確認テストを実施する。(45分)
第9回	老化に伴う心身の変化と日常生活への影響(1) (加齢による生理機能の全体的低下、身体機能の低下)	【身体予備力】【身体防衛機能】【恒常性】 【加齢による生理的变化-循環器系、呼吸器系】	予習：テキストP98-101、P105-110を読み、気になるところ、理解困難なところにチェックを入れる。(90分) 復習：配布資料を振り返り、授業内容のポイントをまとめる。(90分)
第10回	老化に伴う心身の変化と日常生活への影響(2) (身体機能の変化)	【加齢による生理的变化-脳神経系、骨・関節(運動器)系、造血器系】	予習：テキストP101-105、P115-116を読み、気になるところ、理解困難なところにチェックを入れる。(90分) 復習：配布資料を振り返り、授業内容のポイントをまとめる。(90分)
第11回	老化に伴う心身の変化と日常生活への影響(3) (身体的機能の変化)	【加齢による生理的变化-消化器系、泌尿器系、生殖器系、感覚器系】	予習：テキストP110-121を読み、気になるところ、理解困難なところにチェックを入れる。(90分) 復習：配布資料を振り返り、授業内容のポイントをまとめる。(90分)
第12回	老化に伴う心身の変化と日常生活への影響(4) ①知的・認知機能、精神的機能の変化 ②高齢者の心理	【知的・言語・認知機能】【記憶】【ジェネレーションギャップ】【老性自覚】【心身機能の個人差】【高齢者のさまざまな気持ち】	予習：テキストP121-126を読み、気になるところ、理解困難なところにチェックを入れる。(90分) 復習：配布資料を振り返り、授業内容のポイントをまとめる。(45分) テキストP173. 章末確認テストを実施する。(45分)
第13回	高齢者を取り巻く社会の動向(1)	【老年観】【サクセスフルエイジング】【アクティブエイジング】	予習：テキストP51-60を読み、気になるところ、理解困難なところにチェックを入れる。(90分) 復習：配布資料を振り返り、授業内容のポイントをまとめる。(45分) テキストP137. 演習課題、P138. 章末確認テストを実施する。(45分)
第14回	高齢者を取り巻く社会の動向(2)	【高齢者福祉】【高齢者医療】	予習：テキストP40-50を読み、気になるところ、理解困難なところにチェックを入れる。(90分) 復習：配布資料を振り返り、授業内容のポイントをまとめる。(45分) テキストP60. 演習課題、P61. 章末確認テストを実施する。(45分)
第15回	全体の振り返りとまとめ、知識の確認・強化	【到達目標の達成度】 【秋学期末試験練習問題解答会】	予習：秋学期末試験練習問題を解く(90分) 復習：秋学期末試験練習問題・解答を振り返り、ポイントをまとめる。(90分)

テキスト	【書名】『発達と老化の理解』 【著者】林 泰史 他 編著 【出版】メヂカルフレンド社 【ISBN】978-4-8392-3196-5 【価格】2,400円+税
参考書・参考資料等	必要に応じ、参考書籍・文献・資料等を紹介、配布する。
上記到達目標の評価の方法	・定期(筆記)試験…(50%) ・レスポンス…(20%) ・章末確認テスト…(15%) ・平常点…(15%)
教材費用・実習費用等の負担費用	特になし
その他特記事項	・理解促進テスト法 ・質問法 ・ミニッツペーパー

講義名	発達と老化の理解Ⅱ
講義区分	講義
基準単位数	2
必選区分	必修(介護)
配当年次	3セメスター(2年次春学期)
受講者制限	介護福祉コースのみ

担当教員

職種	氏名	所属
非常勤講師	◎ 溝口 孝子	びわこ学院大学

本科目の到達目標	①高齢者に多い症状と日常生活における留意点を理解し、説明ができる。 ②高齢者に多い病気と日常生活での注意点について理解し、説明ができる。 ③高齢者の検査の意義や薬の管理及び緊急時の対応について理解し、説明ができる。
授業概要	老年期の心身の変化や課題を理解し、高齢者に多い症状や疾病の特徴を心身および社会的側面から捉え、対処するための基本的知識と対応の方法を学ぶ。

授業計画表

回	学習内容	【キーワード】	学習課題(予習・復習)
第1回	科目ガイダンス 高齢者に多い症状・病気の特徴と統計的傾向	【到達目標】【学習計画】【有訴者(率)】 【通院者(率)】【受療状況】【廃用(老年)症候群】	予習:「発達と老化の理解Ⅰ-老化に伴う心身の変化の特徴」(テキスト・資料)を読み、内容を想起しておく。(45分) テキスト全体に目を通し、教科を概観する。P98-101、P174-178を読み、気になるところ、理解困難なところにチェックを入れる。(45分) 復習:配布資料を振り返り、授業内容のポイントをまとめる。(90分)
第2回	高齢者に多い症状と日常生活上の留意点(1) 各症状の定義、原因、対応、介護のポイント	【痛み】【かゆみ】【冷え】【むくみ】【褥瘡】	予習:テキストP178-181を読み、気になるところ、理解困難なところにチェックを入れる。(90分) 復習:配布資料を振り返り、授業内容のポイントをまとめる。(90分)
第3回	高齢者に多い症状と日常生活上の留意点(2) 各症状の定義、原因、対応、介護のポイント	【便秘】【下痢】【嚥下障害】【食欲不振】 【低栄養】【脱水】	予習:テキストP188-191を読み、気になるところ、理解困難なところにチェックを入れる。(90分) 復習:配布資料を振り返り、授業内容のポイントをまとめる。(90分)
第4回	高齢者に多い症状と日常生活上の留意点(3) 各症状の定義、原因、対応、介護のポイント	【視力低下】【難聴】【不眠】【抑うつ状態】 【不安】【せん妄】【めまい】【しびれ】	予習:テキストP181-183を読み、気になるところ、理解困難なところにチェックを入れる。(90分) 復習:配布資料を振り返り、授業内容のポイントをまとめる。(90分)
第5回	高齢者に多い症状と日常生活上の留意点(4) 各症状の定義、原因、対応、介護のポイント	【咳・痰】【息切れ・息苦しさ】【出血】【意識障害】 【発熱】【深部静脈血栓症】【運動器不安定症】	予習:テキストP183-188、P191-196を読み、気になるところ、理解困難なところにチェックを入れる。(90分) 復習:配布資料を振り返り、授業内容のポイントをまとめる。(90分)
第6回	高齢者に多い病気と日常生活上の留意点(1)(循環器系、呼吸器系) 各疾病の定義、病態生理、症状、特徴、日常生活上の留意点	【高血圧】【心不全】【狭心症】【心筋梗塞】 【不整脈】【心臓弁膜症】【起立性低血圧症】 【肺炎】【気管支喘息】【肺結核症】【慢性閉塞性肺疾患】 【呼吸不全】	予習:テキストP206-214、P226-229を読み、気になるところ、理解困難なところにチェックを入れる。(90分) 復習:配布資料を振り返り、授業内容のポイントをまとめる。(90分)
第7回	高齢者に多い病気と日常生活上の留意点(2)(神経系、内分泌・代謝系、消化器系) 各疾病の定義、病態生理、症状、特徴、日常生活上の留意点	【脳梗塞】【パーキンソン病】【認知症】 【甲状腺疾患】【糖尿病】【脂質異常症】 【痛風】【逆流性食道炎】 【胃・十二指腸潰瘍】 【慢性肝疾患】 【大腸炎・大腸ポリープ】	予習:テキストP197-220を読み、気になるところ、理解困難なところにチェックを入れる。(90分) 復習:配布資料を振り返り、授業内容のポイントをまとめる。(90分)

第8回	高齢者に多い病気と日常生活上の留意点(3) (骨・関節系、腎・泌尿器系、生殖器系) 各疾病の定義、病態生理、症状、特徴、日常生活上の留意点	【骨粗鬆症】【関節リウマチ】【変形性脊椎症】【変形性膝関節症】【大腿骨頸部骨折】【尿失禁】【前立腺肥大症】【尿路感染症】【膣炎】【子宮脱】【卵巣嚢腫】	予習：テキストP220-226を読み、気になるところ、理解困難なところにチェックを入れる。(90分) 復習：配布資料を振り返り、授業内容のポイントをまとめる。(90分)
第9回	高齢者に多い病気と日常生活上の留意点(4) (血液の病気、皮膚の病気、感覚器の病気) 各疾病の定義、病態生理、症状、特徴、日常生活上の留意点	【貧血】【老人性皮膚掻痒症】【湿疹】【疥癬】【白癬】【白内障】【緑内障】	予習：テキストP239-241を読み、気になるところ、理解困難なところにチェックを入れる。(90分) 復習：配布資料を振り返り、授業内容のポイントをまとめる。(30分) テキストP243-演習課題、P244章末確認テストを実施する。(60分)
第10回	介護保険の特定疾患 各疾病の定義・原因・病態生理・症状・介護のポイント	【介護保険】【第2号被保険者】【ALS】【パーキンソン病】【脊柱管狭窄症】【閉塞性動脈硬化症】【がん末期】	予習：事前の配布資料を読み、気になるところ、理解困難なところにチェックを入れる。(90分) 復習：配布資料を振り返り、授業内容のポイントをまとめる。(90分)
第11回	高齢者の感染症及び予防(主な感染症の定義・感染経路・症状・介護のポイント、介護者の感染予防対策)	【MRSA (メチシリン耐性黄色ブドウ球菌)】【敗血症】【腸管出血性大腸菌(o-157)感染症】【ノロウイルス感染症】【スタンダードプリコーション】	予習：事前の配布資料を読み、気になるところ、理解困難なところにチェックを入れる。(90分) 復習：配布資料を振り返り、授業内容のポイントをまとめる。(90分)
第12回	高齢者の検査の意義と結果の把握、患者指導(高齢者の検査の特徴、高齢者の検査及び検査値設定の留意点、各検査項目の意義)	【血清総たんぱく】【アルブミン】【血清脂質】【肝機能】【腎機能】【電解質】【赤血球】【白血球】【ヘモグロビン】【ヘマトクリット】【胸部X線検査】【心電図】【肺活量】	予習：事前の配布資料を読み、気になるところ、理解困難なところにチェックを入れる。(90分) 復習：配布資料を振り返り、授業内容のポイントをまとめる。(90分)
第13回	高齢者の薬の管理(薬の種類・形態、薬の作用・副作用、薬の保管、服薬介助)	【薬の吸収と動態】【散剤・顆粒剤・錠剤・カプセル剤・液剤・坐薬・軟膏・貼付剤】【介護福祉士が実践可能な業務】	予習：事前の配布資料を読み、気になるところ、理解困難なところにチェックを入れる。(90分) 復習：配布資料を振り返り、授業内容のポイントをまとめる。(90分)
第14回	緊急時の介護(1) (緊急時に備える、急な体調変化への対応) 緊急時の介護(2) (事故が起こった際の対応)	【身体状態の見分け方】【情報把握】【連絡・支援体制】【救急要請】【意識の異常】【痙攣】【体温上昇】【呼吸異常】【脈の異常】【高血圧・低血圧】【胸痛】【脱水】【嘔吐】【転倒・転落】【誤飲・誤薬】【熱傷】【骨折】	予習：事前の配布資料を読み、気になるところ、理解困難なところにチェックを入れる。(90分) 復習：配布資料を振り返り、授業内容のポイントをまとめる。(90分)
第15回	全体の振り返りとまとめ、知識の確認・強化	【到達目標の達成度】 【春学期末試験練習問題解答会】	予習：春学期末試験練習問題を解く(90分) 復習：春学期末試験練習問題・解答を振り返り、ポイントをまとめる。(90分)

テキスト	【書名】『発達と老化の理解』 【著者】林 泰史 他 【出版】メヂカルフレンド社 【ISBN】978-4-8392-3196-5 【価格】2,400円+税
参考書・参考資料等	必要に応じ、参考書籍・文献・資料等を紹介、配布する。
上記到達目標の評価の方法	定期(筆記)試験…(50%) レスポンス…(20%) 章末確認テスト…(15%) 平常点…(15%)
履修しておくべきことが望まれる科目	「発達と老化の理解Ⅰ」
教材費用・実習費用等の負担費用	特になし
その他特記事項	・理解促進テスト法 ・質問法 ・ミニッツペーパー

講義名	認知症の理解 I
講義区分	講義
基準単位数	2
必選区分	必修(介護)
配当年次	2年生(1年次秋学期)
受講者制限	介護福祉コースのみ

担当教員

職種	氏名	所属
教授	◎ 松本 行弘	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科

本科目の到達目標	<p>①認知症の基礎知識を理解し、ケアの実際に生かすことができる</p> <p>②認知症の人の心理的特徴を理解し、生活の不自由さについて考えることができる</p> <p>③知症の人の生きる思いや悩みについて考えることができる</p> <p>④認知症の人のケアを理解し、ケアの基本について考えることができる</p>
授業概要	<p>①高齢社会における認知症ケアの将来に向けての保健・医療・福祉援助の視点を習得する</p> <p>②認知症の定義、原因となる主な疾患、類似症状等の基礎的知識を習得する</p> <p>③認知症ケアの前提となるアセスメント法や見立てを習得する</p> <p>④認知症ケアの理念・原則、かかわりの基本について習得する</p> <p>⑤認知症者とのコミュニケーションを理解し、その基本を習得する</p> <p>各項目の習得にあたっては、各講義終了前の10分程度でレスポンスペーパーを書き提出する。その結果やコメントはプライバシーに配慮しながら次回講義でフィードバックする。さらに、体験実習や事例紹介から自己を見直し、主体的なかかわりを促す。</p>

授業計画表

回	学習内容	【キーワード】	学習課題(予習・復習)
第1回	はじめに：認知症を取り巻く状況について	【認知症の歴史】【ケアの現状】	予習：テキストの「はじめに」を読み、全体に目を通す(180分)
第2回	認知症の基礎知識：認知症とは何か	【定義】【疾患別頻度】【高齢社会と今後】	復習：認知症の定義をまとめる(120分) 予習：認知症の症状を調べる(120分)
第3回	認知症の基礎知識：認知症の症状	【中核症状】【BPSD 周辺症状】【人格変化】【重症度】	復習：認知症の症状をまとめる(120分) 予習：認知症のアセスメントを概観する(120分)
第4回	認知症の基礎知識：認知症のアセスメント	【アセスメント法】【スクリーニング検査】【MMSE】 【行動観察尺度】【ADL評価尺度】	復習：アセスメント法を確認する(120分) 予習：認知症と間違われやすい状態を調べる(120分)
第5回	認知症の基礎知識：認知症と間違われやすい状態	【間違われやすい状態】【うつ】【せん妄】【身体疾患】 【薬物】【鑑定ポイント】【事例】	復習：認知症と間違われやすい状態を確認する(120分) 予習：認知症の発症因子を一覧表にする(120分)
第6回	認知症の基礎知識：認知症の発症因子	【原因疾患】【アルツハイマー型認知症】【レビー小体型認知症】 【前頭側頭葉変性症】【ピック病】【血管性認知症】 【正常圧水頭症】【内分泌代謝疾患】【精神作用・薬物】 【若年性認知症】	復習：認知症の発症因子をまとめる(120分) 予習：治療、発症機序など、軽度認知症について資料を調べる(120分)
第7回	認知症の基礎知識：治療と発生機序、危険因子 軽度認知症基礎知識のまとめ	【薬物療法】【非薬物療法】【発生機序】【神経原線変化】 【老人斑】【生活習慣病】【アミロイドβ蛋白】 【遺伝子変異】【危険因子】【軽度認知障害MCI】	復習：治療、発生機序、危険因子、軽度認知症について確認し要約する(120分) 予習：認知症のケアの原則を一覧表にまとめる(180分)
第8回	認知症者に対するケアの基本：認知症者のケアの原則	【7つの認知症ケア】【その人らしさ】 【当たり前の生活保障】 【時代背景】 【共感】 【自覚】 【チーム】	復習：認知症者のケアの原則を確認する(120分) 予習：認知症者への基本的ケアを一覧表にまとめる(120分)



第9回	認知症者に対するケアの基本：認知症者への基本的ケア	【基本的ケア】【見守り】【健康管理】【かかわり】【五感】【興味・関心】【気分転換】【チームケア】【行動変容】【リハビリテーション】【基本的欲求】【家族ケア】	復習：認知症者への基本的ケアを確認(120分) 予習：認知症アセスメントを一覧表に(120分)
第10回	認知症者に対するケアの基本：認知症アセスメント	【健康】【安全】【自立支援】【安心】【個別性】【支援体制】	復習：認知症アセスメントを確認する(120分) 予習：生活支援・ターミナルケアをまとめる(120分)
第11回	認知症者に対するケアの基本：認知症者の生活支援・ターミナルケア 基本的ケアのまとめ	【生活環境づくり】【食事環境】【服薬】【排泄】【清潔】【姿勢と動作】【活動と休息】【更衣】【ターミナルケア】【死生観】	復習：生活支援・ターミナルケアを確認(180分) 予習：コミュニケーションの基盤の下調べ(120分)
第12回	認知症者とのコミュニケーション：コミュニケーションの基盤	【コミュニケーション】【尊厳とケアの質】【ケアの理念・目的】【家族の生活史】	復習：コミュニケーションの基盤をまとめる(120分) 予習：事例を読み、問題点をまとめる(120分)
第13回	認知症者とのコミュニケーション：コミュニケーションの実践（事例検討）	【コミュニケーション基本的技術】【事例検討】【回想法】	復習：事例検討の要点をまとめる(120分) 予習：地域で取り組むケアの問題点をまとめる(180分)
第14回	チーム・地域で取り組む認知症ケア	【チームケア】【居住環境】【コミュニティ】【地域連携】【まちづくり】【地域ケアシステム】【リスクマネジメント】【地域包括支援センター】【高齢者虐待】	復習：地域で取り組むケアを確認する(120分) 予習：家族支援・人権擁護を調べる(120分)
第15回	家族への支援・人権擁護 全体のまとめ	【家族支援】【社会支援】【人権擁護】【成年後見制度】【日常生活自立支援事業】	復習：家族支援・人権擁護を確認し、全体をまとめる(180分)

テキスト	<p>[書名] 『認知症の理解 第二版』介護福祉士養成テキストブック第11巻          [著者] 井上千津子・他監修          [出版] ミネルヴァ書房          [ISBN] 978-4-623-06527-1          [価格] 2,600円+税</p>
参考書・参考資料等	<p>[書名] 『認知症診療の実践テクニック』          医学書院</p> <p>[書名] 『高齢者福祉論』第5章認知症ケアとターミナルケア          ミネルヴァ書房</p> <p>必要に応じ、参考書籍・文献・資料等を紹介、配布する。</p>
上記到達目標の評価の方法	<p>期末筆記試験…(70%)          平常点(受講態度・レスポンスペーパー等)…(30%)</p>
履修しておくべきことが望まれる科目	特になし
教材費用・実習費用等の負担費用	特になし
その他特記事項	各講義終了前の10分程度でレスポンスペーパーを書き提出する。その結果やコメントは次回講義でフィードバックする。さらに、体験実習や事例紹介から自己を見直し、主体的なかかわりを促す。
備考	必ずテキストを読んで授業に臨むこと。

講義名	認知症の理解Ⅱ
講義区分	講義
基準単位数	2
必選区分	必修(介護)
配当年次	3 semester (2年次春学期)
受講者制限	介護福祉コースのみ

担当教員

職種	氏名	所属
准教授	◎ 山 和美	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科

本科目の到達目標	<p>①認知症の人の生活の不自由さを学び、認知症ケアについて事例を通して考察できる</p> <p>②認知症の人の家族の気持ちや悩みについて学び、他職種との連携・協働、公的サービスの利用について説明できる</p> <p>③演習を通して自己の介護観を育み、表現することができる</p>
授業概要	<p>①家族の葛藤・介護力、在宅ケアの実際を習得する</p> <p>②認知症の人の権利を守る諸制度、行政・施策を習得する</p> <p>③介護現場の指導者と共にⅠ・Ⅱ期実習をふりかえり、認知症ケアの実際について考察する</p> <p>④認知症ケアにおける今日の課題について関心をもち、考えることができる</p> <p>⑤アクティブラーニングの手法を用い、学生一人ひとりが認知症ケアについて自己の考えを述べ、他者の意見に耳を傾け協議することができる</p>

授業計画表

回	学習内容	【キーワード】	学習課題(予習・復習)
第1回	オリエンテーション・認知症を取り巻く現状	【認知症の歴史】【新レジブラン】	予習：テキストを読むP2~10(90分)
第2回	認知症ケアにおける歴史(DVD鑑賞)	【認知症介護】	予習：テキストを読んでくるp6~15(90分)
第3回	認知症ケアの理念と視点(DVD鑑賞の続き)・認知症ケアについての検討	【ICF】【家族支援】	復習：演習1-1(90分) 演習1-4
第4回	「施設における認知症ケアの実際①」 認知症の人の行動・心理的理解	【BPSD】	復習：中核症状とBPSDに関するレポート課題(90)
第5回	「施設における認知症ケアの実際②」 老化の仕組みと脳の変化	【脳の機能】【能の変化】	予習：テキストp24~51読んでくる(90分)
第6回	介護老人福祉施設で働く職員のプレゼンテーションを聴く・演習(Ⅱ期実習のふりかえり、Ⅱ期実習の学び)	【自己の介護観】	復習：自分のプランの見直し(90分)
第7回	認知症の原因疾患	【アルツハイマー型認知症】【脳血管性認知症】 【レビー小体型認知症】【ピック病】	予習：p58~83まで読んで理解する(90分) 復習：演習課題2-5
第8回	若年性認知症 DVD鑑賞	【若年性認知症】	復習：DVDを観てのレポート課題作成(90分)
第9回	中間まとめ、小テスト	【到達目標の達成】【考察】	復習：テキストを読んでまとめる(90分)
第10回	「ご家族による認知症ケアの実際①」 認知症の人と家族の会(滋賀県支部)	【在宅介護】【男性家族による介護の特徴】【レスパイト】【家族会の活動】 【住みなれた地域】	
第11回	認知症の人を介護するために	【本人の声】【家族の声】	復習：演習課題3-1・3-2(90分)
第12回	認知症の人の生活の理解	【人と生活】【家族支援】	予習：テキストp124~143を読んで理解しておく(90分)
第13回	認知症の人のケアと権利を守る ①認知症の人の権利、成年後見制度 ②虐待防止	【地域包括支援センターの活動】 【倫理綱領】【人権・権利・尊厳】 【成年後見制度】【事故防止】	予習：テキストp144~182を読む(90分)



第14回	認知症の人のケアと権利を守る なっても安心して暮らせる社会へ  グループディスカッション・発表	③認知症に  【地域包括支援センターの活動】 【倫理綱領】【人権・権利・尊厳】 【成年後見制度】【事故防止】	予習：テキストp278～300を読む (90分)
第15回	まとめ、小テスト	【自己の変化・成長】【社会人基礎力】	予習：演習課題7-2・7-3(90分)

テキスト	[書名] 最新 介護福祉士養成講座13 『認知症の理解』 [出版] 中央法規出版 [ISBN] 978-4-8058-5773-1 [価格] 2,200円+税
参考書・参考資料等	必要に応じ、参考書籍・文献・資料等を紹介、配布する。
上記到達目標の評価の方法	レポート試験…(60%) 小テスト…(20%) 平常点…(20%)
履修しておくべきことが望まれる科目	特になし
教材費用・実習費用等の負担費用	特になし
その他特記事項	特になし

UP

⊗ ウィンドウを閉じる

講義名	障害の理解 I
講義区分	講義
基準単位数	2
必選区分	必修(介護)
配当年次	2 Semester (1年次秋学期)
受講者制限	介護福祉コースのみ

**担当教員**

職種	氏名	所属
非常勤講師	◎ 溝口 孝子	びわこ学院大学

<b>本科目の到達目標</b>	①肢体不自由(運動機能障害)の原因や状態像を理解し、説明できる。 ②それぞれの内部障害の原因や病態像を理解し、説明できる。 ③障害のある人の生活を理解し、本人及び家族への介護のあり方を説明できる。 ④障害のある人の生活を支援するための社会資源の活用や関連職種との協働・連携の必要性を理解し、説明できる。
<b>授業概要</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障害のある人の心理や身体機能に関する基礎的知識を習得する。</li> <li>・障害のある人の体験を理解し、本人及び介護者を含めた周囲の環境にも配慮した介護の視点を習得する。</li> </ul>

**授業計画表**

回	学習内容	【キーワード】	学習課題(予習・復習)
第1回	科目ガイダンス 障害とは、肢体不自由(運動機能障害)とは	【到達目標】【学習計画】【障害】【障害が及ぼす心理的影響】【肢体不自由の定義】【状態像・原因】	予習：テキスト全体に目を通し、教科を概観する。テキスト1章1節、3章1節の学習範囲を読み、気になるところ、理解が困難なところにチェックを入れる。(90分) 復習：配布資料を振り返り、授業内容のポイントをまとめる。(90分)
第2回	運動機能障害(上・下肢の機能障害)のある人の生活	【上・下肢の機能障害の形態】【麻痺】【慢性関節リウマチ】	予習：テキスト3章1節の学習範囲を読み、気になるところ、理解が困難なところにチェックを入れる。(90分) 復習：配布資料を振り返り、授業内容のポイントをまとめる。(90分)
第3回	運動機能障害(体幹の機能障害)のある人の生活	【体幹の機能障害】【脳性麻痺】【脊髄・頭髄損傷】	予習：テキスト3章1節の学習範囲を読み、気になるところ、理解が困難なところにチェックを入れる。(90分) 復習：配布資料を振り返り、授業内容のポイントをまとめる。(30分) テキスト演習3-1、3-2を実施する(60分)
第4回	運動機能障害(中枢神経系の障害)のある人の生活	【中枢神経系の機能障害】【頭髄損傷脊髄損傷】【高次脳機能障害】	予習：テキスト3章1節の学習範囲を読み、気になるところ、理解が困難なところにチェックを入れる。(90分) 復習：配布資料を振り返り、授業内容のポイントをまとめる。(90分) テキスト演習3-7、3-8を実施する(60分)
第5回	内部障害(心臓機能障害)のある人の生活	【心臓機能障害の種類・原因・特性】【虚血性心疾患】【ペースメーカー】	予習：テキスト4章1節の学習範囲を読み、気になるところ、理解が困難なところにチェックを入れる。(90分) 復習：配布資料を振り返り、授業内容のポイントをまとめる。(90分)
第6回	内部障害(腎機能障害)のある人の生活	【腎機能障害の種類・原因・特性】【慢性腎不全】【血液透析】	予習：テキスト4章1節の学習範囲を読み、気になるところ、理解が困難なところにチェックを入れる。(90分)

			分) 復習：配布資料を振り返り、授業内容のポイントをまとめる。(90分)
第7回	内部障害（呼吸機能障害）のある人の生活	【呼吸機能障害の種類・原因】【慢性閉塞性肺疾患】【在宅酸素療法】	予習：テキスト4章1節の学習範囲を読み、気になるところ、理解が困難なところにチェックを入れる。(90分) 復習：配布資料を振り返り、授業内容のポイントをまとめる。(90分)
第8回	内部障害（膀胱・直腸機能障害）のある人の生活	【膀胱・直腸機能障害の種類・原因・特性】 【膀胱留置カテーテル】【ストマ】	予習：テキスト4章1節の学習範囲を読み、気になるところ、理解が困難なところにチェックを入れる。(90分) 復習：配布資料を振り返り、授業内容のポイントをまとめる。(90分)
第9回	内部障害（小腸・肝臓機能障害）のある人の生活	【小腸機能障害の種類・原因・特性】【栄養法】 【肝臓機能障害の種類・原因・特性】【肝炎】	予習：テキスト4章1節の学習範囲を読み、気になるところ、理解が困難なところにチェックを入れる。(90分) 復習：配布資料を振り返り、授業内容のポイントをまとめる。(90分)
第10回	ヒト免疫不全ウイルス（HIV）による免疫機能障害のある人の生活	【HIVによる免疫機能障害の種類・原因・特性】 【ヒト免疫不全ウイルス（HIV）】 【後天性免疫不全症候群（AIDS）】	予習：テキスト4章1節の学習範囲を読み、気になるところ、理解が困難なところにチェックを入れる。(90分) 復習：配布資料を振り返り、授業内容のポイントをまとめる。(30分) テキスト演習4-1、4-2を実施する(60分)
第11回	難病のある人の生活	【難病の種類・原因・特性】 【筋萎縮性側索硬化症（ALS）】 【全身性エリテマトーデス（SLE）】 【パーキンソン病】	予習：テキスト4章2節の学習範囲を読み、気になるところ、理解が困難なところにチェックを入れる。(90分) 復習：配布資料を振り返り、授業内容のポイントをまとめる。(30分) テキスト演習4-3、4-4を実施する(60分)
第12回	全介助を要する人（寝たきり状態の人）の理解	【全介助状態】 【ねたきり状態】 【廃用症候群】 【感染症】 【起こす介護】	予習：学習範囲の配布資料を読み、気になるところ、理解が困難なところにチェックを入れる。(90分) 復習：配布資料を振り返り、授業内容のポイントをまとめる。(90分)
第13回	知識の補充・強化： 肢体不自由（運動機能障害）、内部障害	【上・下肢の機能障害】 【体幹の機能障害】 【中枢神経系の障害】 【心機能障害】 【呼吸機能障害】	予習：学習範囲の配布資料を読み、気になるところ、理解が困難なところにチェックを入れる。(90分) 復習：配布資料を振り返り、授業内容のポイントをまとめる。(90分)
第14回	知識の補充・強化： 内部障害、難病	【腎機能障害】 【膀胱・直腸機能障害】 【小腸・肝臓機能障害】 【ヒト免疫不全ウイルス（HIV）による免疫機能障害】 【ALS】 【SLE】 【パーキンソン病】	予習：学習範囲の配布資料を読み、気になるところ、理解が困難なところにチェックを入れる。(90分) 復習：配布資料を振り返り、授業内容のポイントをまとめる。(90分)
第15回	全体の振り返りとまとめ、知識の確認・強化	【到達目標の達成度】 【秋学期末試験練習問題解答会】	予習：秋学期末試験練習問題を解く。(90分) 復習：秋学期末試験練習問題・解答を振り返り、ポイントをまとめる。(90分)

テキスト	[書名] 『最新・介護福祉士養成講座14「障害の理解」』 [著者] 介護福祉士養成講座編集委員会 [出版] 中央法規 [ISBN] 978-4-8058-5774-8 [価格] 2,200円+税
参考書・参考資料等	必要に応じ、参考書籍・文献・資料等を紹介、配布する。
上記到達目標の評価の方法	定期（筆記）試験…(50%) レスポンス……………(20%) 演習課題……………(15%) 平常点……………(15%)
履修しておくべきことが望まれる科目	特になし
教材費用・実習費用等の負担費用	特になし
その他特記事項	・理解促進テスト法 ・質問法 ・ミニッツペーパー

講義名	障害の理解Ⅱ
講義区分	講義
基準単位数	2
必選区分	必修(介護)
配当年次	3年生(2年次春学期)
受講者制限	介護福祉コースのみ

担当教員

職種	氏名	所属
講師	◎ 吉原 真紀	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科

本科目の到達目標	<p>①障害のある人の心理・社会機能に関する基礎的知識を理解できる。</p> <p>②障害のある人の体験を理解し、本人を取り巻く周囲の環境や自立に向けた生活支援の視点を理解できる。</p> <p>③支援のためのチームアプローチや組織・機関の連携を理解できる。</p> <p>④障害のある人やその家族に対する支援のあり方や社会資源の活用の仕方を理解できる。</p>
授業概要	<p>障害の概念や福祉の基本理念を理解するとともに、それぞれの障害に関する症状や合併症などが日常生活に及ぼす影響を理解し、障害のある人やその介護者を含めた生活支援を行うための知識を習得する学習とする。学習内容によっては関連する章の利用者課題を提供し、問題解決のためのグループワークを行い、アクティブラーニングの方法を用いる。</p>

授業計画表

回	学習内容	【キーワード】	学習課題(予習・復習)
第1回	第1章 障害の基礎的理解 Ⅰ 障害の概念 Ⅱ 障害者の基本理念	障害の定義と分類 国際障害分類 国際生活機能分類 ノーマライゼーション リハビリテーション	予習(90分) 復習(90分) ①テキストを読み、わからない医学用語を調べる。 ②練習問題でできなかった問題を復習する。 授業で理解できたことをノートにまとめる
第2回	第1章 障害の基礎的理解 Ⅲ 障害が及ぼす心理的影響と自己概念	障害の受容	予習(90分) 復習(90分) ①テキストを読み、わからない医学用語を調べる。 ②練習問題でできなかった問題を復習する。 授業で理解できたことをノートにまとめる
第3回	第4章 視覚障害のある人の理解	視覚障害	予習(90分) 復習(90分) ①テキストを読み、わからない医学用語を調べる。 ②練習問題でできなかった問題を復習する。 授業で理解できたことをノートにまとめる
第4回	第5章 聴覚障害のある人の理解	聴覚障害 伝音性難聴 感音性難聴	予習(90分) 復習(90分) ①テキストを読み、わからない医学用語を調べる。 ②練習問題でできなかった問題を復習する。 授業で理解できたことをノートにまとめる
第5回	第6章 言葉に障害のある人の理解	音声障害 構音障害 失語症	予習(90分) 復習(90分) ①テキストを読み、わからない医学用語を調べる。 ②練習問題でできなかった問題を復習する。 授業で理解できたことをノートにまとめる
第6回	まとめ	小テスト パーキンソン病DVD	予習(90分) 復習(90分) ①小テストのための復習。 ②練習問題でできなかった問題を復習する。 授業で理解できたことをノートにまとめる
第7回	第7章 発達障害のある人の理解 Ⅰ 発達障害についての基礎知識 Ⅱ 発達障害のある人の生活のしづらさ Ⅲ 知的障害を伴う発達障害のある人	知能指数 ダウン症 重症心身障害 脳性麻痺	予習(90分) 復習(90分) ①テキストを読み、わからない医学用語を調べる。 ②練習問題でできなかった問題を復習する。 授業で理解できたことをノートにまとめる
第8回	第7章 発達障害のある人の理解 Ⅳ 知的障害を伴わない発達障害のある人	自閉症スペクトラム障害	予習(90分) 復習(90分) ①テキストを読み、わからない医学用語を調べる。

			②練習問題でできなかった問題を復習する。 授業で理解できたことをノートにまとめる
第9回	第7章 発達障害のある人の理解 IV 知的障害を伴わない発達障害のある人 V 発達障害に合併する障害の理解	学習障害 注意欠陥多動性障害 てんかん	予習(90分) 復習(90分) ①テキストを読み、わからない医学用語を調べる。 ②練習問題でできなかった問題を復習する。 授業で理解できたことをノートにまとめる
第10回	第8章 精神障害のある人の理解 I 精神障害についての基礎知識	内因性精神病 統合失調症 気分障害	予習(90分) 復習(90分) ①テキストを読み、わからない医学用語を調べる。 ②練習問題でできなかった問題を復習する。 授業で理解できたことをノートにまとめる
第11回	第8章 精神障害のある人の理解 I 精神障害についての基礎知識	外因性精神病 心因性精神病	予習(90分) 復習(90分) ①テキストを読み、わからない医学用語を調べる。 ②練習問題でできなかった問題を復習する。 授業で理解できたことをノートにまとめる
第12回	第8章 精神障害のある人の理解 II 日常生活への影響とアセスメントの視点 III 精神障害の福祉	妄想 幻覚 生活技能訓練	予習(90分) 復習(90分) ①テキストを読み、わからない医学用語を調べる。 ②練習問題でできなかった問題を復習する。 授業で理解できたことをノートにまとめる
第13回	第11章 障害者介護における連携と協働	地域自立支援協議会 保健・医療職	予習(90分) 復習(90分) ①テキストを読み、わからない医学用語を調べる。 ②練習問題でできなかった問題を復習する。 授業で理解できたことをノートにまとめる
第14回	第12章 障害者を持つ家族の支援	家族の障害受容 レスパイトケア	予習(90分) 復習(90分) ①テキストを読み、わからない医学用語を調べる。 ②練習問題でできなかった問題を復習する。 授業で理解できたことをノートにまとめる
第15回	まとめ	小テスト	予習(90分) 復習(90分) ①小テストのための学習 ②練習問題でできなかった問題を復習する。 授業で理解できたことをノートにまとめる

テキスト	[書名] 『こころとからだのしくみ「障害の理解」』 [著者] 谷口敏代 [出版] メヂカルフレンド社 [ISBN] 978-4-8392-3198-9 [価格] 3,100円+税
上記到達目標の評価の方法	期末筆記試験…(50%) 平常点(受講態度・ドリル・レポート等)…(50%)
履修しておくべきことが望まれる科目	特になし
備考	グループワーク・ミニッツペーパー

講義名	こころとからだのしくみの基礎A
講義区分	講義
基準単位数	2
必選区分	必修(介護)
配当年次	1年生(1年次春学期)
受講者制限	

**担当教員**

職種	氏名	所属
教授	◎ 新屋 久幸	びわこ学院大学 教育福祉学部 子ども学科

本科目の到達目標	①介護に必要な医学知識・技術の基本となる人体の構造や機能について理解、説明できる ②介護を行う際、必要な人体のしくみやはたらき、およびその病的な状態について理解し、説明できる ③介護サービスの提供時における安全への留意点や心理的側面への配慮について理解し、実践できる ④こころとからだの連携について理解し、全人的なみかたを学修し、説明できる
授業概要	介護の基礎となる生命の維持・恒常のしくみ、基本的な人体の構造や機能を理解し、こころとからだの老化、障害、主な疾患についても理解を深める。利用者の状態をみて、こころとからだの両面から、その状態がどのような要因から引き起こされているのか、生活や行動にどのようなつながっていくのかなど、根拠をもって理解・判断できるように医学的知識を修得する。

**授業計画表**

回	学習内容	【キーワード】	学習課題(予習・復習)
第1回	からだのしくみを理解する 人体の構造と働き ①	【健康とは】	復習：履修内容(90分) 予習：次回履修範囲を精読し、予習テストの準備をする(120分)
第2回	からだのしくみを理解する 人体の構造と働き ②	【人体の区分、細胞と組織、脳神経系】	復習：履修内容(90分) 予習：次回履修範囲を精読し、予習テストの準備をする(120分) 課題レポート作成(60分)
第3回	からだのしくみを理解する 人体の構造と働き ③	【呼吸・循環器系】	復習：履修内容(90分) 予習：次回履修範囲を精読し、予習テストの準備をする(120分) 課題レポート作成(60分)
第4回	からだのしくみを理解する 人体の構造と働き ④	【消化器系】	復習：履修内容(90分) 予習：次回履修範囲を精読し、予習テストの準備をする(120分) 課題レポート作成(60分)
第5回	からだのしくみを理解する 人体の構造と働き ⑤	【代謝、泌尿器、皮膚、骨格、筋系】	復習：履修内容(90分) 予習：次回履修範囲を精読し、予習テストの準備をする(120分) 課題レポート作成(60分)
第6回	からだのしくみを理解する 人体の構造と働き ⑥	【平衡聴覚、視覚、味覚、生殖、免疫系】	復習：履修内容(90分) 予習：第1～6回授業内容を復習し、小テストの準備をする(120分～)
第7回	ふり返りとまとめ ①	【小テスト】	復習：小テストで理解が不十分であったところ(60分) 予習：次回履修範囲を精読し、予習テストの準備をする(120分)
第8回	こころとからだのしくみを理解する 主な症状 ①	【循環、呼吸】	復習：履修内容(90分) 予習：次回履修範囲を精読し、予習テストの準備をする(120分)
第9回	こころとからだのしくみを理解する 主な症状 ②	【排泄、その他】	復習：履修内容(90分) 予習：次回履修範囲を精読し、予習テストの準備をする(120分)
第10回	こころとからだのしくみを理解する 主な疾患の概要 ①	【呼吸、循環器疾患】	



			復習：履修内容(90分) 予習：次回履修範囲を精読し、予習テストの準備をする(120分)
第11回	こころとからだのしくみを理解する 主な疾患の概要 ②	【腎・泌尿器、消化器疾患】	復習：履修内容(90分) 予習：次回履修範囲を精読し、予習テストの準備をする(120分)
第12回	こころとからだのしくみを理解する 主な疾患の概要 ③	【消化器、神経、筋疾患】	復習：履修内容(90分) 予習：次回履修範囲を精読し、予習テストの準備をする(120分)
第13回	こころとからだのしくみを理解する 主な疾患の概要 ④	【血液、内分泌、代謝性疾患】	復習：履修内容(90分) 予習：次回履修範囲を精読し、予習テストの準備をする(120分)
第14回	こころとからだのしくみを理解する 主な疾患の概要 ⑤	【感染症、膠原病、運動器、感覚器、皮膚疾患】	復習：履修内容(90分) 予習：次回履修範囲を精読し、予習テストの準備をする(120分)
第15回	ふり返りとまとめ ②	【小テスト】	復習：履修範囲全体の俯瞰(180分～)

テキスト	<p>[書名] 『医学一般、最新介護福祉全書 別巻1』 [著者] 山口 昇(編) [出版] メヂカルフレンド社 [ISBN] 978-4-8392-3156-9 [価格] 2,300円+税</p>
参考書・参考資料等	<p>[書名] 新版 からだの地図帳 [著者] 佐藤達夫(監) [出版] 講談社</p> <p>[書名] のほほん解剖生理学 [著者] 玉先生 [出版] 永岡書店</p> <p>[書名] 一步一步学ぶ生命科学 [監] 日本生理学会教育委員会 [出版] 女子栄養大学</p> <p>[書名] 新版 病気の地図帳 [著者] 山口和克(監) [出版] 講談社</p> <p>[書名] 高齢者介護 急変時マニュアル [著者] 美濃良夫(編) [出版] 講談社</p> <p>必要に応じ、参考書籍・文献・資料等を紹介、配布する。</p>
上記到達目標の評価の方法	<p>定期試験…(40%) 予習・小テスト・復習テスト…(30%) レポート…(15%) 平常点…(15%)</p>
履修しておくべきことが望まれる科目	これまでに学修した理科、生物を思い出しておいてください
教材費用・実習費用等の負担費用	特になし
その他特記事項	講義、反転授業、予習・復習テスト方式で学修、基礎的な知識の定着を図り、レポート作成により考える習慣を形成していきます。受講他者のレポートも読む機会をつくり、多様性について理解を深めるようにしています。受講に際しては、テキスト、その他参考資料の予習や読み込みが必須です。
備考	「お知らせ」等連絡を学内ポータル「メッセージ」からしています。反転学修URLは授業時に開示



講義名	こころとからだのしくみの基礎B
講義区分	講義
基準単位数	2
必選区分	必修(介護)
配当年次	2年生(1年次秋学期)
受講者制限	介護福祉コースのみ

担当教員

職種	氏名	所属
講師	◎ 吉原 真紀	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科

本科目の到達目標	①介護技術の根拠となる、人体の構造や機能を理解し説明できる。 ②機能低下が及ぼす、さまざまなこころとからだへの影響を予測でき説明できる。
授業概要	からだところのしくみ、みじたく、活動・移動に関連したしくみについて学習していく。事前学習としてテキストを読み、医学用語を調べ学んだことを考察したレポートを作成する。復習として授業を通して学んだことの考察を毎回の課題とする。各章毎に小テストを行い、知識の再認識をしていく。章によって利用者の課題を提供して課題解決のためのグループワーク・発表などアクティブラーニングを用いた授業を行う。

授業計画表

回	学習内容	【キーワード】	学習課題(予習・復習)
第1回	オリエンテーション 生きているしくみの理解 ① P1~14	体・臓器・体の部位・名称・細胞・組織・器官	予習:(90分) 復習:(90分) ①今までのこころとからだのしくみを復習する。 ②授業中に行ったテストの不正解した問題を正しく裏付けして、ノートに記入する。
第2回	生きているしくみの理解 ② p14~P35	ホメオスタシス・自律神経・呼吸と循環のしくみ ・バイタルサイン	予習90分 復習90分 ①テキストを読み、わからない医学用語を調べる。 ②練習問題でできなかった問題を復習する。 授業で理解できたことをレポートにまとめる
第3回	生きているしくみの理解 ③ P36~50	ストレス・非特異質防御システム・再生・修復	予習90分 復習90分 ①テキストを読み、わからない医学用語を調べる。 ②練習問題でできなかった問題を復習する。 授業で理解できたことをレポートにまとめる
第4回	こころのしくみの理解① p 53~59	脳の構造	予習90分 復習90分 ①テキストを読み、わからない医学用語を調べる。 ②練習問題でできなかった問題を復習する。 授業で理解できたことをレポートにまとめる
第5回	こころのしくみの理解② p 59~75	感覚・知覚・認知・記憶・学習	予習90分 復習90分 ①テキストを読み、わからない医学用語を調べる。 ②練習問題でできなかった問題を復習する。 授業で理解できたことをレポートにまとめる
第6回	こころのしくみの理解③ p 75~82	動機づけ・マズロー欲求の段階説	予習90分 復習90分 ①テキストを読み、わからない医学用語を調べる。 ②練習問題でできなかった問題を復習する。 授業で理解できたことをレポートにまとめる
第7回	こころのしくみの理解④ p 82~94	防衛機能・フラストレーション・自己概念	予習90分 復習90分 ①テキストを読み、わからない医学用語を調べる。

			②練習問題でできなかった問題を復習する。 授業で理解できたことをレポートにまとめる
第8回	生きているしくみとこころのしくみのまとめ	小テスト	予習90分 復習90分 ①テキストを読み、復習する。 ②練習問題でできなかった問題を復習する。 授業で理解できたことをレポートにまとめる
第9回	身じたくのしくみの理解 ① p97～p114	みじたくの意味・顔・眼・耳・鼻・口腔・爪の構造	予習90分 復習90分 ①テキストを読み、わからない医学用語を調べる。 ②練習問題でできなかった問題を復習する。 授業で理解できたことをレポートにまとめる
第10回	身じたくのしくみの理解 ② p114～130	洗顔・口腔の清潔・更衣・スクエアオフ・結髪・機能の低下や障害が及ぼすみじたくの影響	予習90分 復習90分 ①テキストを読み、わからない医学用語を調べる。 ②練習問題でできなかった問題を復習する。 授業で理解できたことをレポートにまとめる
第11回	移動・移乗に関連したしくみの理解① p133～138	骨・筋肉・神経	予習90分 復習90分 ①テキストを読み、わからない医学用語を調べる。 ②練習問題でできなかった問題を復習する。 授業で理解できたことをレポートにまとめる
第12回	移動・移乗に関連したしくみの理解② p139～160	移動の目的・立位・座位・体位変換・立ち上がり・歩行・ボディメカニクス	予習90分 復習90分 ①テキストを読み、わからない医学用語を調べる。 ②練習問題でできなかった問題を復習する。 授業で理解できたことをレポートにまとめる
第13回	移動・移乗に関連したしくみの理解③ p161～164 事例検討：転倒の要因	活動・移動に関する機能低下・障害の原因 グループワーク	予習90分 復習90分 ①テキストを読み、わからない医学用語を調べる。 ②練習問題でできなかった問題を復習する。 授業で理解できたことをレポートにまとめる
第14回	移動・移乗に関連したしくみの理解④ 事例検討：転倒の要因	グループワーク 発表	予習90分 復習90分 ①テキストを読み、わからない医学用語を調べる。 ②練習問題でできなかった問題を復習する。 授業で理解できたことをレポートにまとめる
第15回	移動・移乗に関連したしくみの理解⑤ p164～172  まとめ	廃用症候群・褥瘡	予習90分 復習90分 ①テキストを読み、わからない医学用語を調べる。 ②練習問題でできなかった問題を復習する。 授業で理解できたことをレポートにまとめる

テキスト	[書名] 『こころとからだのしくみ』 [著者] 小坂橋喜久代 松田たみ子 [出版] メヂカルフレンド社 [ISBN] 978-4-8392-3199-6 [価格] 3200円+税
参考書・参考資料等	必要に応じ、参考書籍・文献・資料等を紹介、配布する。
上記到達目標の評価の方法	定期試験…(50%) ノート・レポート・ドリル提出…(30%) 平常点…(20%)
履修しておくべきことが望まれる科目	特になし
その他特記事項	特になし
備考	グループワークの発表・評価があります。

講義名	こころとからだのしくみの理解A
講義区分	講義
基準単位数	2
必選区分	必修(介護)
配当年次	2年生(1年次秋学期)
受講者制限	

担当教員

職種	氏名	所属
教授	◎ 新屋 久幸	びわこ学院大学 教育福祉学部 子ども学科

本科目の到達目標	<p>①介護福祉士に必要な精神保健・制度・施策について理解・説明できる</p> <p>②こころとからだの連携について理解を深め、全人的なみかたができる</p> <p>③介護に必要とされる医学知識、観察力、判断能力を習得し、他職種、多職種と連携、協働できる</p>
授業概要	<p>介護福祉の分野では「こころとからだの健康」の保持・増進のために、精神医学および精神保健の双方の知識と考え方を必要とする。精神疾患・障害についての基礎的な知識と精神保健の考え方について学習する。老化やさまざまな疾患、障害などがある利用者に対して、こころとからだの両面から、その連携から、「困りごと」がどのような要因から引き起こされているのか、生活行動にどのようにつながっていくのか、社会や施設でどのように支援していくのかなどにつき考察・理解を深める。</p>

授業計画表

回	学習内容	【キーワード】	学習課題(予習・復習)
第1回	精神保健概説	【学習法、こころとは、精神医学と精神保健】	復習：履修内容(90分) 予習：次回履修範囲を精読し、予習テストの準備をする(120分) 課題レポート作成(120分)
第2回	精神保健の基礎 ① 6 心の働きとその理解	【こころの働き】	復習：履修内容(90分) 予習：次回履修範囲を精読し、予習テストの準備をする(120分) 課題レポート作成(120分)
第3回	精神症状の知識	【精神症状とは】	復習：履修内容(90分) 予習：次回履修範囲を精読し、予習テストの準備をする(120分)
第4回	精神保健の基礎 ② 7~9 精神障害の原因	【精神障害の原因、発達】	復習：履修内容(90分) 予習：次回履修範囲を精読し、予習テストの準備をする(120分)
第5回	精神障害(がい)の知識 ① 1~2	【器質性精神障害、精神作用物質】	復習：履修内容(90分) 予習：次回履修範囲を精読し、予習テストの準備をする(120分)
第6回	精神障害(がい)の知識 ② 3~4	【統合失調症、気分障害】	復習：履修内容(90分) 予習：次回履修範囲を精読し、予習テストの準備をする(120分)
第7回	精神障害(がい)の知識 ③ 5~11	【神経症性障害】	復習：履修内容(90分) 予習：第1~7回履修範囲を復習し、小テストの準備をする(180分~)
第8回	ふり返りとまとめ	【小テスト】	復習：履修範囲、小テストでわかりにくかったところ(180分)
第9回	精神障害(がい) 理解と支援 滋賀八幡病院 講師	【多職種連携、精神障害、地域支援】	予習：地域での精神障害(がい)について自学自修(90分) 聴講後の課題レポート作成(180分)
第10回	歯科について知っておいてほしいこと 湖東歯科医師会 講師	【多職種連携、口腔疾患、嚥下障害】	予習：介護における嚥下障害、口腔ケアについて自学自修(90分) 聴講後の課題レポート作成(180分)
第11回			

	リハビリテーションについて知っておいてほしいこと 近江温泉病院 総合リハビリテーションセンター 講師	【多職種連携、リハビリテーション】	予習：地域・介護でのリハビリテーションについて自学自修（90分） 聴講後の課題レポート作成（180分）
第12回	薬について知っておいてほしいこと 八幡蒲生薬剤師会 講師	【多職種連携、薬剤、薬剤管理、地域支援】	予習：在宅・施設介護において必要とされるくすりの知識について自学自修（90分） 聴講後の課題レポート作成（180分）
第13回	地域医療について知っておいてほしいこと 滋賀県医師会 講師	【多職種連携、地域保健、地域医療】	予習：在宅・施設介護において必要とされる医療の知識について自学自修（90分） 聴講後の課題レポート作成（180分）
第14回	地域保健について知っておいてほしいこと 東近江市福祉総合支援課 講師	【多職種連携、地域福祉、地域保健】	予習：地域保健において必要とされる知識、行政との協働について自学自修（90分） 聴講後の課題レポート作成（180分）
第15回	社会と精神保健 1～4	【社会と精神保健】	復習：履修内容（90分） 予習：全回の履修範囲を復習し、定期試験の準備へと向かう（120分～）

テキスト	<p>[書名] 『新版 精神保健 第3版』</p> <p>[著者] 石井厚（監）</p> <p>[出版] 医学出版社</p> <p>[ISBN] 978-4-87055-134-3</p> <p>[価格] 2,500円+税</p>
参考書・参考資料等	<p>[書名] ころとからだのしくみ、新・介護福祉士養成講座14</p> <p>[出版] 中央法規</p> <p>[書名] 障害の理解、新・介護福祉士養成講座13</p> <p>[出版] 中央法規</p> <p>[書名] 医学一般、最新介護福祉全書 別巻1</p> <p>[著者] 山口 昇（編）</p> <p>[出版] メヂカルフレンド社</p>
上記到達目標の評価の方法	<p>定期試験 …(40%)</p> <p>予習・小試験 …(30%)</p> <p>平常点(レポート・受講態度等)…(30%)</p>
履修しておくべきことが望まれる科目	「ころとからだのしくみの基礎A」
教材費用・実習費用等の負担費用	研修参加の場合は交通費実費
その他特記事項	<p>講義および予習・復習テスト方式で学修、基礎的知識の定着を図る。多職種の学外講師による講義を予定。課題に対するレポート作成、講師の講義内容へのレポート作成を通し、考える力、表現する力、多職種と連携する力等の練成をおこないます。授業内容変更もあります。</p> <p>希望者は精神科病院の見学・研修を予定。</p>
備考	「お知らせ」等連絡を学内ポータル「メッセージ」からしています。反転学修・授業用URLは授業時に開示

講義名	こころとからだのしくみの理解B
講義区分	講義
基準単位数	2
必選区分	必修(介護)
配当年次	3e/3f (2年次春学期)
受講者制限	介護福祉コースのみ

担当教員

職種	氏名	所属
講師	◎ 吉原 真紀	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科

本科目の到達目標	①介護技術の根拠となる、人体の構造や機能を理解し、説明ができる。 ②機能低下が及ぼす、さまざまなこころとからだへの影響を予測し、介護サービスの提供における安全への留意ができ、心理的配慮について理解できる。
授業概要	移動・食事・入浴・清潔保持・排泄・睡眠に関連したこころとからだのしくみ、死にゆく人のこころとからだのしくみについて学習する。関連する章に応じて利用者課題を提供し、問題解決のためのグループワーク・発表などアクティブラーニングを用いた授業を行うこともある。予習は医学用語を調べ、事前にテキストから学んだことを考察するレポートの作成。復習として授業を通して学んだことの考察を毎回の課題とする。

授業計画表

回	学習内容	【キーワード】	学習課題(予習・復習)
第1回	オリエンテーション : 食事に関連したこころとからだのしくみ ① p175~181	前期テストの復習 栄養素・食事バランスガイド・1日に必要な栄養素・水分量	予習: ①からだの部位や名称をレポートにまとめる(90分) 復習: ②前期テストの誤りをレポートにまとめる(90分)
第2回	食事に関連したこころとからだのしくみ ② p183~188	食欲・口渇のしくみ・摂食・嚥下の5分題	予習90分 復習90分 ①テキストを読み、わからない医学用語を調べる。 ②練習問題でできなかった問題を復習する。 授業で理解できたことをレポートにまとめる
第3回	食事に関連したこころとからだのしくみ ③ p189~P193	消化・吸収のメカニズム	予習90分 復習90分 ①テキストを読み、わからない医学用語を調べる。 ②練習問題でできなかった問題を復習する。 授業で理解できたことをレポートにまとめる
第4回	食事に関連したこころとからだのしくみ ④ p194~209	食べることの機能低下・障害 誤嚥・窒息・水分量・脱水症状	予習90分 復習90分 ①テキストを読み、わからない医学用語を調べる。 ②練習問題でできなかった問題を復習する。 授業で理解できたことをレポートにまとめる
第5回	入浴・清潔に関連したこころとからだのしくみ① p212~230	皮膚・頭髮・汗・陰部の清潔 入浴の効果・作用	予習90分 復習90分 ①テキストを読み、わからない医学用語を調べる。 ②練習問題でできなかった問題を復習する。 授業で理解できたことをレポートにまとめる
第6回	入浴・清潔に関連したこころとからだのしくみ② p231~p239	機能の低下・障害が及ぼす入浴の影響	予習90分 復習90分 ①テキストを読み、わからない医学用語を調べる。 ②練習問題でできなかった問題を復習する。 授業で理解できたことをレポートにまとめる

第7回	入浴・清潔に関連したところとからだのしくみ③ p240～246	入浴時の事故・介護者の気づき	予習90分 復習90分 ①テキストを読み、わからない医学用語を調べる。 ②練習問題でできなかった問題を復習する。 授業で理解できたことをレポートにまとめる
第8回	排泄に関連したところとからだのしくみ ① P253～262・265～267	尿の生成のしくみ	予習90分 復習90分 ①テキストを読み、わからない医学用語を調べる。 ②練習問題でできなかった問題を復習する。 授業で理解できたことをレポートにまとめる
第9回	排泄に関連したところとからだのしくみ ②268～273・278～281・284～285	排尿障害・尿失禁	予習90分 復習90分 ①テキストを読み、わからない医学用語を調べる。 ②練習問題でできなかった問題を復習する。 授業で理解できたことをレポートにまとめる
第10回	排泄に関連したところとからだのしくみ ③ p249～253・262～264	便の生成・排便のしくみ・ブリストール便性状スケール	予習90分 復習90分 ①テキストを読み、わからない医学用語を調べる。 ②練習問題でできなかった問題を復習する。 授業で理解できたことをレポートにまとめる
第11回	排泄に関連したところとからだのしくみ ④p274～277・282～283	下痢・便秘	予習90分 復習90分 ①テキストを読み、わからない医学用語を調べる。 ②練習問題でできなかった問題を復習する。 授業で理解できたことをレポートにまとめる
第12回	睡眠に関連したところとからだのしくみ① P288～305	概日リズム・睡眠・ノンレム睡眠	予習90分 復習90分 ①テキストを読み、わからない医学用語を調べる。 ②練習問題でできなかった問題を復習する。 授業で理解できたことをレポートにまとめる
第13回	睡眠に関連したところとからだのしくみ②P305～312	不眠・睡眠異常	予習90分 復習90分 ①テキストを読み、わからない医学用語を調べる。 ②練習問題でできなかった問題を復習する。 授業で理解できたことをレポートにまとめる
第14回	死にゆくところとからだのしくみ ①P315～325	死の定義・リビングウィル・脳死と植物状態・死後の身体変化	予習90分 復習90分 ①テキストを読み、わからない医学用語を調べる。 ②練習問題でできなかった問題を復習する。 授業で理解できたことをレポートにまとめる
第15回	死にゆくところとからだのしくみ ②P325～336	ターミナル期の身体機能の変化・心の変化・受容 まとめ	予習90分 復習90分 ①テキストを読み、わからない医学用語を調べる。 ②練習問題でできなかった問題を復習する。 授業で理解できたことをレポートにまとめる

テキスト	[書名] 『ところとからだのしくみ』 [著者] 小坂橋喜久子等 編集 [出版] メヂカルフレンド社 [ISBN] 978-4-8392-3199-6 [価格] 3200円+税
参考書・参考資料等	必要に応じ、参考書籍・文献・資料等を紹介、配布する。
上記到達目標の評価の方法	期末筆記試験…(50%) 平常点(受講態度等)…(20%) ノート・レポート・ドリル…(30%)
履修しておくべきことが望まれる科目	特になし
教材費用・実習費用等の負担費用	テキスト+ドリル代
その他特記事項	グループワークの発表・評価あります



講義名	医療的ケア I
講義区分	講義
基準単位数	4
必選区分	必修(介護)
配当年次	3セメスター (2年次春学期)
受講者制限	介護福祉コースのみ

## 担当教員

職種	氏名	所属
講師	◎ 吉原 真紀	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科

## 本科目の到達目標

- ①喀痰吸引等における基本的知識を身につける。  
 ②喀痰吸引や経管栄養の行為や根拠・目的を理解できる。

## 授業概要

事前学習としてテキストを読みDVDを視聴する。授業では吸引や経管栄養等の解説を行い、各章終了後に小テストで理解の確認を行う。復習では課題を通して、知識の再確認を行うため毎回ノートを提出する。最終回の確認テストでは9割以上の正解を必要とする。  
 喀痰吸引・経管栄養の実施手順では学生が主体的に準備・実施について考え、意見交換をしアクティブラーニングを用いた授業とする

## 授業計画表

回	学習内容	【キーワード】	学習課題(予習・復習)
第1回	1章 医療的ケアを学ぶために	社会福祉士及び介護福祉士法(第2条第1項) 実質的違法阻却 喀痰吸引等	予習①②③: 90分 復習④: 90分 ①各章のテキストを読む ②分からない用語を調べて、ノートに記入。 ④授業より学んだことを、ノートに書き、授業前に提出。
第2回	2章 喀痰吸引の安全な実施	生活支援と医行為 医師法・保健師・助産師・看護師法 認定特定行為業務従事者	予習①②③: 90分 復習④: 90分 ①各章のテキストを読む ②分からない用語を調べて、ノートに記入。 ③原則として医行為ではない行為について調べる。 ④授業より学んだことを、ノートに書き、授業前に提出。
第3回	3章 保健医療制度とチーム医療	チーム医療 業務独占・名称独占 医療的ケアに関連する法律	予習①②③: 90分 復習④: 90分 ①各章のテキストを読む ②分からない用語を調べて、ノートに記入。 ③医療保険・介護保険制度や医療を行う職種について調べる。 ④授業より学んだことを、ノートに書き、授業前に提出。
第4回	4章 介護における生活支援と介護の内容	人間の尊厳 介護の倫理 医療の倫理 インフォームド・コンセント	予習①②③: 90分 復習④: 90分 ①各章のテキストを読む ②分からない用語を調べて、ノートに記入。 ③日本介護福祉士会倫理綱領について調べる。 ④授業より学んだことを、ノートに書き、授業前に提出。
第5回	5章 健康状態の把握	バイタルサイン 観察	予習①②③: 90分 復習④: 90分 ①各章のテキストを読む ②分からない用語を調べて、ノートに記入。 ③年齢によるバイタルサインの正常値を調べて、生活支援技術bを振り返る。④授業より学んだことを、ノートに書き、授業前に提出。
第6回	5章 健康状態の把握	バイタルサイン 観察	予習①②③: 90分 復習④: 90分 ①各章のテキストを読む ②分からない用語を調べて、ノートに記入。 ③施設において応急処置、緊急連絡などの対応について調べてくる。 ④授業より学んだことを、ノートに書き、授業前に提出。
第7回	6章 清潔保持と感染予防	感染予防 標準予防策	予習①②③: 90分 復習④: 90分 ①各章のテキストを読む ②分からない用語を調べて、ノートに記入。 ③在宅や施設での感染症とは何を示すのか、どのような疾病が調べる。 ④授業より学んだことを、ノートに書き、授業前に提出。
第8回	6章 清潔保持と感染予防	消毒と滅菌の違い	予習①②: 90分 復習③: 90分 ①各章のテキストを読む



			②分からない用語を調べて、ノートに記入。 ③感染症に応じたそれぞれの消毒方法について調べる。 ③授業より学んだことを、ノートに書き、授業前に提出。
第9回	7章 呼吸の働きと喀痰吸引	呼吸器官 ガス交換 正常な呼吸 たんの性状	予習①②③：90分 復習④：90分 ①各章のテキストを読む ②分からない用語を調べて、ノートに記入。 ③呼吸のしくみや名称について覚えてくる。 ④授業より学んだことを、ノートに書き、授業前に提出。
第10回	7章 呼吸の働きと喀痰吸引	呼吸困難 低酸素症 喀痰吸引	予習①②③：90分 復習④：90分 ①各章のテキストを読む ②分からない用語を調べて、ノートに記入。 ③あなたが生じて排泄するしくみやあなたが貯留する状態や疾病を調べる。 ④授業より学んだことを、ノートに書き、授業前に提出。
第11回	7章 呼吸の働きと喀痰吸引	侵襲的人工呼吸器 気管カニューレ	予習①②③：90分 復習④：90分 ①各章のテキストを読む ②分からない用語を調べて、ノートに記入。 ③人工呼吸器がどのような利用者に使われているのか疾患について学ぶ。 ④授業より学んだことを、ノートに書き、授業前に提出。
第12回	7章 呼吸の働きと喀痰吸引	非侵襲的人工呼吸器	予習①②③：90分 復習④：90分 ①各章のテキストを読む ②分からない用語を調べて、ノートに記入。 ③人工呼吸器装着者の呼吸管理や医師・看護職員との連携について調べる。 ④授業より学んだことを、ノートに書き、授業前に提出。
第13回	7章 呼吸の働きと喀痰吸引	喀痰吸引を行っている利用者の気持ち・家族の思い 口腔ケア 小テスト	予習①②③：90分 復習③④：90分 ①各章のテキストを読む ②分からない用語を調べて、ノートに記入。 ③授業より学んだことを、ノートに書き、授業前に提出。④口腔ケアについて調べる。
第14回	8章 喀痰吸引の実施手順	喀痰吸引の必要物品 器具・器材の消毒法 吸引圧の調整	予習①②：90分 復習④：90分 ①各章のテキストを読む ②分からない用語を調べて、ノートに記入。 ③授業より学んだことを、ノートに書き、授業前に提出。④必要物品の準備や吸引圧の調整ができるように練習する。
第15回	8章 喀痰吸引の実施手順	喀痰吸引の技術 準備・実施・片づけ	予習①②③：90分 復習④⑤：90分 ①各章のテキストを読む ②分からない用語を調べて、ノートに記入。 ③吸引のDVDを視聴してくる。 ④授業より学んだことを、ノートに書き、授業前に提出。⑤浸漬法や乾燥法の違いが言える。
第16回	8章 喀痰吸引の実施手順	口腔内吸引の技術 準備・実施・片づけ・記録	予習①②③：90分 復習④：90分 ①各章のテキストを読む ②分からない用語を調べて、ノートに記入。 ③口腔内吸引のDVDを視聴 ④授業より学んだことを、ノートに書き、授業前に提出。
第17回	8章 喀痰吸引の実施手順	鼻腔内吸引 準備・実施・片づけ・記録	予習①②③：90分 復習④：90分 ①各章のテキストを読む ②分からない用語を調べて、ノートに記入。 ③鼻腔内吸引のDVDを視聴 ④授業より学んだことを、ノートに書き、授業前に提出。
第18回	8章 喀痰吸引の実施手順	気管カニューレ内部吸引 準備・実施・片づけ	予習①②③：90分 復習④⑤：90分 ①各章のテキストを読む ②分からない用語を調べて、ノートに記入。 ③気管カニューレ内部の吸引DVDを視聴 ④授業より学んだことを、ノートに書き、授業前に提出⑤滅菌手袋の装着ができるよう練習する。。
第19回	8章 喀痰吸引の実施手順	気管カニューレ内部の吸引 準備・実施・片づけ 記録	予習①②③：90分 復習⑤：90分 ①各章のテキストを読む ②分からない用語を調べて、ノートに記入。 ③授業より学んだことを、ノートに書き、授業前に提出。⑤滅菌手袋の装着ができるよう練習する。。
第20回	9章 食事と経管栄養	消化器のしくみ 摂食・嚥下の5段階	予習①②：90分 復習③：90分 ①各章のテキストを読む ②分からない用語を調べて、ノートに記入。 ③授業より学んだことを、ノートに書き、授業前に提出。
第21回	9章 食事と経管栄養	栄養摂取 経管栄養法 胃ろう	予習①②：90分 復習③：90分 ①各章のテキストを読む ②分からない用語を調べて、ノートに記入。 ③授業より学んだことを、ノートに書き、授業前に提出。
第22回	9章 食事と経管栄養	経鼻経管栄養・腸ろう	予習①②：90分 復習③：90分 ①各章のテキストを読む ②分からない用語を調べて、ノートに記入。 ③授業より学んだことを、ノートに書き、授業前に提出。
第23回	9章 食事と経管栄養	経管栄養法の種類	予習①②：90分 復習③：90分 ①各章のテキストを読む

		経腸栄養剤	②分からない用語を調べて、ノートに記入。 ③授業より学んだことを、ノートに書き、授業前に提出。
第24回	9章 食事と経管栄養	経管栄養でおこるトラブル・異常	予習①②：90分 復習③：90分 ①各章のテキストを読む ②分からない用語を調べて、ノートに記入。 ③授業より学んだことを、ノートに書き、授業前に提出。
第25回	9章 食事と経管栄養	家族・利用者の気持ち 日常生活におけるケア 小テスト	予習①②：90分 復習③：90分 ①各章のテキストを読む ②分からない用語を調べて、ノートに記入。 ③授業より学んだことを、ノートに書き、授業前に提出。
第26回	10章 経管栄養の実施手順	経管栄養の必要物品 器具・器材の消毒法	予習①②：90分 復習③：90分 ①各章のテキストを読む ②分からない用語を調べて、ノートに記入。DVDを視聴してくる ③授業より学んだことを、ノートに書き、授業前に提出。
第27回	10章 経管栄養の実施手順	胃ろうによる経管栄養 準備・実施・片づけ・消毒・ 報告・記録	予習①②：90分 復習③：90分 ①各章のテキストを読む ②分からない用語を調べて、ノートに記入。DVDを視聴してくる。 ③授業より学んだことを、ノートに書き、授業前に提出。
第28回	10章 経管栄養の実施手順	胃ろうによる経管栄養 準備・実施・片づけ・消毒・ 報告・記録	予習①②：90分 復習③：90分 ①各章のテキストを読む ②分からない用語を調べて、ノートに記入。DVDを視聴してくる。 ③授業より学んだことを、ノートに書き、授業前に提出。
第29回	10章 経管栄養の実施手順	経鼻経管栄養による経管栄養 準備・実施・片づけ・消毒・ 報告・記録	予習①②：90分 復習③：90分 ①各章のテキストを読む ②分からない用語を調べて、ノートに記入。DVDを視聴してくる ③授業より学んだことを、ノートに書き、授業前に提出。
第30回	10章 経管栄養の実施手順	経鼻経管栄養による経管栄養 準備・実施・片づけ・消毒・ 報告・記録	予習①②：90分 復習③：90分 ①各章のテキストを読む ②分からない用語を調べて、ノートに記入。DVDを視聴してくる。 ③授業より学んだことを、ノートに書き、授業前に提出。
第31回	10章 経管栄養の実施手順	経管栄養 準備・実施・片づけ・消毒・ 報告・記録	予習①②：90分 復習③：90分 ①各章のテキストを読む ②分からない用語を調べて、ノートに記入。DVDを視聴してくる。 ③授業より学んだことを、ノートに書き、授業前に提出。
第32回	11章 子どもの医療的ケア	子どもの特徴 医療的ケアが必要な子どもの 特徴	予習①②：90分 復習③：90分 ①各章のテキストを読む ②分からない用語を調べて、ノートに記入。 ③授業より学んだことを、ノートに書き、授業前に提出。
第33回	12章 リスクマネジメントと喀痰吸引等の安全な実施	事故報告書 リスク・マネジメント	予習①②：90分 復習③：90分 ①各章のテキストを読む ②分からない用語を調べて、ノートに記入。 ③授業より学んだことを、ノートに書き、授業前に提出。
第34回	13章 救急蘇生法	胸骨圧迫・人工呼吸	予習①②：90分 復習③：90分 ①各章のテキストを読む ②分からない用語を調べて、ノートに記入。DVDを視聴してくる。 ③授業より学んだことを、ノートに書き、授業前に提出。
第35回	まとめ	確認テスト	確認テスト 事前学習 確認テストで間違いのあった問題の確認 予習90分 復習90分

テキスト	[書名] 『医療的ケア』 [著者] 椋崎京子・荏原順子 編著 [出版] 建帛社 [ISBN] 978-4-7679-3376-4 [価格] 2,800円+税
参考書・参考資料等	[書名] 『改訂版 介護職のための今すぐ知りたい医療行為実技ガイド』 [著者] 服部万里子 [出版] ひかりのくに出版
上記到達目標の評価の方法	試験…(50%) 確認テスト・ノート提出…(30%) 平常点…(20%)
履修しておくべきことが望まれる科目	特になし
教材費用・実習費用等の負担費用	特になし
その他特記事項	A4サイズ40枚ノートを1冊用意して、1回目から予習・復習したノートは毎回授業開始時に提出してください。
備考	。医療的ケアⅡ（演習）に進むためには、医療的ケアⅠの筆記試験に合格する必要があります。 内容に応じてグループワークがあります。

講義名	医療的ケアⅡ a
講義区分	演習
基準単位数	2
必選区分	必修(介護)
配当年次	4セメスター(2年次秋学期)
受講者制限	介護福祉コースのみ

担当教員

職種	氏名	所属
講師	◎ 吉原 真紀	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科
非常勤講師	酒井 美菜子	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科
非常勤講師	角田 美千代	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科

本科目の到達目標	<p>①吸引や経管栄養における基本的知識を身につけ、吸引や経管栄養の根拠や目的を理解できる。</p> <p>②吸引や経管栄養を安全に行うための技術を習得できる。</p>
授業概要	<p>この演習は医療的ケアⅠの筆記試験に合格した人が対象となる。</p> <p>口腔内吸引・鼻腔内吸引・気管カニューレ内吸引・胃ろう・経鼻経管栄養を項目ごと1日(4コマ)で4回演習し、5回目には実技試験を行う。実技試験の合格は全過程を一人で全てできることが必要である。事前学習としてDVDの視聴やオリエンテーションに参加し自主練習にて手技を確認する必要がある。復習として手順の注意点を踏まえレポート(ノート)を作成する。口腔内・鼻腔内・気管カニューレ内吸引・胃ろう・経鼻経管栄養・救急救命法とそれぞれ各項目を1日で終了する演習スタイルである。</p>

授業計画表

回	学習内容	【キーワード】	学習課題(予習・復習)
第1回	口腔内吸引	医師の指示・必要物品・利用者への説明・吸引チューブの号数・時間・挿入cm・吸引圧・報告・記録	吸引のDVDの視聴する。 吸引部位の解剖・呼吸・たんの性状・全身状態の観察項目の確認。記録の内容の確認 吸引機械の組み立てや吸引圧の調整ができる。 復習：演習後の考察をノートにまとめる。次回までに提出。 演習前オリエンテーション後、吸引技術の自主練習
第2回	口腔内吸引		
第3回	口腔内吸引		
第4回	口腔内吸引		
第5回	鼻腔内吸引	医師の指示・必要物品・利用者への説明・吸引チューブの号数・時間・挿入cm・吸引圧・報告・記録	吸引のDVDの視聴する。 吸引部位の解剖・呼吸・たんの性状・全身状態の観察項目の確認。記録の内容の確認 吸引機械の組み立てや吸引圧の調整ができる。 復習：演習後の考察をノートにまとめる。次回までに提出。 演習前オリエンテーション後、吸引技術の自主練習
第6回	鼻腔内吸引		
第7回	鼻腔内吸引		
第8回	鼻腔内吸引		
第9回	気管カニューレ内吸引	医師の指示・必要物品・利用者への説明・吸引チューブの号数・時間・挿入cm・吸引圧・報告・記録	吸引のDVDの視聴する。 吸引部位の解剖・呼吸・たんの性状・全身状態の観察項目の確認。記録の内容の確認 吸引機械の組み立てや吸引圧の調整ができる。 復習：演習後の考察をノートにまとめる。次回までに提出。 演習前オリエンテーション後、吸引技術の自主練習
第10回	気管カニューレ内吸引		
第11回	気管カニューレ内吸引		

第12回	気管カニューレ内吸引		
第13回	喀痰吸引まとめ		不合格項目の自主練習(120分) 演習後の考察(60分)
第14回	喀痰吸引まとめ		
第15回	喀痰吸引まとめ		
第16回	喀痰吸引まとめ		
第17回	胃ろうによる経管栄養法	医師の指示書・必要物品・観察・利用者への説明・1分間の滴下数の計算・クレンメの調整・報告・連絡・記録	胃ろうのDVDの視聴する。 PEG部位の解剖・観察項目・全身状態の観察項目の確認。記録の内容の確認 経管栄養の組み立てや滴下数の計算ができる。 復習：演習後の考察をノートにまとめる。次回までに提出。 演習前オリエンテーション後、経管栄養法技術の自主練習 予習：(90分) 復習：(90分)
第18回	胃ろうによる経管栄養法		
第19回	胃ろうによる経管栄養法		
第20回	胃ろうによる経管栄養法		
第21回	経鼻経管栄養	医師の指示書・必要物品・観察・利用者への説明・1分間の滴下数の計算・クレンメの調整・報告・連絡・記録	経鼻会館栄養法のDVDの視聴する。 チューブ挿入部位の解剖・観察事項・全身状態の観察項目の確認。記録の内容の確認 経管栄養法の組み立てや1分間の滴下数の計算ができる。 復習：演習後の考察をノートにまとめる。次回までに提出。 演習前オリエンテーション後、経管栄養法の技術の自主練習
第22回	経鼻経管栄養		
第23回	経鼻経管栄養		
第24回	経鼻経管栄養		
第25回	経管栄養法まとめ		不合格項目の自主訓練 演習後の考察をノートに記入
第26回	経管栄養法まとめ		
第27回	経管栄養法まとめ		
第28回	経管栄養法まとめ		
第29回	救急救命法	胸骨圧迫・人工呼吸法	テキストを読み、DVDを視聴する。 演習の手順を予習する。 演習後の考察を記入する。
第30回	救急救命法		

テキスト	【書名】『医療的ケア』 【著者】 柘崎京子・荏原順子 編著 【出版】 建帛社 【ISBN】 978-4-7679-3376-4 【価格】 2,800円+税
参考書・参考資料等	必要に応じ、参考書籍・文献・資料等を紹介、配布する。
上記到達目標の評価の方法	実技試験…(50%) ノート提出…(30%) 平常点…(20%)
履修しておくべきことが望まれる科目	「医療的ケアⅠ」 取得必修
教材費用・実習費用等の負担費用	特になし
その他特記事項	医療的ケアⅠで使用したノートに予習をして当日に持参する。演習中後は考察を記入します。次週の月曜日までに必ずノートを提出。
備考	演習前日にオリエンテーションを行います。詳しい日程、時間は掲示板で確認してください。各自、空き時間を使用して自主練習を行い、当日9時より演習に臨んでください。演習が円滑にできるよう、演習が円滑に進むよう準備や片づけをチームワークで行うようグループワークがあります。